

市内中小企業の景況について
(第 105 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたので報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 24 年 12 月
- ・ 調査対象期間 平成 24 年 10 月～12 月期 (3 箇月実績) / 平成 25 年 1～3 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 385 社, 非製造業 415 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。515 社が回答 (回収率 64.4%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	254 (49.3)	非製造業	261 (50.7)
西 陣	25 (4.9)	卸 売	63 (12.2)
染 色	31 (6.0)	小 売	58 (11.3)
印 刷	23 (4.5)	情 報 通 信	18 (3.5)
窯 業	17 (3.3)	飲 食 ・ 宿 泊	35 (6.8)
化 学	23 (4.5)	サ ー ビ ス	49 (9.5)
金 属	26 (5.0)	建 設	38 (7.4)
機 械	27 (5.2)	不 明	0 (0.0)
そ の 他 の 製 造	82 (15.9)	合 計	515 (100.0)

- DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)
増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
- 中小企業の定義
中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0_1.html

調査結果概要

1. 景気動向調査について

- 今期の企業景気DIは、全業種で2.6ポイント低下した。景気悪化と競争激化による販売不振や受注減退、販売単価の下落や外国人観光客の減少などから、製造業で3.8ポイント、非製造業で1.5ポイントとそれぞれ低下した。
- 来期の企業景気DIの見通しは、全業種で1.6ポイント低下した。製造業で0.7ポイント上昇したものの、非製造業で飲食・宿泊以外の業種が悪化見込みとなり、非製造業で3.8ポイント低下した。消費の冷え込みによる販売不振や販売単価の下落、コスト高による仕入価格上昇など企業の環境は引き続き厳しく、景気回復への期待感が高まっているものの、先行きへの不透明感が残り、景気回復への見通しは不透明である。

(1) 今期実績 平成24年10月～12月期

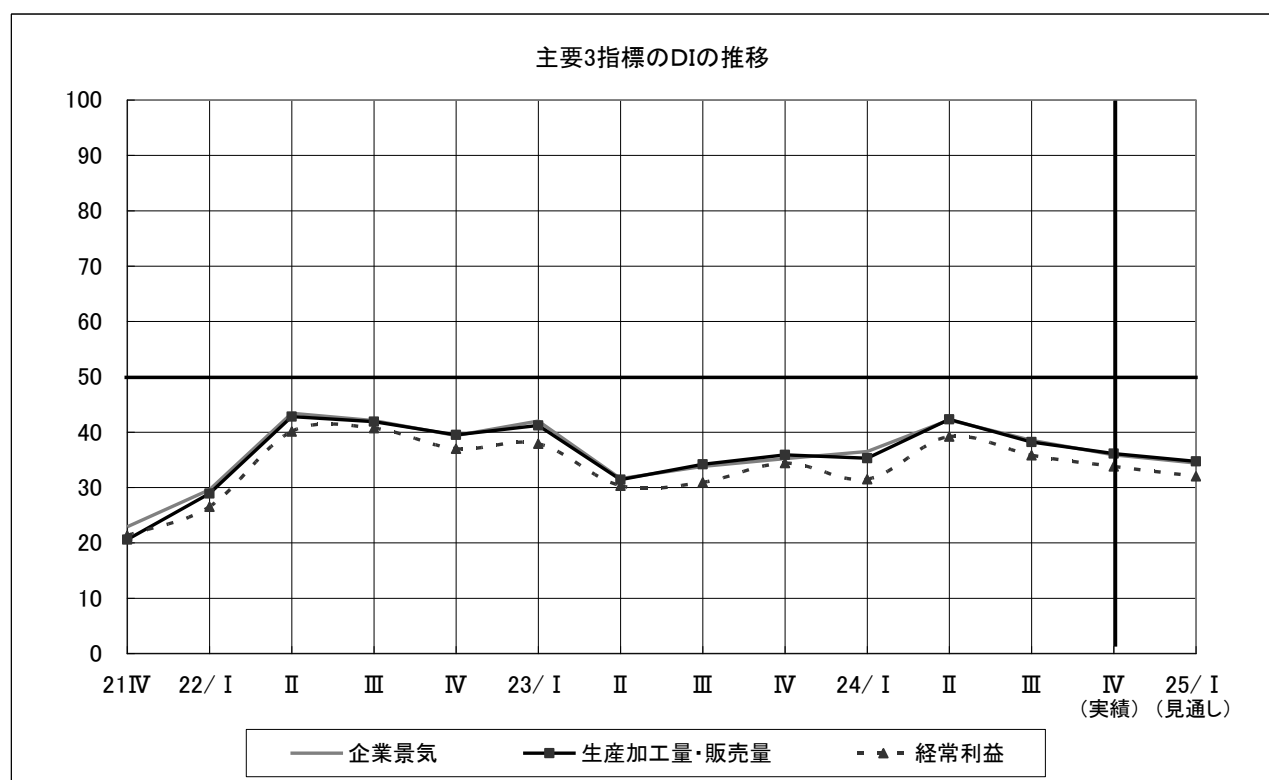
今期（平成24年10月～12月期）の全業種のDIは、企業景気DIが35.9と、前期と比較し2.6ポイントの低下となった。生産加工量・販売量DIは36.1で同2.1ポイント低下、経常利益DIは33.7で同2.1ポイントの低下となった。

・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	35.9 (▼2.6)	36.1 (▼2.1)	33.7 (▼2.1)
(製造業)	32.9 (▼3.8)	33.1 (▼3.3)	31.6 (▼1.7)
(非製造業)	38.8 (▼1.5)	39.4 (▼0.8)	35.9 (▼2.4)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。▼は低下を示す。）

・主要3指標のDIの推移



全業種では平成23年4月～6月期に東日本大震災の影響等から大幅に低下した企業景気DIは、その後緩やかにながらも4期連続して上昇基調で推移したが、平成24年6月～9月期以降、景気悪化に加えて競争激化に伴う受注減や販売単価の下落等により2期連続低下した。

製造業全体の企業景気DIは3.8ポイント低下した。「得意先の倒産や受注の減少」(右京区/印刷)、「業界全体の低迷」(南区/化学)、「ヨーロッパをはじめとする世界的なデフレ、海外への生産工場の移転、円高、中国向け出荷の減少」(南区/金属)、「電力会社向けの設備需要の減少」(南区/機械)、「茶道、華道を稽古する人が減少」(東山区/窯業)といった、得意先の倒産や海外移転、世界的な景気低迷や取扱商品の需要減退による受注の減少、販売不振により印刷、窯業、化学、機械、金属が低下した。一方、「他社との差別化を図れている」(南区/その他製造)や「得意先が増えてきている」(伏見区/その他製造)など、自助努力による他社との商品の差別化や販売先の新規開拓などにより、その他製造は上昇した。また、地場産業の西陣、染色についても、「クールビスの影響」(北区/西陣)、「販売不振」(上京区/西陣)といった市場の縮小や競争激化等により厳しい状況が続くが、「大阪阪急百貨店グランドオープンによる新柄の受注増加」(上京区/西陣)、「インクジェットプリントの受注が堅調」(上京区/染色)といった百貨店の売場拡張や時流商材の取り扱い等により上昇した。

非製造業全体の企業景気DIは1.5ポイント低下した。「仕入単価は上昇したが、販売単価に転嫁できない」(下京区/卸売)、「主たる客層である高校生の修学旅行が激減し、収入・稼働が共に最悪」(中京区/飲食・宿泊)、「薬価改定による売上の減少と仕入単価の上昇」(山科区/サービス)といった仕入単価の上昇や、消費者の低価格志向、修学旅行生の減少、業界の価格改定等により卸売、飲食・宿泊、サービスが低下した。一方、「支店の出店、大型店舗の売上増加」(北区/小売)、「節電で太陽光発電システムの受注増」(右京区/建設)、「レンタルサーバーの受注増加」(下京区/情報通信)といった新規の出店や時流商材の取り扱い、自助努力などにより、小売、情報通信、建設が上昇した。

観光関連については、中国や韓国との外交問題に関連した一部の外国人観光客の減少や、日帰り客の増加に伴う客単価の低下等により、企業景気DIは低下した。

今回の調査では、西陣、染色、その他製造、建設、情報通信、小売で、商品差別化などの自助努力や新規出店や時流商材の取り扱いなどによる売上増から企業景気DIは上昇したが、世界的な景気低迷を背景とした印刷、窯業、化学、金属、機械といった製造業での売上不振、外国人観光客の減少による卸売、飲食・宿泊、サービスの低下により、全業種の企業景気DIは低下した。市内中小企業は不景気による消費の低迷に加え、競争激化、販売単価下落、得意先の海外シフト等といった不安材料を抱え、景況感は下降傾向にある。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中3業種であり、いずれも低下した業種は4業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
西陣	32.0 (△ 8.0)	30.0 (△ 5.0)	30.0 (△ 6.0)
染色	35.0 (△ 0.7)	32.3 (△ 5.2)	33.9 (△ 3.9)
小売	32.5 (△ 3.4)	36.2 (△ 2.9)	32.8 (△ 2.8)
<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	37.0 (▼ 13.0)	39.1 (▼ 7.2)	34.8 (▼ 9.6)
窯業	29.4 (▼ 12.3)	26.5 (▼ 15.2)	35.3 (▼ 3.6)
化学	40.9 (▼ 11.5)	39.1 (▼ 10.9)	32.6 (▼ 10.3)
卸売	36.5 (▼ 3.4)	36.7 (▼ 2.1)	33.3 (▼ 4.4)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

(2) 来期見通し 平成25年1月～3月期

来期（平成25年1月～3月期）の全業種のDIの見通しは、企業景気DIが34.3となり、今期と比較し1.6ポイントの低下となった。生産加工量・販売量DIは34.6で同1.5ポイントの低下、経常利益DIは32.0で同1.7ポイントの低下となった。

・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	34.3 (▼1.6)	34.6 (▼1.5)	32.0 (▼1.7)
(製造業)	33.6 (△0.7)	34.1 (△1.0)	31.1 (▼0.5)
(非製造業)	35.0 (▼3.8)	35.2 (▼4.2)	32.9 (▼3.0)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

企業景気DIの来期見通しは、製造業で0.7ポイント上昇し、非製造業は3.8ポイント低下した。

製造業では、「消費不振、売上不振」（東山区／窯業）、「円高、欧州での景気悪化」（右京区／化学）、「海外生産に切り替える企業が増え受注が低調」（伏見区／染色）といった景気悪化による販売不振や海外経済情勢、得意先生産設備の海外シフト等により染色、窯業、化学が低下した。一方、「新事業を開始」（南区／機械）、「延期していた新刊を1月と3月に発刊できる」（左京区／印刷）、「古文書・襖・絵画等の修復技能が高く、受注案件は順調」（下京区／その他の製造）、「医療機器関係部品の受注が順調」（南区／金属）、「下げ止まり」（上京区／西陣）といった新事業の立ち上げや遅れていた受注案件への着手、技術力を背景とした受注増加に加え、安定業界を得意先としていることや景気浮上感等で、西陣、印刷、金属、機械、その他製造で企業景気DIは上昇した。

非製造業においては、「顧客に強い値下げを要請され、技術者の確保が難しい」（山科区／情報通信）、「在庫商品が多く、資金繰りが苦しい」（東山区／卸売）、「地域経済（地場産業）の構造的な不況」（中京区／小売）、「同業者との競争が激しい」（中京区／サービス）、「景気後退で来年は更に悪い見通し」（右京区／建設業）といった値下げ要請や過剰在庫、資金繰りの悪化、競争激化に加え、景気後退による不安感が払拭しきれないという意見もあり、卸売、小売、情報通信、サービス、建設で企業景気DIが低下した。唯一、「ロコミとメディアによる反響で客数増加」（左京区／飲食・宿泊）等により飲食・宿泊が上昇した。また、「東日本大震災の廃棄物処理に期待」（南区／建設）といった復興需要に期待を寄せている意見も一部寄せられている。

なお、観光関連では、個人消費は依然低迷しているが、外国人観光客の回復への期待や新名所の開業効果の持続もあり、企業景気DIは4.7ポイント上昇している。ただし、前々期からの比較では上昇・下降を繰り返していることや、減少傾向にある修学旅行、中国や韓国からの観光客の動向が読めないこともあり、不透明感が残る。

国内経済においては、新政権による補正予算や震災復興関連需要の増加への期待感が徐々に膨らんでおり、円高・株安に一服感が出るなど、好材料が見られている。しかしながら、ヨーロッパや中国などの海外経済が回復する見通しは立っておらず、これを背景に輸出不振や国内のデフレ等は続いており、国内景気の先行きは依然不透明な状況にある。

市内中小企業においては、製造業の企業景気DIは上昇したが、非製造業の企業景気DIは低下した。積極的な設備投資や安定した顧客の確保、自社開発製品の投入などの自助努力によって業績を維持している企業や、新政権による景気対策や復興需要による回復に期待感を寄せる企業もある。しかしながら、消費低迷、競争激化、値下げ要請、デフレ、中国・韓国との外交問題など不安材料は多く、景気回復への見通しは不透明である。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中2業種、いずれも低下と予測している業種は6業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
西陣	34.8	(△ 2.8)	32.6	(△ 2.6)	32.6	(△ 2.6)
機械	31.5	(△ 7.4)	35.2	(△ 9.3)	31.5	(△ 5.6)

<3指標低下業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
染色	32.8	(▼ 2.2)	28.3	(▼ 4.0)	33.3	(▼ 0.6)
窯業	15.6	(▼ 13.8)	20.6	(▼ 5.9)	26.5	(▼ 8.8)
化学	34.1	(▼ 6.8)	37.0	(▼ 2.1)	30.4	(▼ 2.2)
卸売	32.3	(▼ 4.2)	30.5	(▼ 6.2)	30.6	(▼ 2.7)
小売	29.8	(▼ 2.7)	35.3	(▼ 0.9)	31.9	(▼ 0.9)
サービス	37.0	(▼ 5.7)	36.5	(▼ 4.0)	36.0	(▼ 7.2)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	38.5	35.9	34.3	38.2	36.1	34.6	35.8	33.7	32.0
製造業	36.7	32.9	33.6	36.4	33.1	34.1	33.3	31.6	31.1
非製造業	40.3	38.8	35.0	40.2	39.4	35.2	38.3	35.9	32.9

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	36.7	32.9	33.6	36.4	33.1	34.1	33.3	31.6	31.1
西陣	24.0	32.0	34.8	25.0	30.0	32.6	24.0	30.0	32.6
染色	34.3	35.0	32.8	27.1	32.3	28.3	30.0	33.9	33.3
印刷	50.0	37.0	41.3	46.3	39.1	41.3	44.4	34.8	32.6
窯業	41.7	29.4	15.6	41.7	26.5	20.6	38.9	35.3	26.5
化学	52.4	40.9	34.1	50.0	39.1	37.0	42.9	32.6	30.4
金属	26.8	19.2	19.2	26.8	21.2	19.2	23.2	25.0	23.1
機械	33.9	24.1	31.5	39.3	25.9	35.2	28.6	25.9	31.5
その他の製造	36.4	37.2	40.1	38.5	38.4	40.9	35.1	33.3	32.9
非製造業	40.3	38.8	35.0	40.2	39.4	35.2	38.3	35.9	32.9
卸売	39.9	36.5	32.3	38.8	36.7	30.5	37.7	33.3	30.6
小売	29.1	32.5	29.8	33.3	36.2	35.3	30.0	32.8	31.9
情報通信	56.9	61.1	52.9	60.3	63.3	57.1	51.7	50.0	50.0
飲食・宿泊	32.8	29.4	32.4	30.8	30.6	29.0	25.0	25.8	29.0
サービス	46.4	42.7	37.0	44.9	40.5	36.5	47.0	43.2	36.0
建設	41.3	44.7	39.5	38.6	46.8	38.7	39.7	38.6	30.0
観光関連企業	43.4	37.5	42.2	44.4	38.7	40.3	43.4	37.1	37.1

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	16.1	19.4	13.2

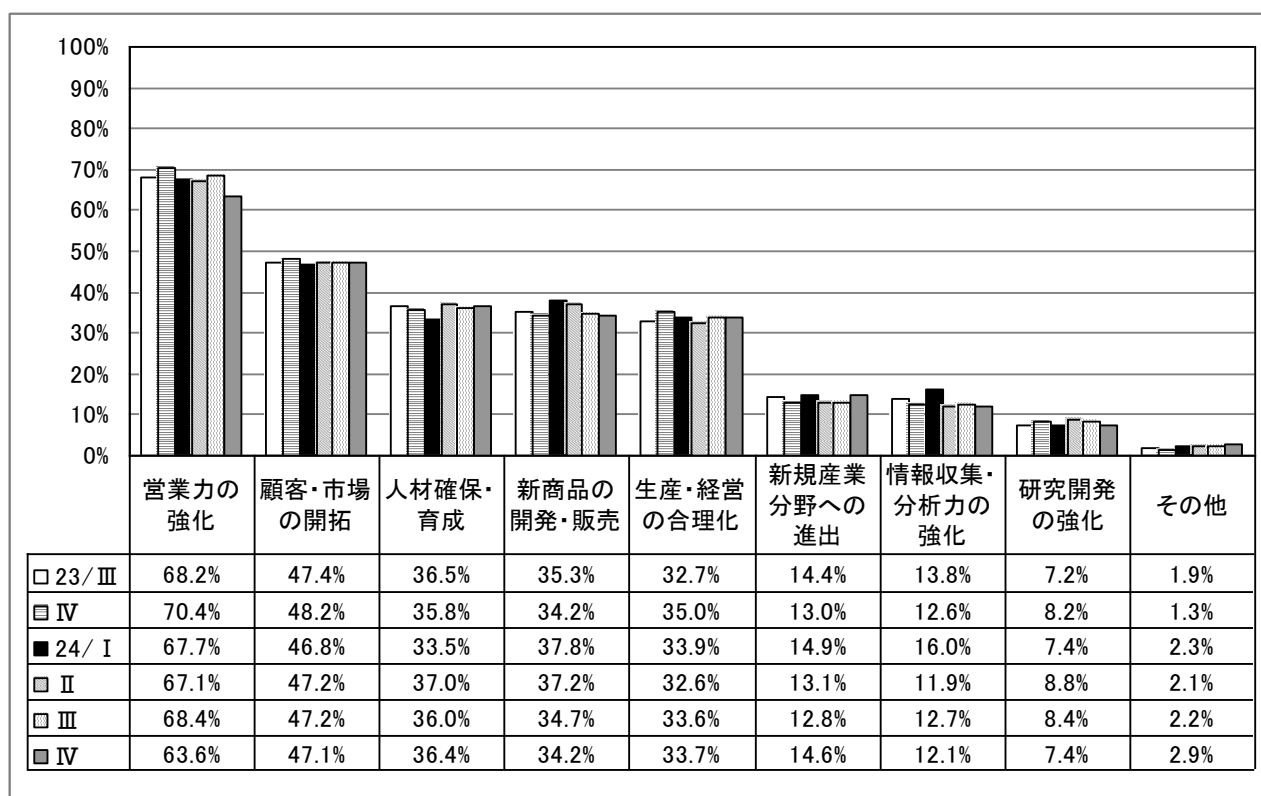
2. 当面の経営戦略について

● 「営業力の強化」を挙げる企業が63.6%で引き続きトップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の63.6%を占め、最も多くなっている。「顧客・市場の開拓」が47.1%で続き、以下「人材確保・育成」36.4%、「新商品の開発・販売」34.2%、「生産・経営の合理化」33.7%の順となっている。

前期と比較すると、回答数上位5項目の順位変動はなかったものの、トップの「営業力の強化」が4.8ポイント低下し、「新規産業分野への進出」1.8ポイント、「人材確保・育成」0.4ポイント、「生産・経営の合理化」0.1ポイント、「その他」0.7ポイントそれぞれ上昇した。特に、「新規産業分野への進出」の上昇幅が最も大きく、以前より営業力強化に取り組んできた各企業が好転しない業績や厳しい経営環境を打破すべく、従来事業の「営業力の強化」に加え、新たな需要獲得を目指して新規産業分野への進出を目指す傾向が窺える。

その他の意見として「主力商品価格の値上げ」（西京区／小売）、「パッケージソフト開発」（伏見区／情報通信）、「設計技術力のアップ」（下京区／サービス）、「M&A」（中京区／建設）といった具体的な意見があり、また、厳しい環境下にある業種では「創意工夫」（山科区／窯業）などの意見が挙げられている。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

3. 経営上の不安要素について

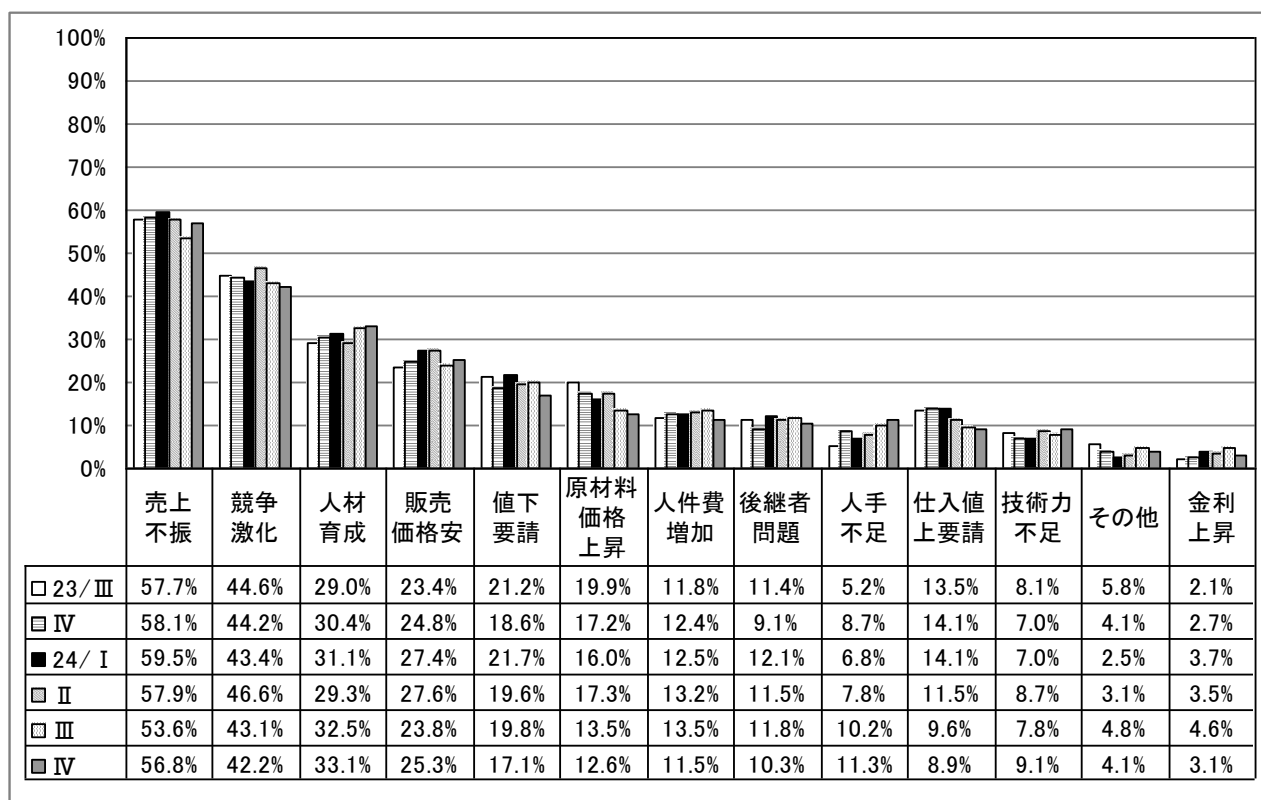
- 「売上不振」を挙げる企業が56.8%で依然トップ。
- 前期との比較で最も増えたのも「売上不振」の3.2ポイント。

経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が56.8%を占めており、2位の「競争激化」42.2%を引き離して最も多くなっている。以下「人材育成」33.1%、「販売価格安」25.3%、「値下要請」17.1%の順となっている。

前期と比較すると、回答上位5項目の順位に変動はないが、トップの「売上不振」3.2ポイントの上昇幅が最も大きく、不景気を反映した結果となり、次いで「販売価格安」1.5ポイント、「技術力不足」1.3ポイントとなっている。特に「売上不振」を不安要素として捉えている業種は地場産業の染色で74.2%、西陣で72.0%と突出しており、また、非製造業の「建設」では「売上不振」以上に「競争激化」68.4%の割合が最も多く、双方の厳しい業界状況が映し出された結果となった。(参照：P7 業種別の経営上の不安要素)

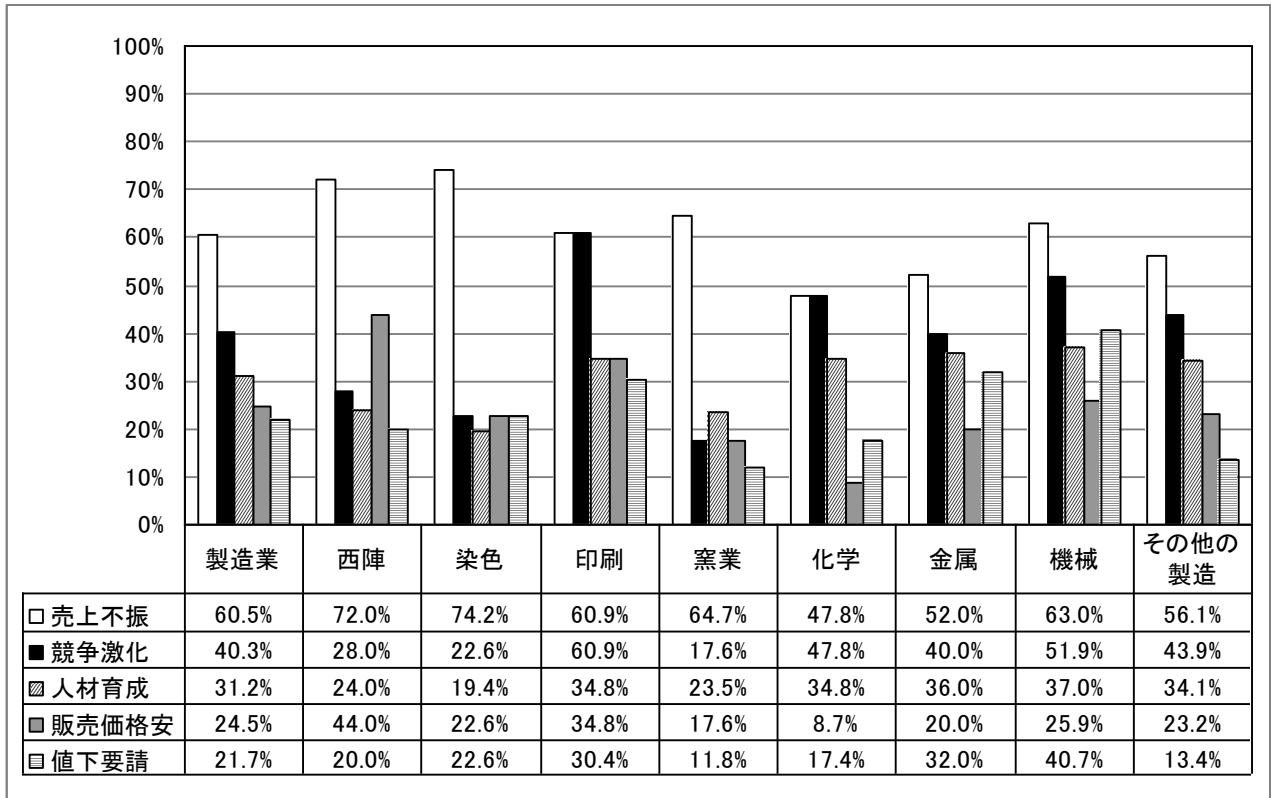
原材料価格の上昇の中では、「原糸」(右京区/西陣)、「燃料」(中京区/染色)、「電気料金」(中京区/窯業)、「銅」(伏見区/金属)、「紙・インク」(左京区/印刷)、「ナフサ」(南区/化学)、「大豆」(伏見区/その他製造)等への不安が示されている。

その他の意見として「資金難」(上京区/西陣)、「経済動向」(上京区/その他製造業)、「消費税増税」(下京区/その他製造業)、「納期対応」(南区/金属)といった資金繰りなどの経営全般に関する不安や経済全般に対する不安に加え、税負担の増加に対しての不安の意見が寄せられた。また、「電子ブック」(中京区/その他製造)といった最先端ツールを脅威と感じている企業や「仕入先の後継者問題」(山科区/卸売)等多種多様の意見が寄せられた。

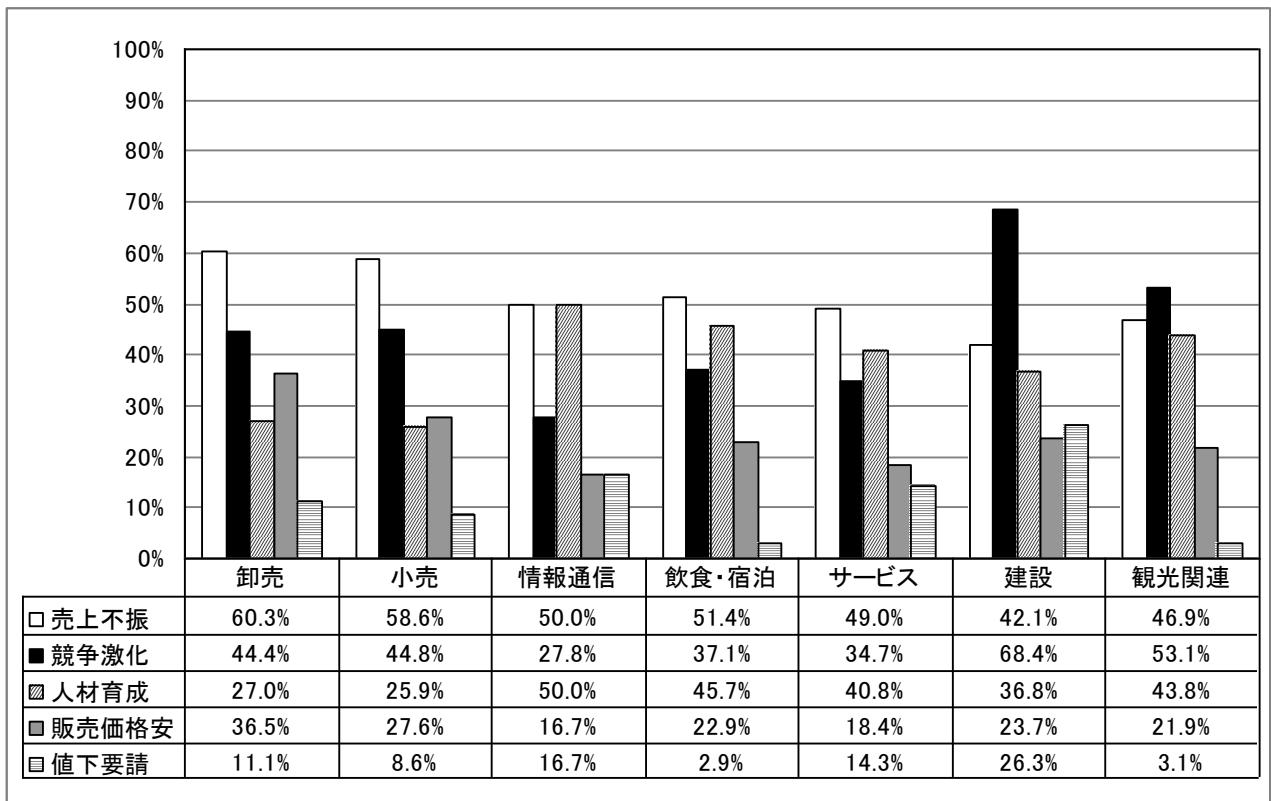


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答



・経営上の不安要素・非製造業主要回答



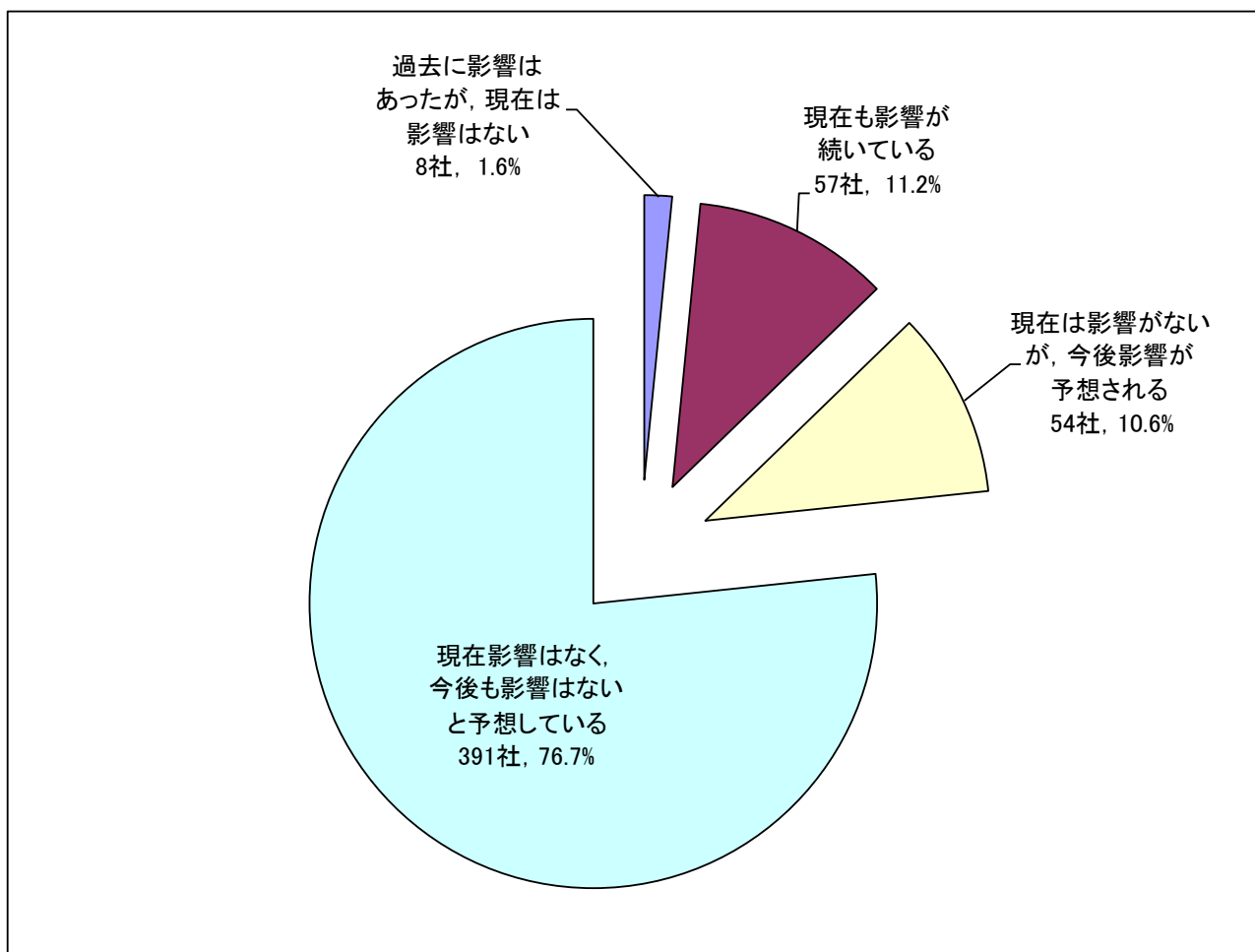
4. 中国における反日デモ等の影響について

中国における反日デモ等の影響について尋ねたところ 510 社より回答があり、「現在影響はなく今後も影響はないと予想している」が 76.7%と最も高かった。一方で、「現在も影響が続いている」が 11.2%、「現在は影響がないが、今後も影響が予想される」が 10.6%、「過去に影響はあったが、現在は影響はない」が 1.6%となり、回答企業のうち 23.4%が何らかの影響があった、もしくは影響があると予測しているという結果となった。

影響の内容についての自由記述では、製造業においては、主に不買運動による受注の減少や販売量の減少という声が多く、影響があるとした企業の約半数を占めている。一方、非製造業においては、販売量の減少という声以外に、観光客の減少や仕入への影響という声があり、製造業との違いが出ている。

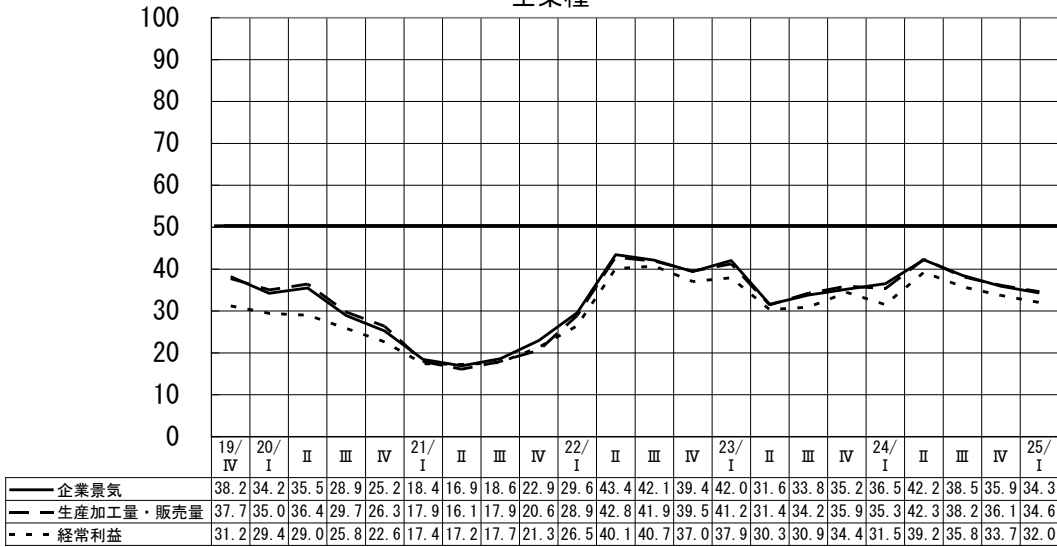
また、観光関連については、34.4%が「現在も影響が続いている」としており、観光客の減少やそれに伴う土産品の販売不振など、観光関連における影響の大きさが窺える。

一方、「現在影響はなく今後も影響はないと予想している」と回答した 391 社のうち、75 社が中国とのビジネスを直接的、もしくは間接的に行っているが影響はないと回答しており、理由としては「長年の取引による信頼関係がある」、「販売先、仕入先共に中国企業だが関係は良好」、「現地法人は地方にあり、デモも小規模で影響はなかった」、「工場は大連に有り、また取引会社は日本企業が 90%のため」となっており、反日デモの影響は取引先企業との関係や取引先企業の性質、進出先地域に依るところが大きいことも窺える。



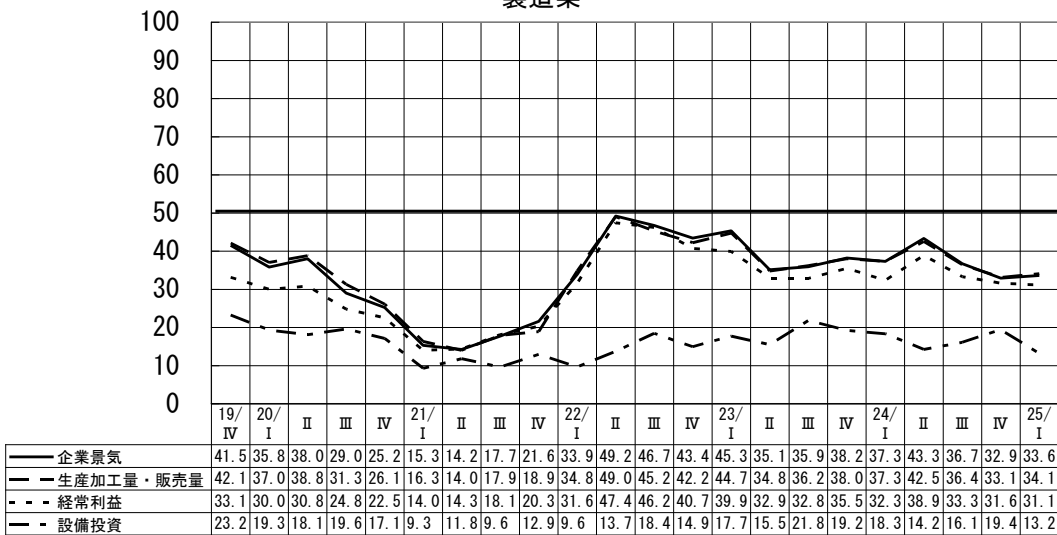
参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

全業種



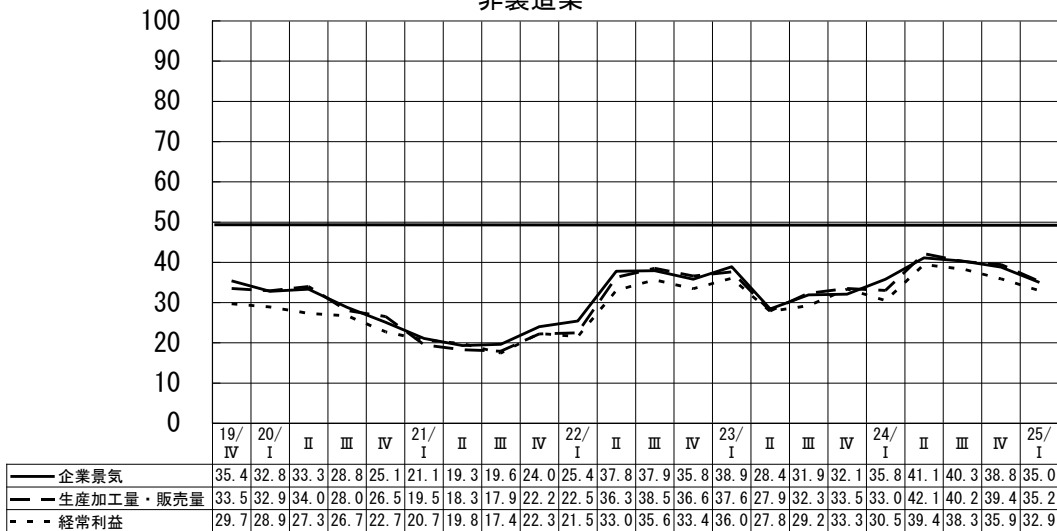
(見通し)

製造業



(見通し)

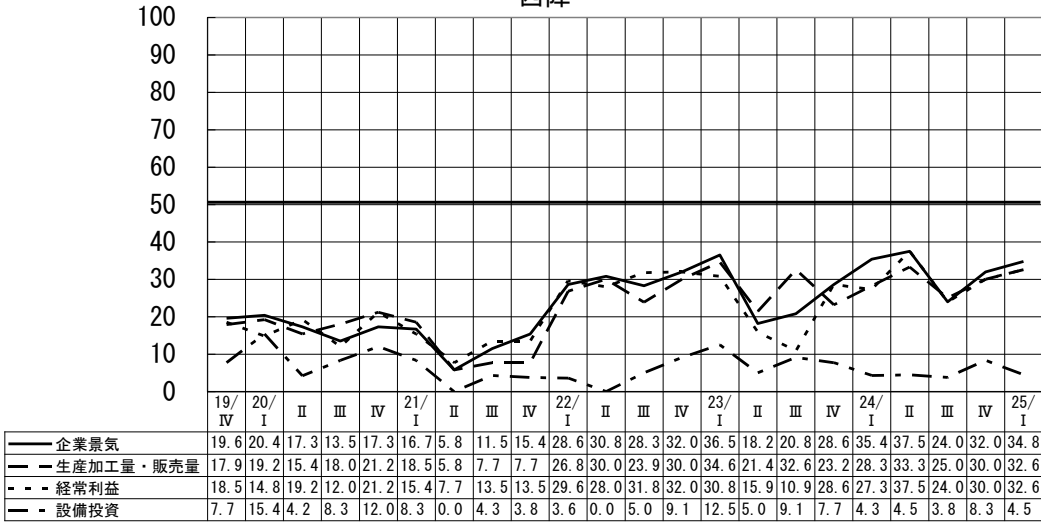
非製造業



(見通し)

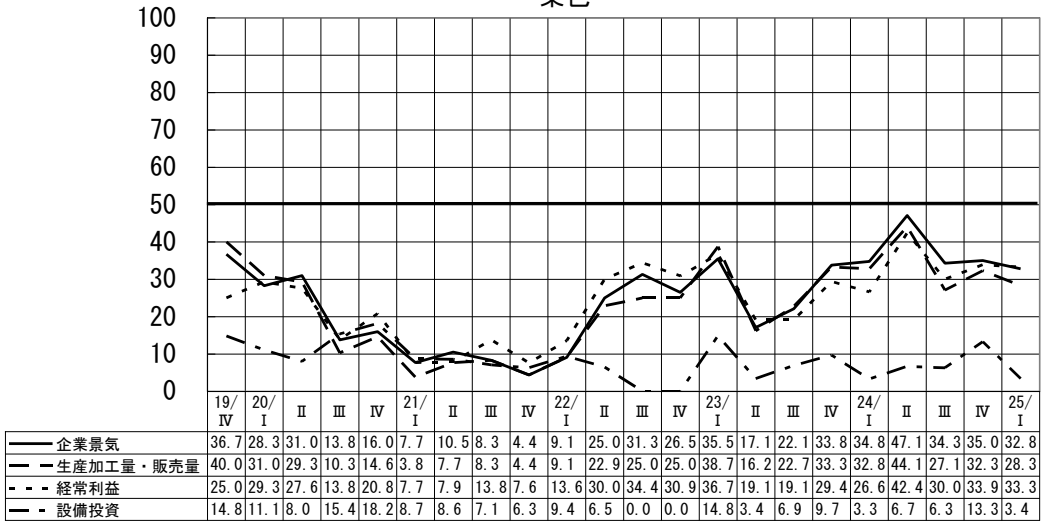
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



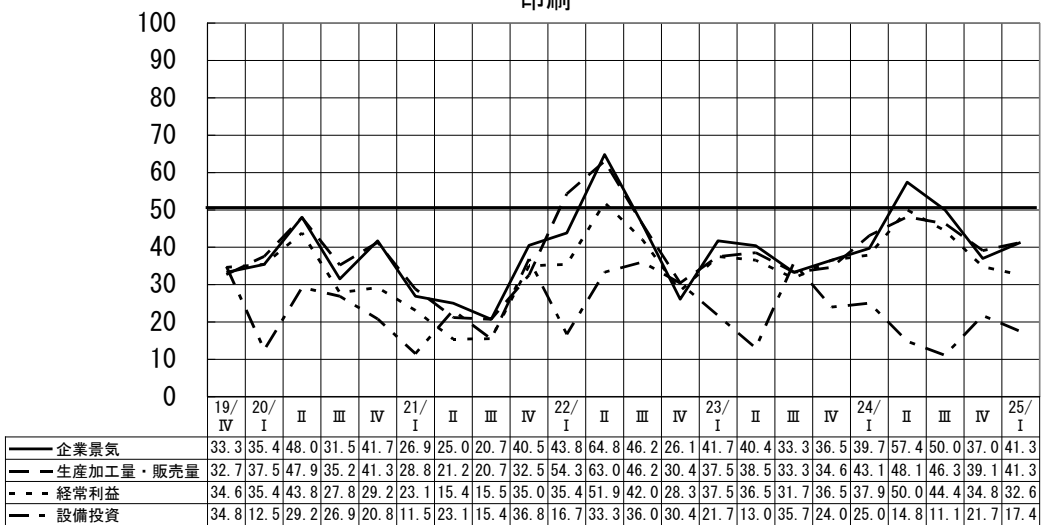
(見通し)

染色



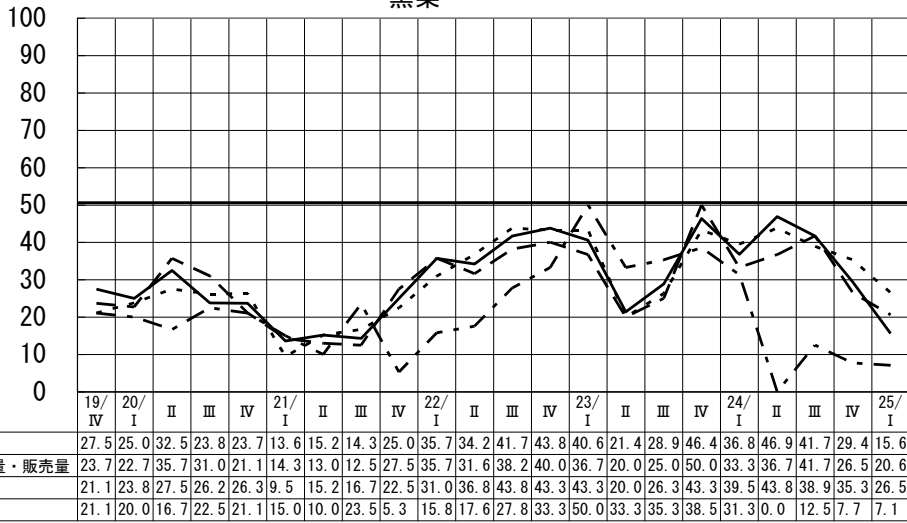
(見通し)

印刷



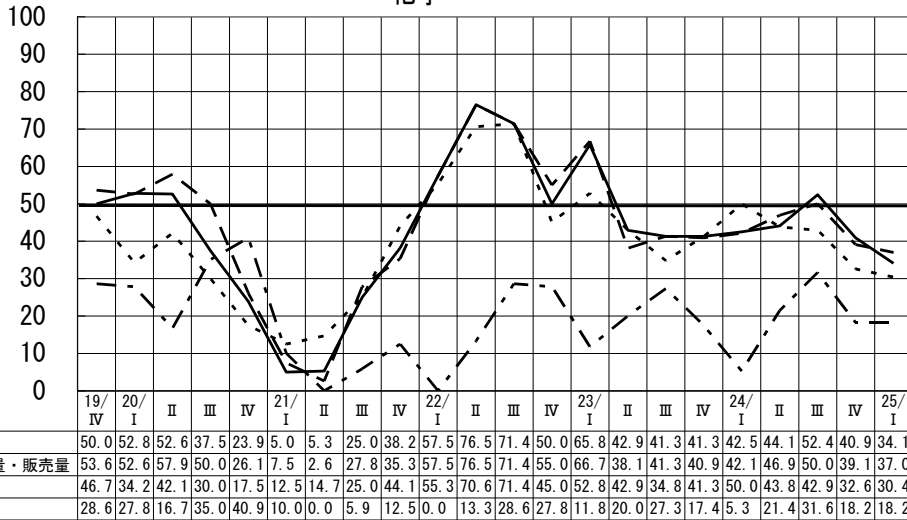
(見通し)

窯業



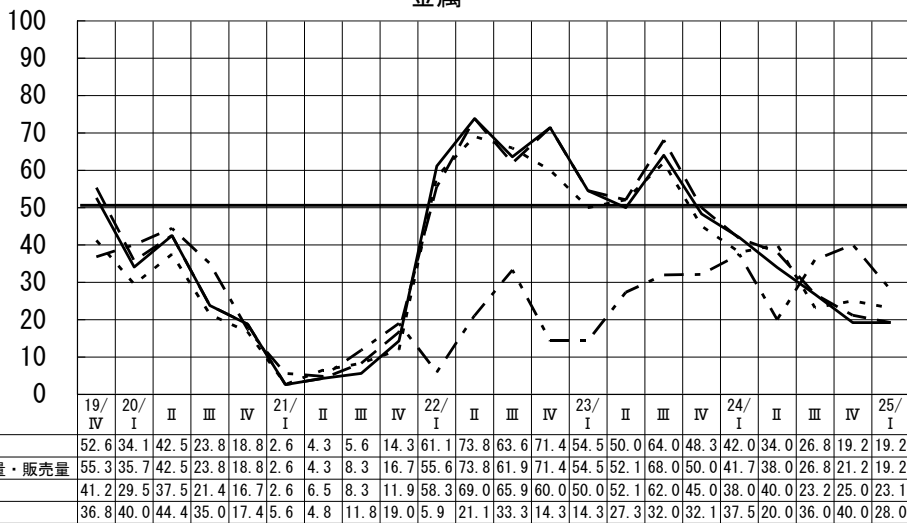
(見通し)

化学



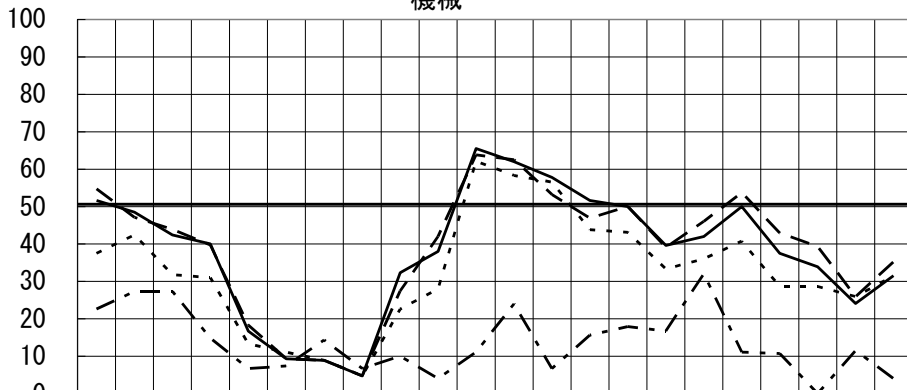
(見通し)

金属



(見通し)

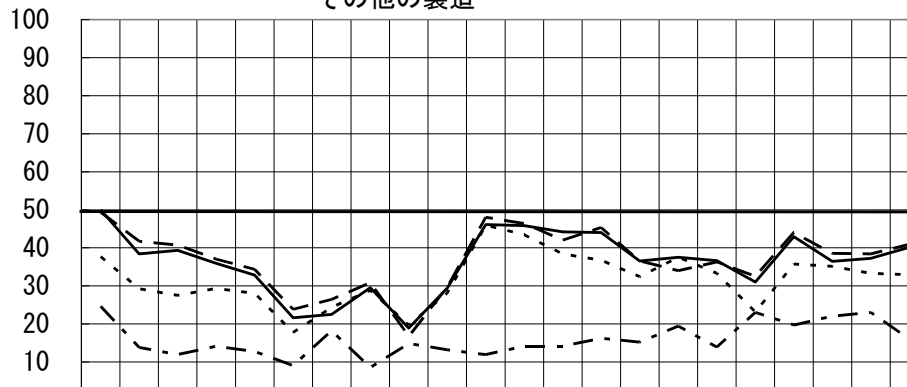
機械



	19/IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I
— 企業景気	51.6	48.5	42.4	40.0	16.7	9.3	8.9	4.7	32.3	38.0	65.5	62.0	57.8	51.6	50.0	39.6	42.0	50.0	37.5	33.9	24.1	31.5
- - 生産加工量・販売量	54.7	47.1	43.9	39.7	18.3	9.3	8.9	4.7	27.4	42.0	63.8	62.5	53.2	46.9	50.0	39.1	46.0	53.7	42.9	39.3	25.9	35.2
- - - 経常利益	37.5	42.4	31.8	31.0	13.3	11.1	8.9	4.7	22.6	28.0	62.1	58.3	56.5	43.8	43.1	33.3	36.0	40.7	28.6	28.6	25.9	31.5
- · 設備投資	22.6	27.3	27.3	14.8	6.7	7.4	14.3	6.7	10.0	4.0	11.1	24.0	6.7	15.6	17.9	16.7	32.0	11.1	10.7	0.0	11.5	4.0

(見通し)

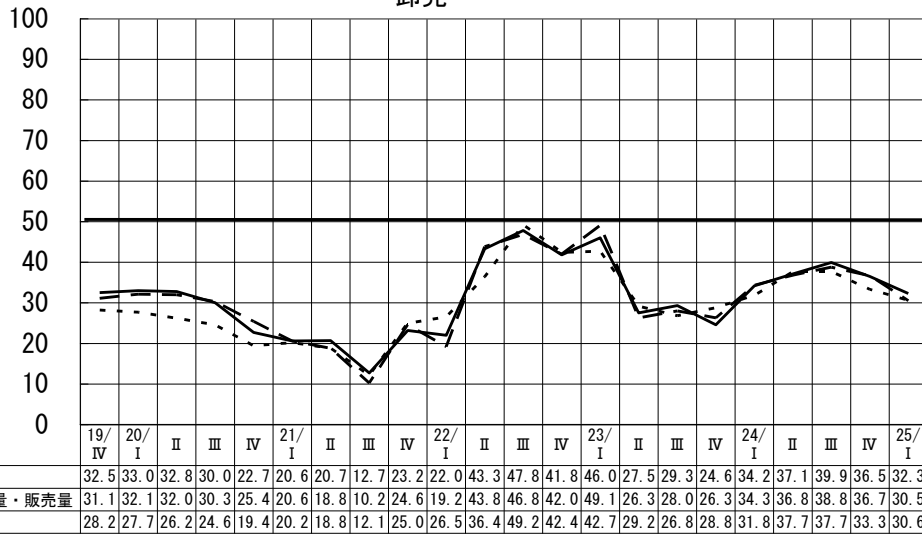
その他の製造



	19/IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I
— 企業景気	50.0	38.4	39.3	35.9	32.8	21.6	22.5	29.5	18.9	29.4	46.1	45.8	44.2	44.0	36.5	37.5	36.6	31.0	42.9	36.4	37.2	40.1
- - 生産加工量・販売量	49.3	41.7	40.7	37.0	34.3	23.8	26.4	30.8	16.7	29.7	48.0	46.4	42.0	45.3	36.5	34.0	36.3	32.5	44.0	38.5	38.4	40.9
- - - 経常利益	37.7	29.2	27.5	29.3	28.0	17.7	24.3	28.8	19.7	28.1	45.9	43.4	38.4	36.7	32.4	37.5	33.3	23.1	35.7	35.1	33.3	32.9
- · 設備投資	24.6	13.8	11.9	14.1	12.7	9.0	18.2	8.5	14.8	13.2	11.9	14.1	14.1	16.2	15.2	19.4	13.9	23.0	19.7	22.0	23.0	16.0

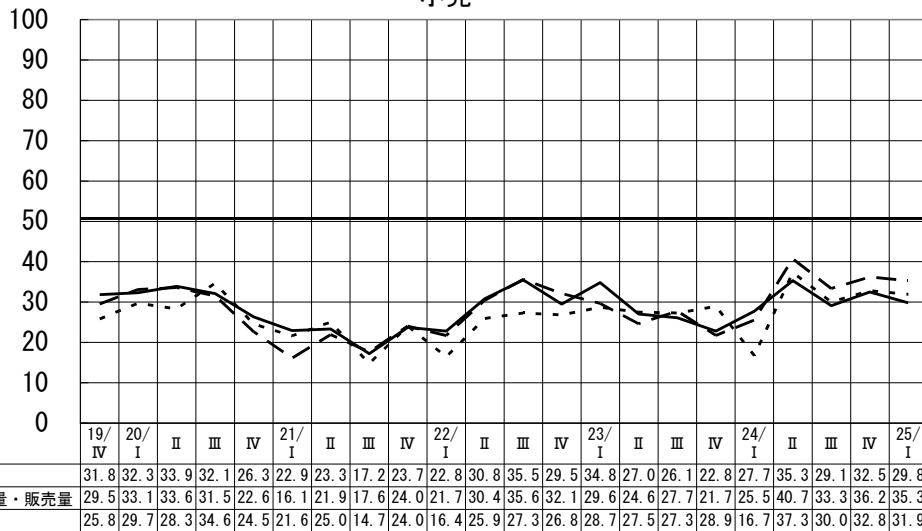
(見通し)

卸売



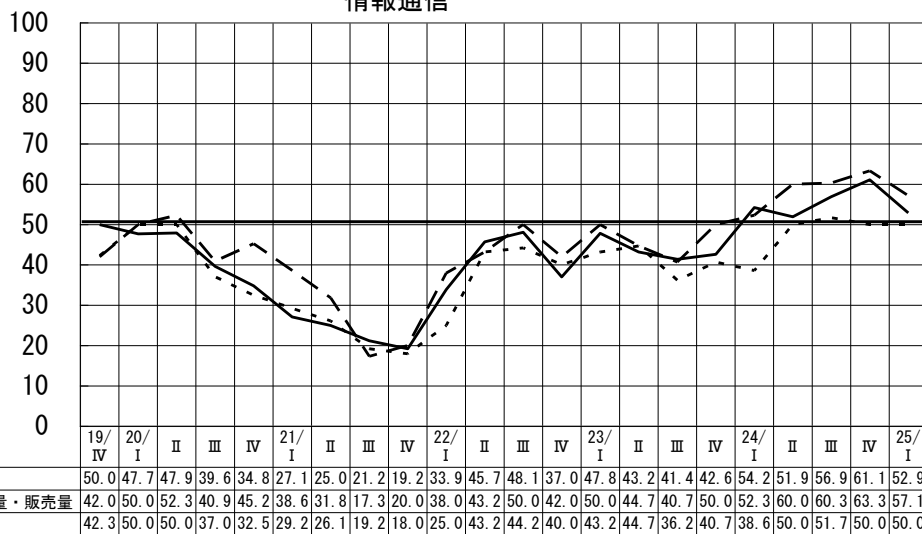
(見通し)

小売



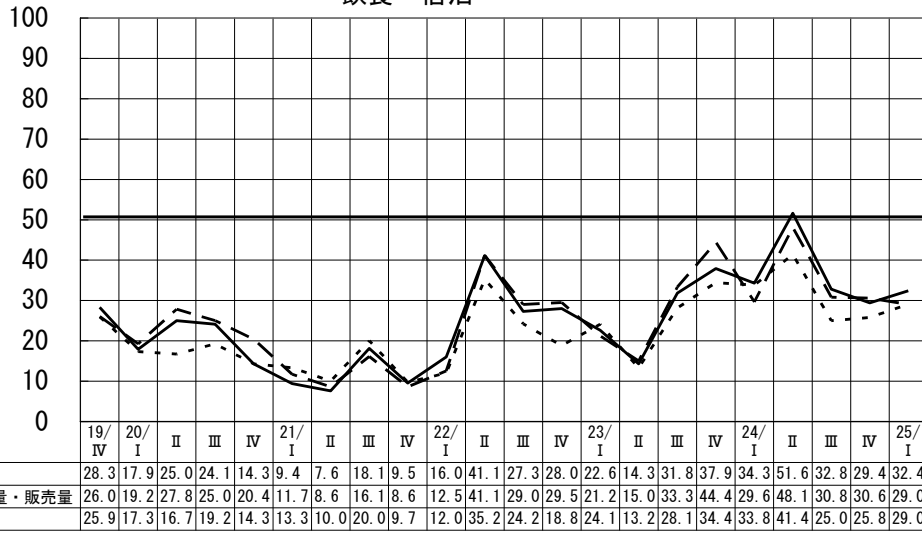
(見通し)

情報通信



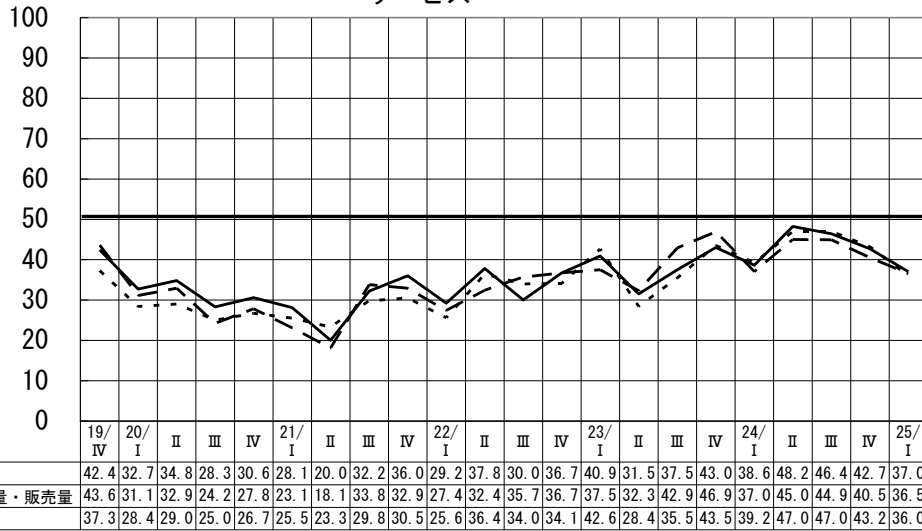
(見通し)

飲食・宿泊



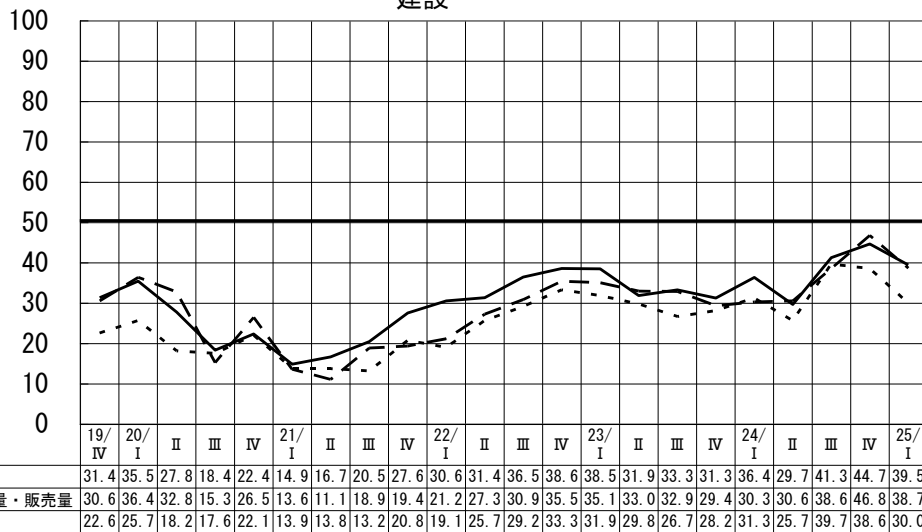
(見通し)

サービス



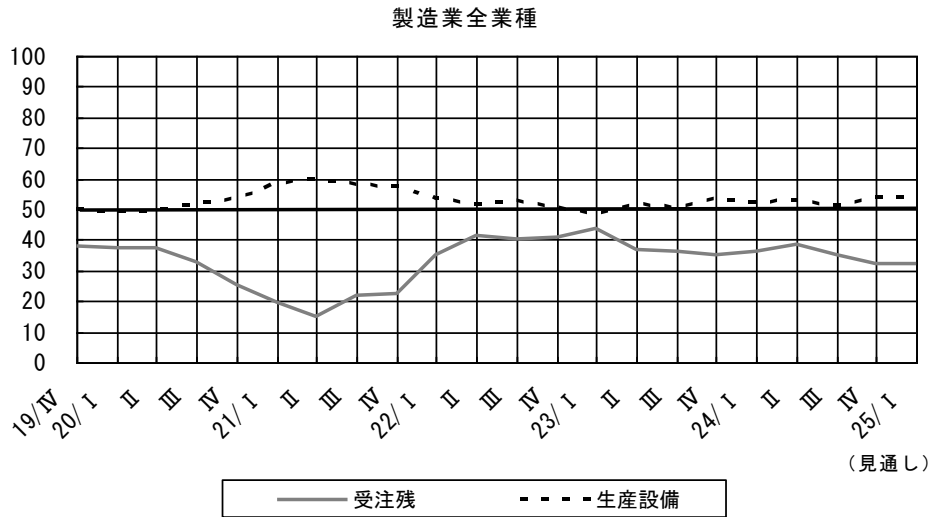
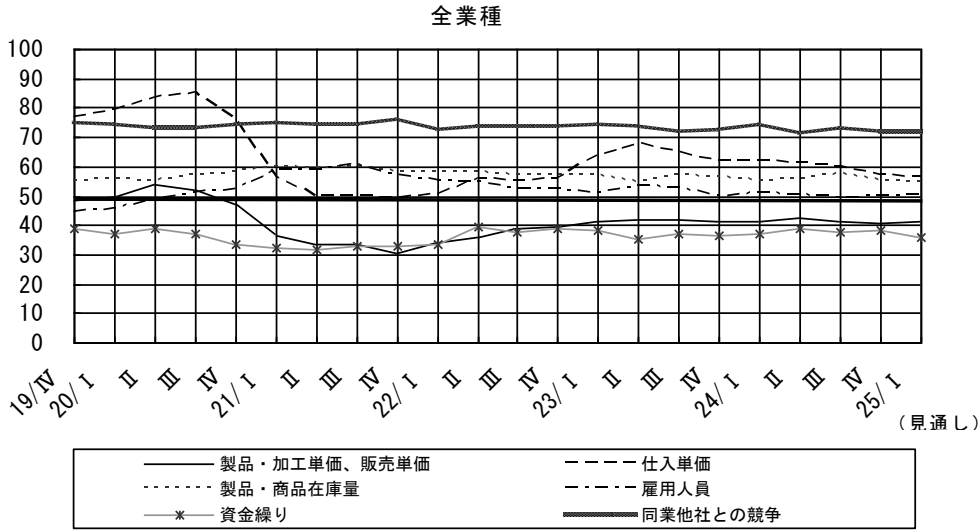
(見通し)

建設

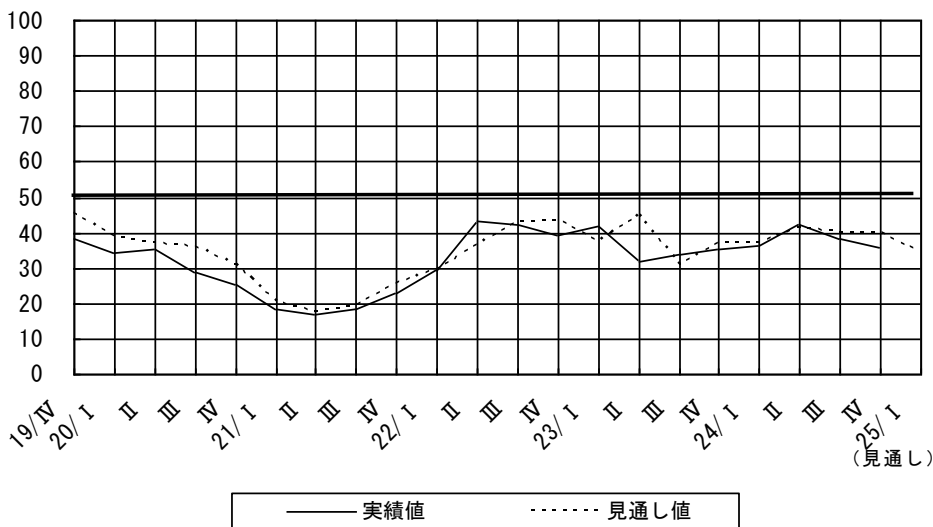


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	17
1. 企業景気.....	17
2. 生産加工量・販売量.....	19
3. 経常利益.....	21
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	23
5. 仕入単価.....	25
6. 製品・商品在庫量.....	27
7. 雇用人員.....	29
8. 資金繰り.....	31
9. 同業他社との競争.....	33
10. 受注残.....	35
11. 生産設備.....	36
12. 設備投資.....	37
(2) 当面の経営戦略について.....	38
(3) 経営上の不安要素について.....	47
(4) 中国における反日デモ等について.....	57
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	58

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

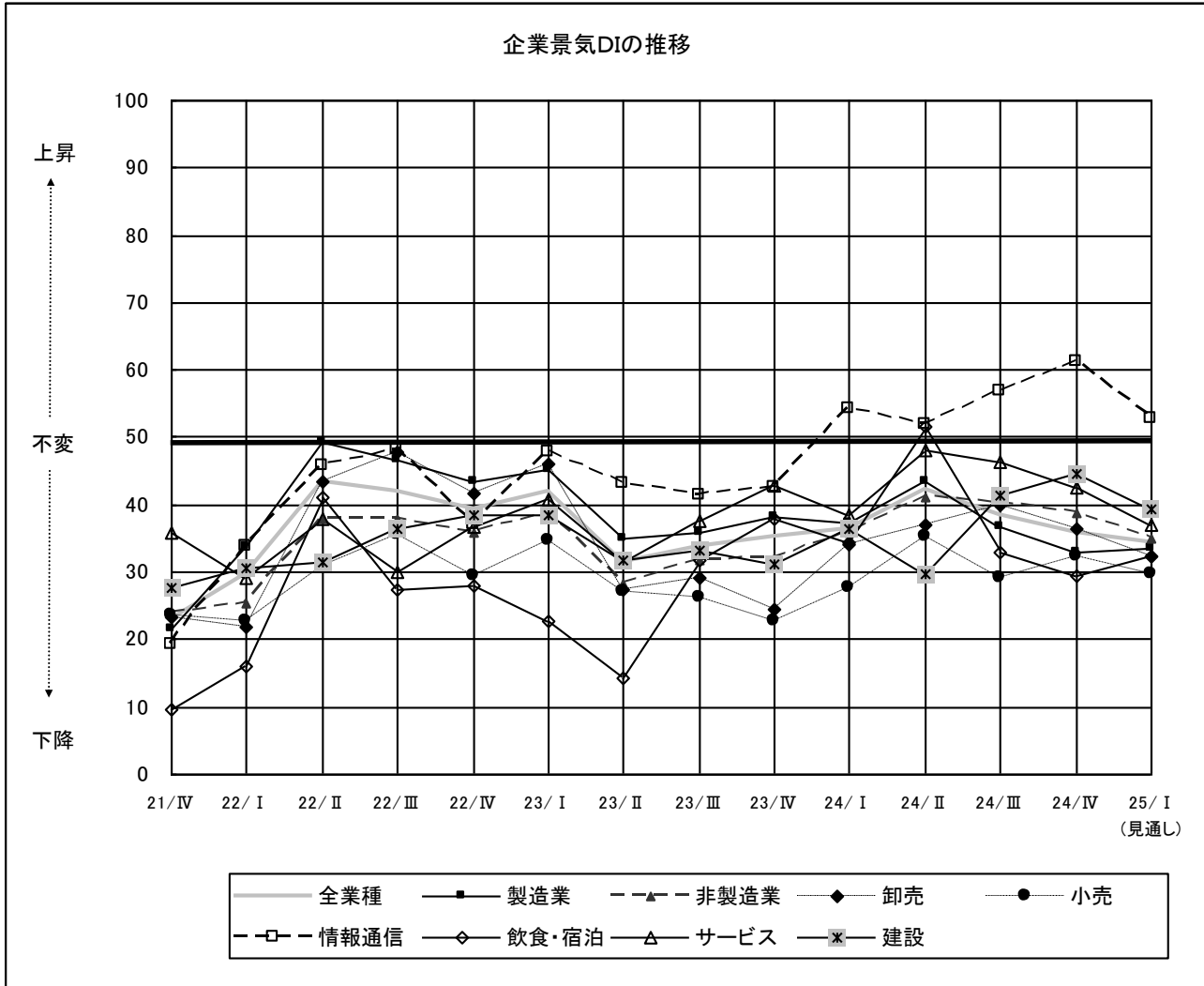


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

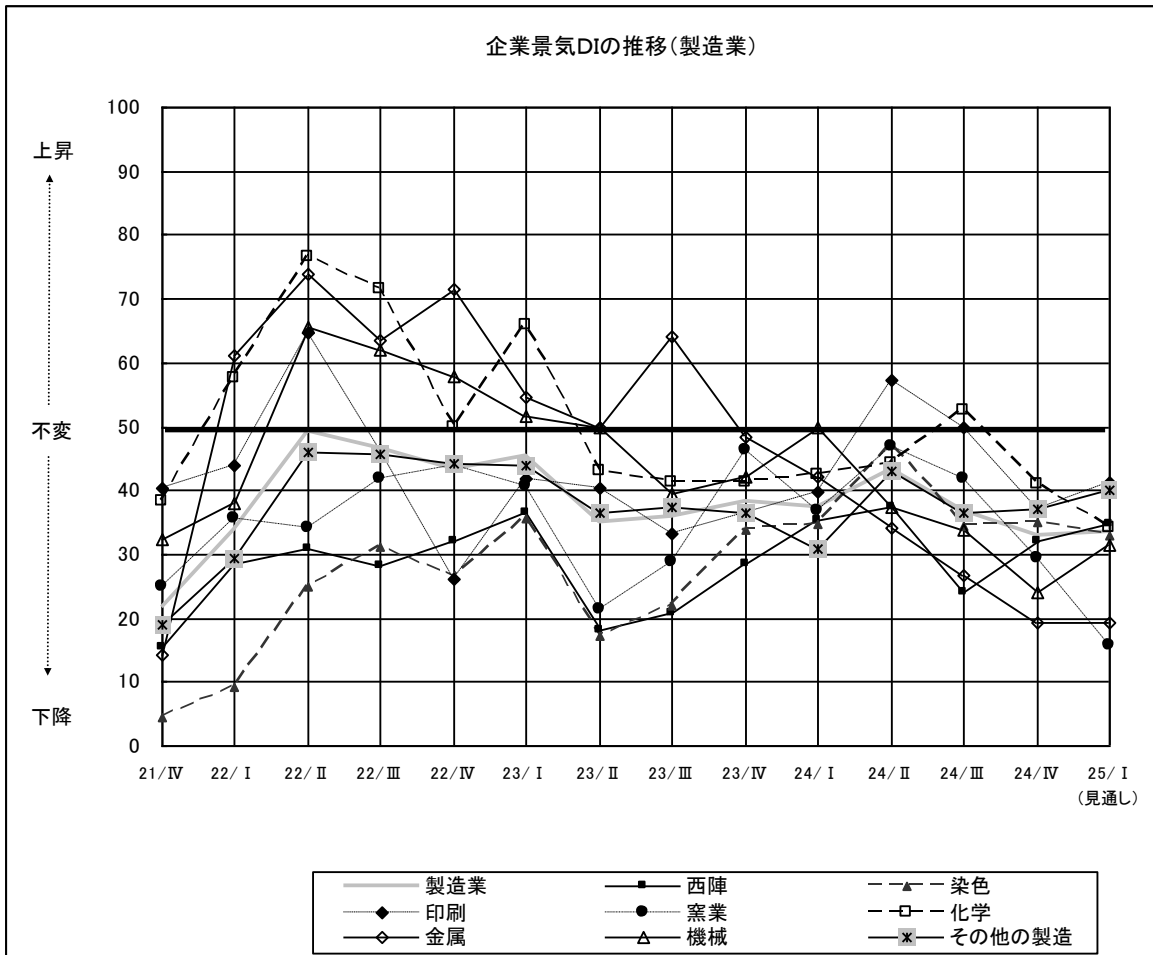


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	38.5	35.9	▼ 2.6	34.3
製造業	36.7	32.9	▼ 3.8	33.6
西陣	24.0	32.0	△ 8.0	34.8
染色	34.3	35.0	△ 0.7	32.8
印刷	50.0	37.0	▼ 13.0	41.3
窯業	41.7	29.4	▼ 12.3	15.6
化学	52.4	40.9	▼ 11.5	34.1
金属	26.8	19.2	▼ 7.6	19.2
機械	33.9	24.1	▼ 9.8	31.5
その他の製造	36.4	37.2	△ 0.8	40.1
非製造業	40.3	38.8	▼ 1.5	35.0
卸売	39.9	36.5	▼ 3.4	32.3
小売	29.1	32.5	△ 3.4	29.8
情報通信	56.9	61.1	△ 4.2	52.9
飲食・宿泊	32.8	29.4	▼ 3.4	32.4
サービス	46.4	42.7	▼ 3.7	37.0
建設	41.3	44.7	△ 3.4	39.5
観光関連	43.4	37.5	▼ 5.9	42.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

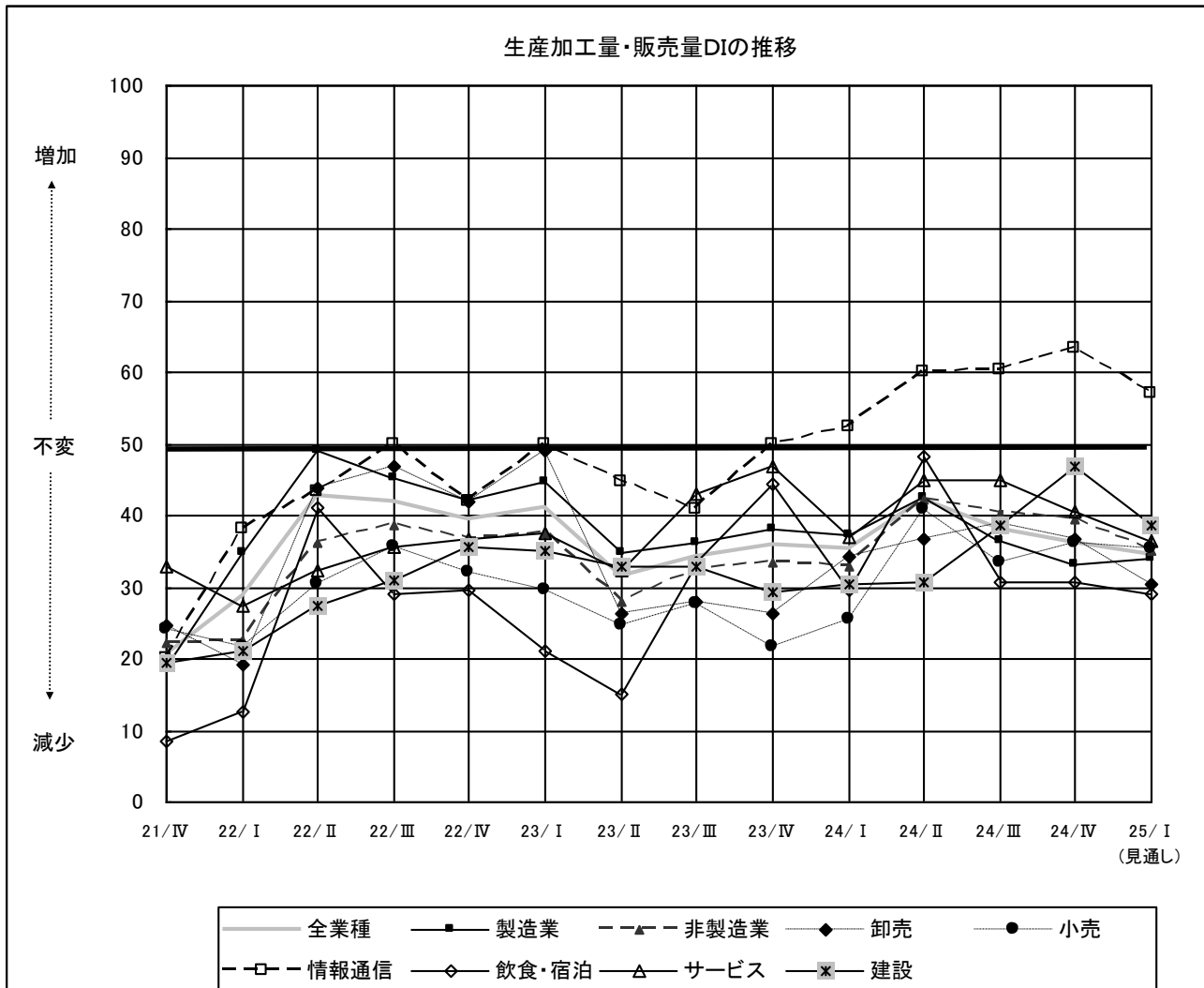


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

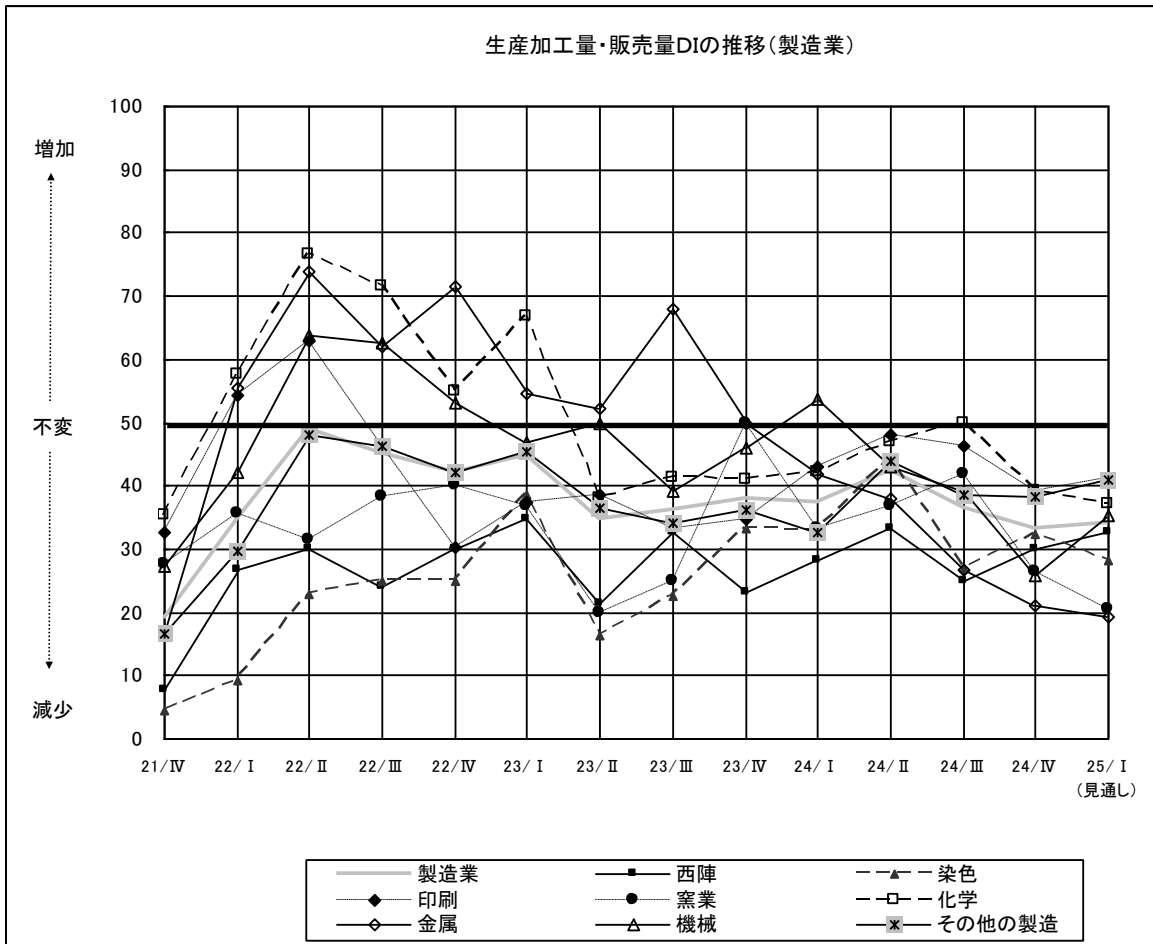


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	38.2	36.1	▼ 2.1	34.6 ▼ 1.5
製造業	36.4	33.1	▼ 3.3	34.1 △ 1.0
西陣	25.0	30.0	△ 5.0	32.6 △ 2.6
染色	27.1	32.3	△ 5.2	28.3 ▼ 4.0
印刷	46.3	39.1	▼ 7.2	41.3 △ 2.2
窯業	41.7	26.5	▼ 15.2	20.6 ▼ 5.9
化学	50.0	39.1	▼ 10.9	37.0 ▼ 2.1
金属	26.8	21.2	▼ 5.6	19.2 ▼ 2.0
機械	39.3	25.9	▼ 13.4	35.2 △ 9.3
その他の製造	38.5	38.4	▼ 0.1	40.9 △ 2.5
非製造業	40.2	39.4	▼ 0.8	35.2 ▼ 4.2
卸売	38.8	36.7	▼ 2.1	30.5 ▼ 6.2
小売	33.3	36.2	△ 2.9	35.3 ▼ 0.9
情報通信	60.3	63.3	△ 3.0	57.1 ▼ 6.2
飲食・宿泊	30.8	30.6	▼ 0.2	29.0 ▼ 1.6
サービス	44.9	40.5	▼ 4.4	36.5 ▼ 4.0
建設	38.6	46.8	△ 8.2	38.7 ▼ 8.1
観光関連	44.4	38.7	▼ 5.7	40.3 △ 1.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移 (全体)

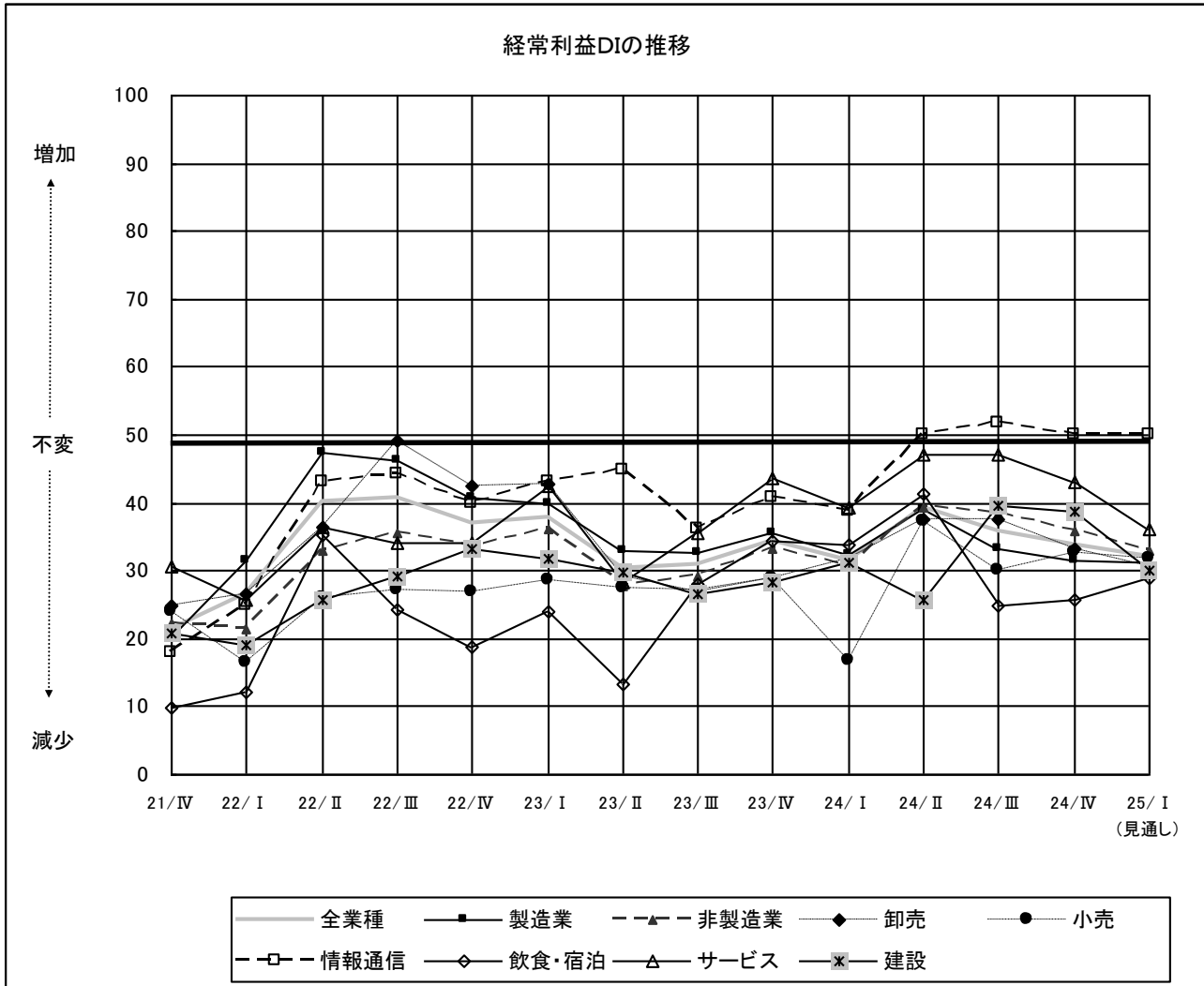


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

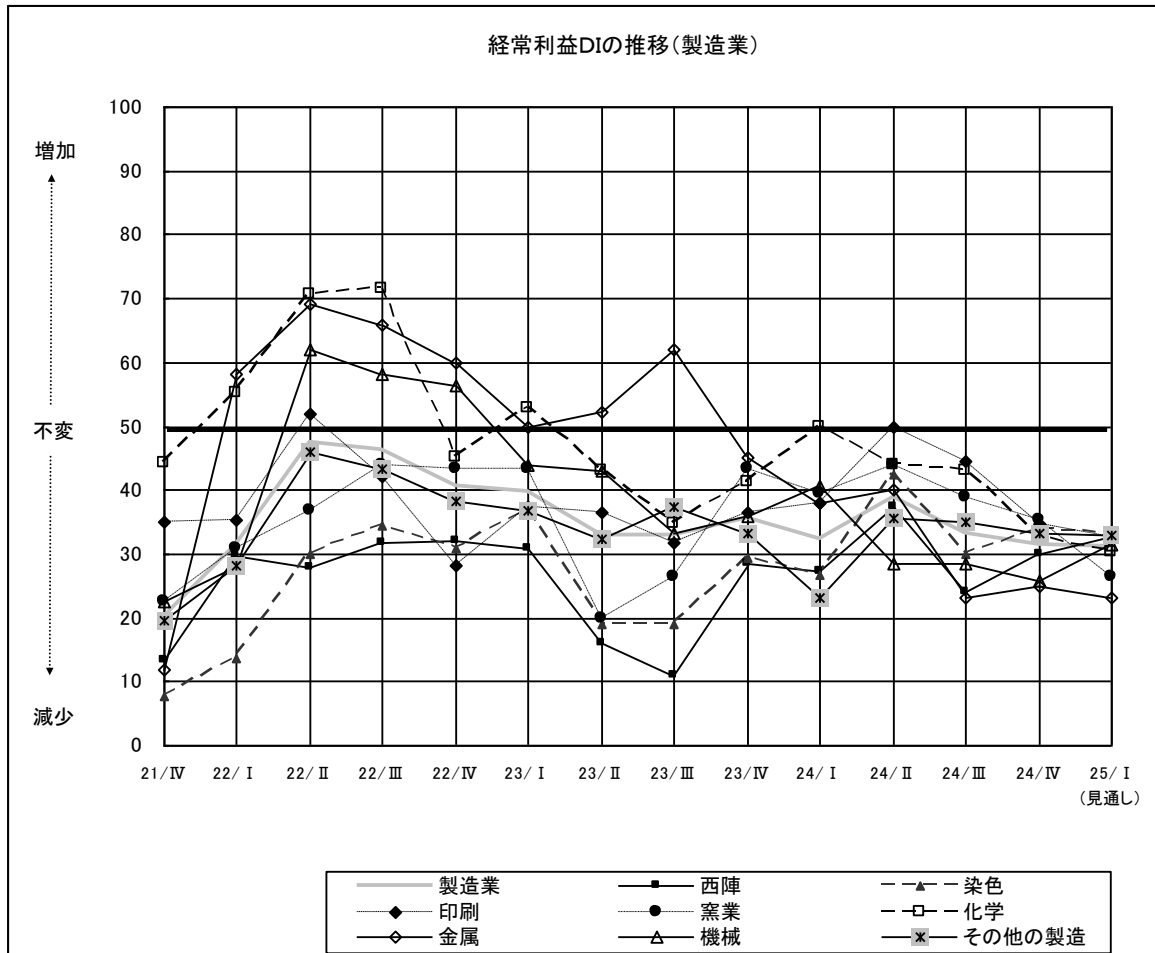


表3. 経常利益DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	35.8	33.7	▼ 2.1	32.0	▼ 1.7
製造業	33.3	31.6	▼ 1.7	31.1	▼ 0.5
西陣	24.0	30.0	△ 6.0	32.6	△ 2.6
染色	30.0	33.9	△ 3.9	33.3	▼ 0.6
印刷	44.4	34.8	▼ 9.6	32.6	▼ 2.2
窯業	38.9	35.3	▼ 3.6	26.5	▼ 8.8
化学	42.9	32.6	▼ 10.3	30.4	▼ 2.2
金属	23.2	25.0	△ 1.8	23.1	▼ 1.9
機械	28.6	25.9	▼ 2.7	31.5	△ 5.6
その他の製造	35.1	33.3	▼ 1.8	32.9	▼ 0.4
非製造業	38.3	35.9	▼ 2.4	32.9	▼ 3.0
卸売	37.7	33.3	▼ 4.4	30.6	▼ 2.7
小売	30.0	32.8	△ 2.8	31.9	▼ 0.9
情報通信	51.7	50.0	▼ 1.7	50.0	△ 0.0
飲食・宿泊	25.0	25.8	△ 0.8	29.0	△ 3.2
サービス	47.0	43.2	▼ 3.8	36.0	▼ 7.2
建設	39.7	38.6	▼ 1.1	30.0	▼ 8.6
観光関連	43.4	37.1	▼ 6.3	37.1	△ 0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

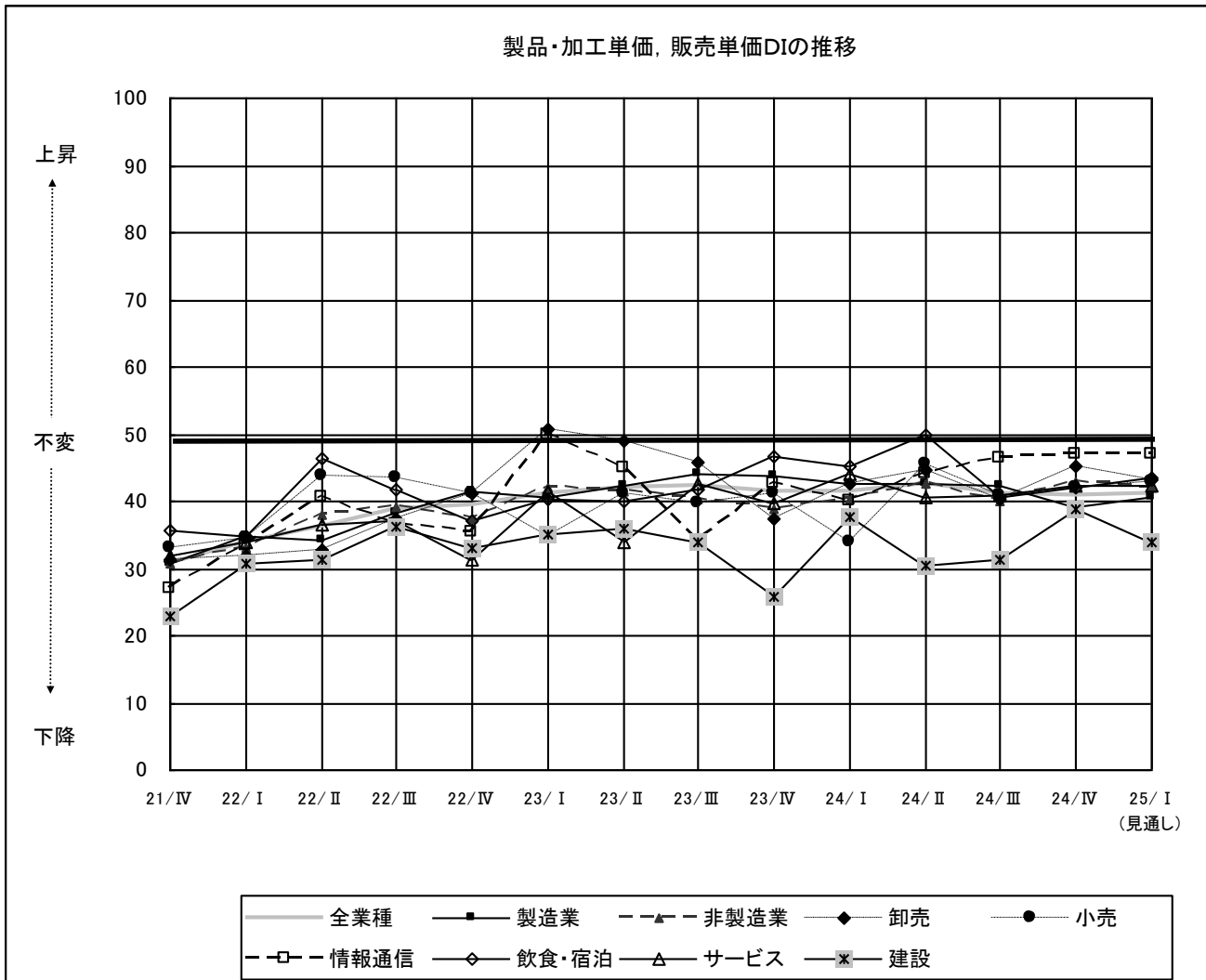


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

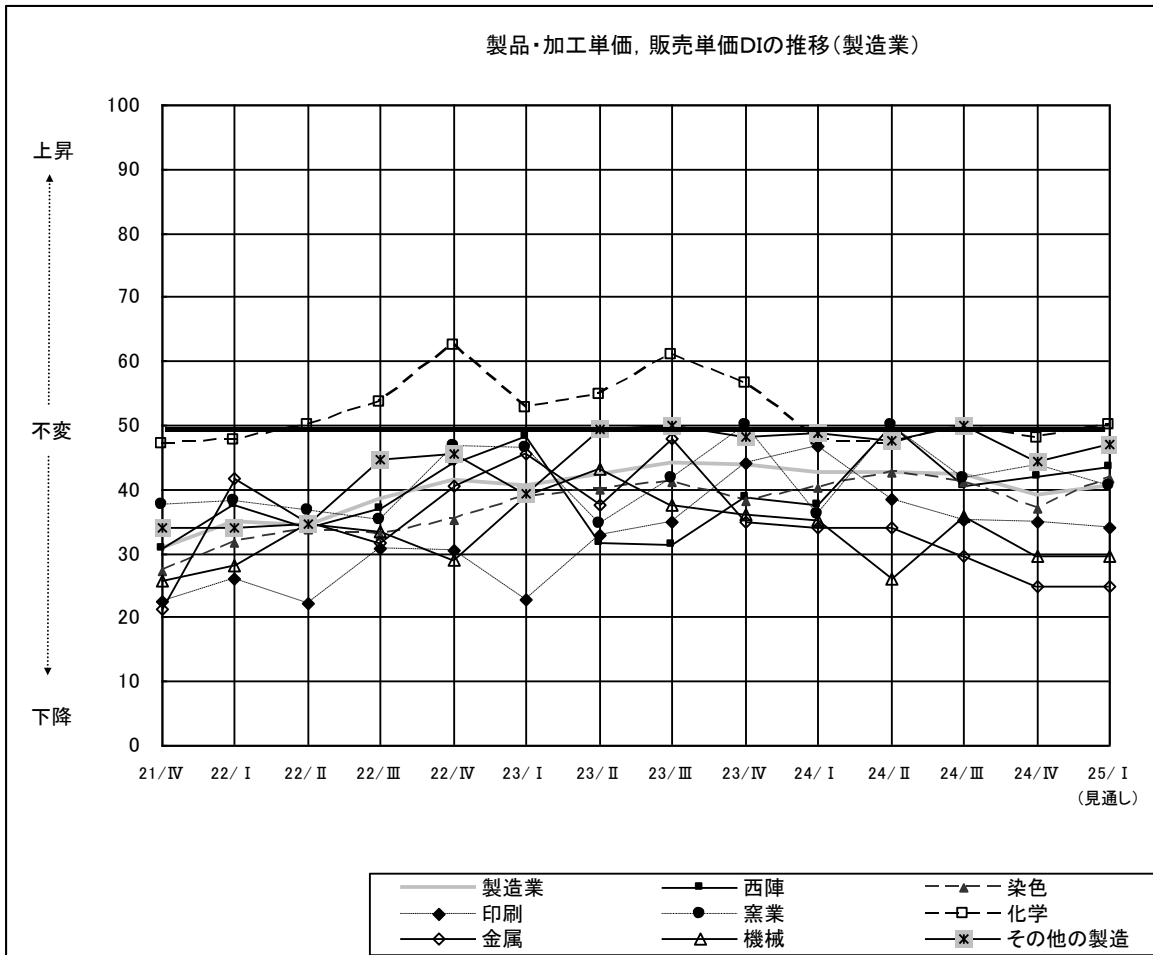


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	41.2	40.9	▼ 0.3	△ 0.4
製造業	42.3	39.1	▼ 3.2	△ 1.5
西陣	40.4	42.0	△ 1.6	△ 1.5
染色	41.2	37.1	▼ 4.1	△ 4.6
印刷	35.2	34.8	▼ 0.4	▼ 0.7
窯業	41.7	43.8	△ 2.1	▼ 3.2
化学	50.0	47.8	▼ 2.2	△ 2.2
金属	29.6	25.0	▼ 4.6	△ 0.0
機械	35.7	29.6	▼ 6.1	△ 0.0
その他の製造	50.0	44.4	▼ 5.6	△ 2.6
非製造業	40.0	42.8	△ 2.8	▼ 0.7
卸売	40.4	45.1	△ 4.7	▼ 1.8
小売	40.9	42.0	△ 1.1	△ 1.0
情報通信	46.3	47.1	△ 0.8	▼ 0.2
飲食・宿泊	40.7	41.9	△ 1.2	△ 1.6
サービス	40.8	42.3	△ 1.5	△ 0.0
建設	31.4	38.7	△ 7.3	▼ 4.8
観光関連	50.0	45.2	▼ 4.8	▼ 1.7

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

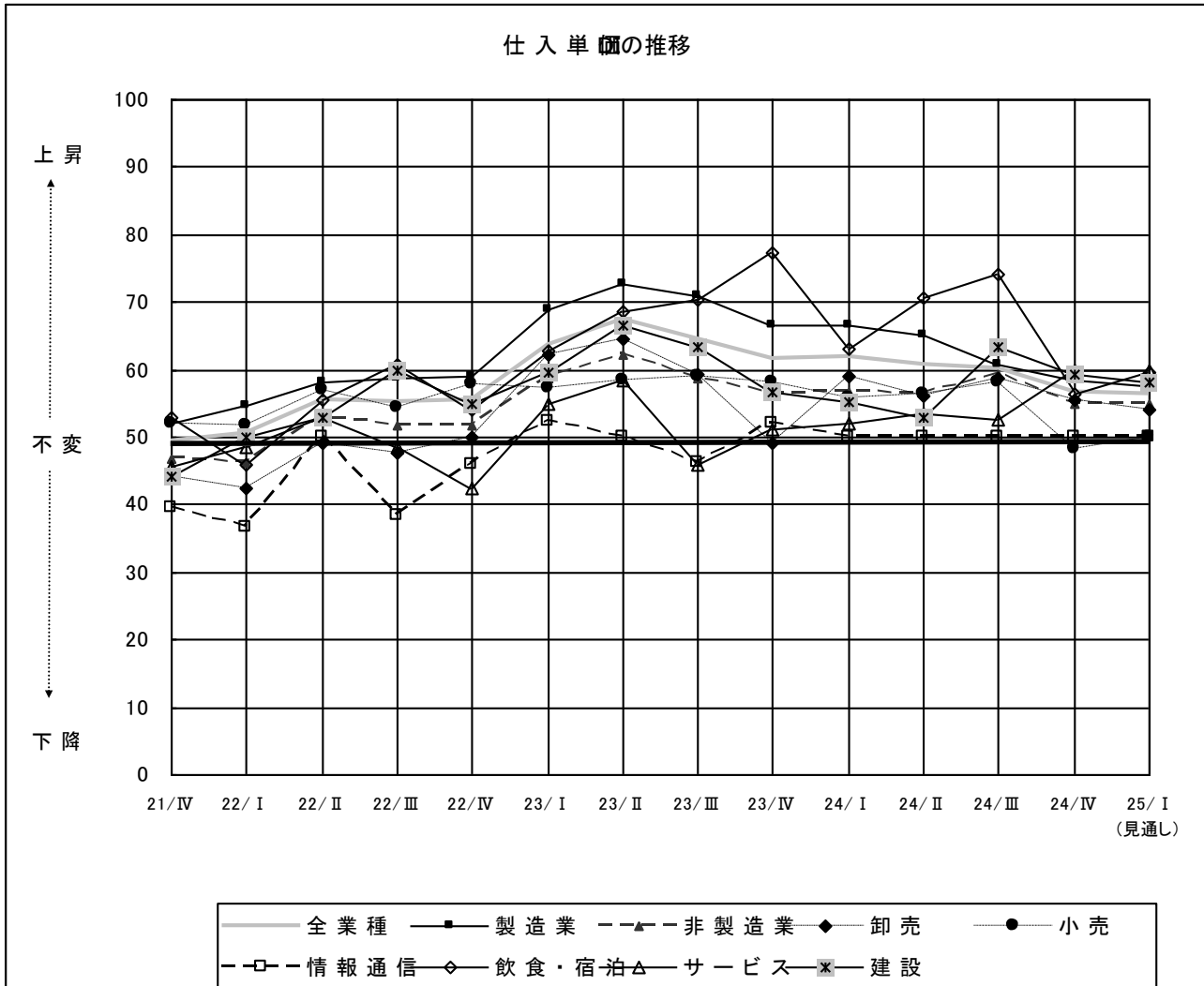


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

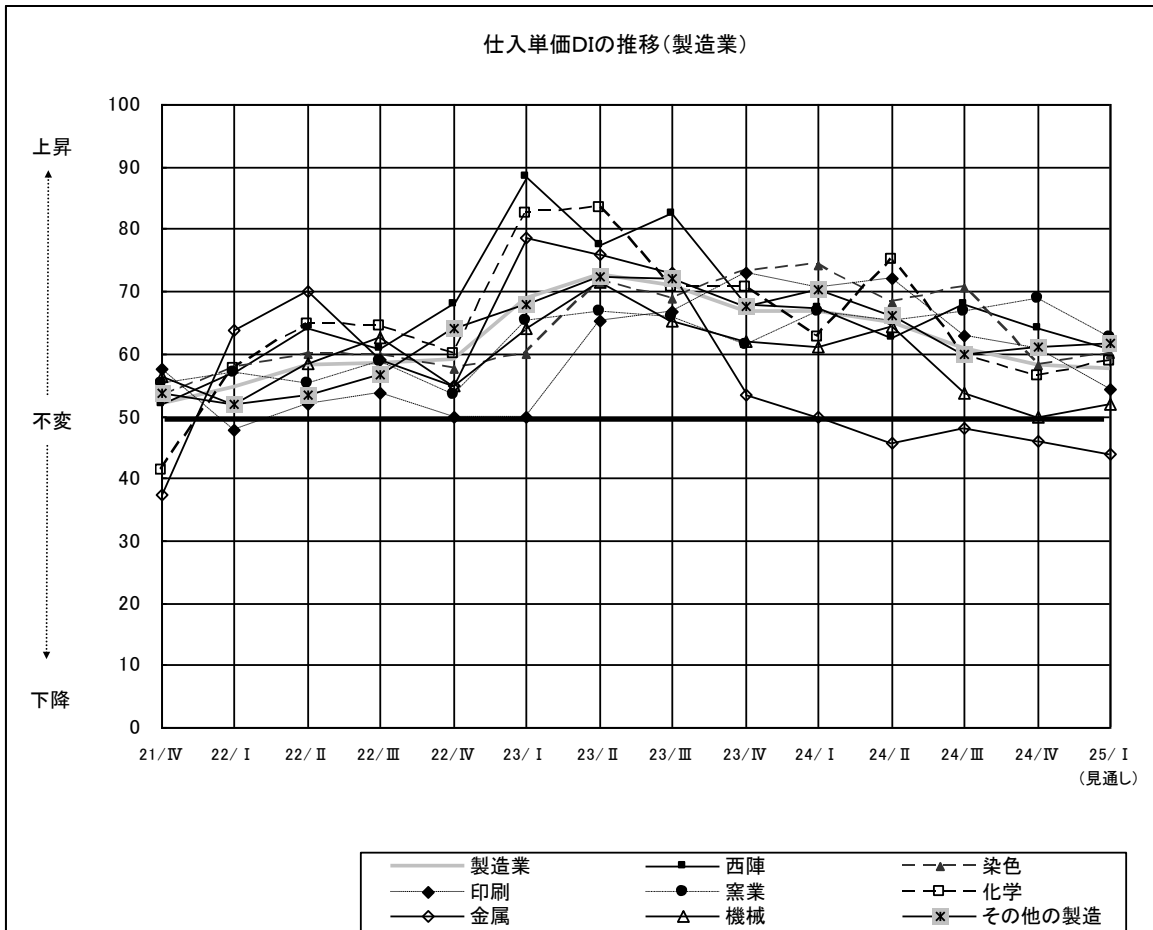


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	60.1	56.6	▼ 3.5	56.4 ▼ 0.2
製造業	60.9	58.3	▼ 2.6	57.6 ▼ 0.7
西陣	68.0	64.0	▼ 4.0	60.9 ▼ 3.1
染色	70.6	58.1	▼ 12.5	60.0 △ 1.9
印刷	63.0	60.9	▼ 2.1	54.3 ▼ 6.6
窯業	66.7	68.8	△ 2.1	62.5 ▼ 6.3
化学	59.5	56.5	▼ 3.0	58.7 △ 2.2
金属	48.1	46.0	▼ 2.1	44.0 ▼ 2.0
機械	53.7	50.0	▼ 3.7	51.9 △ 1.9
その他の製造	59.8	61.0	△ 1.2	61.6 △ 0.6
非製造業	59.2	54.8	▼ 4.4	55.0 △ 0.2
卸売	58.7	55.6	▼ 3.1	54.0 ▼ 1.6
小売	58.2	48.3	▼ 9.9	50.0 △ 1.7
情報通信	50.0	50.0	△ 0.0	50.0 △ 0.0
飲食・宿泊	74.1	56.5	▼ 17.6	59.7 △ 3.2
サービス	52.6	59.8	△ 7.2	60.0 △ 0.2
建設	63.5	59.4	▼ 4.1	58.1 ▼ 1.3
観光関連	61.8	59.7	▼ 2.1	56.5 ▼ 3.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移（全体）

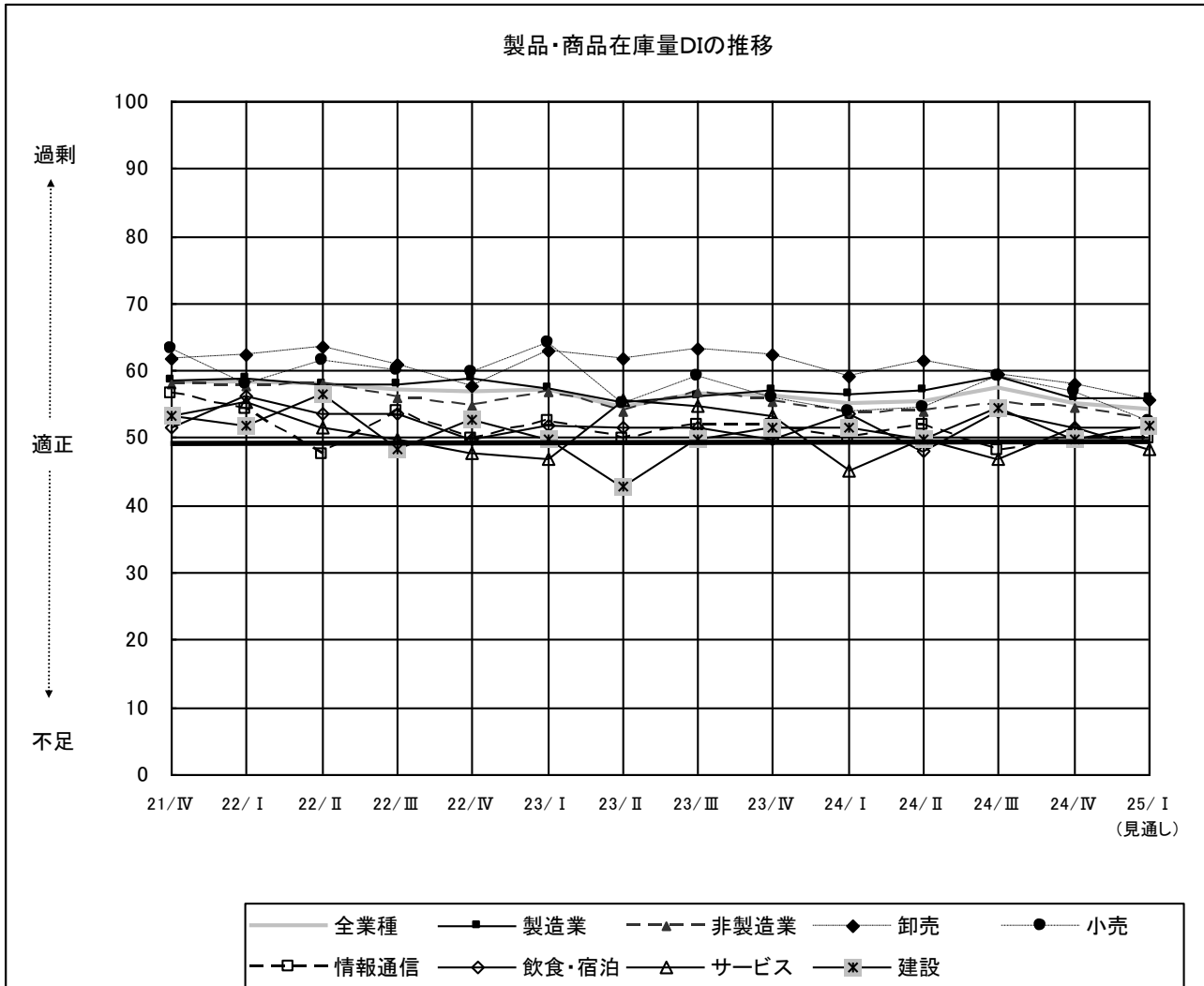


図 12. 製品・商品在庫量DIの推移 (製造業)

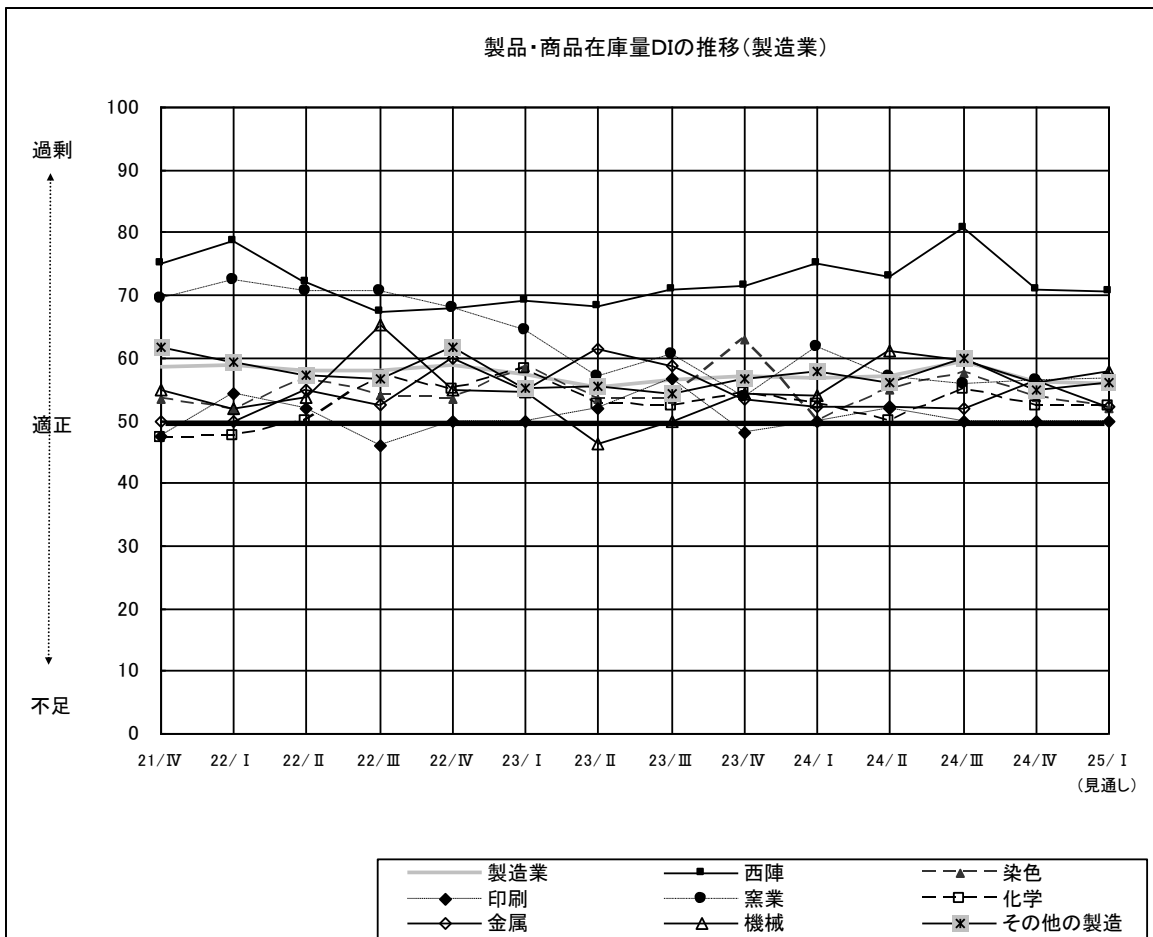


表 6. 製品・商品在庫量DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し		
			前期比	今期比	
全業種	57.3	55.2	▼ 2.1	54.2	▼ 1.0
製造業	59.3	56.0	▼ 3.3	55.9	▼ 0.1
西陣	80.8	70.8	▼ 10.0	70.5	▼ 0.3
染色	57.6	53.6	▼ 4.0	51.9	▼ 1.7
印刷	50.0	50.0	△ 0.0	50.0	△ 0.0
窯業	55.9	56.3	△ 0.4	56.7	△ 0.4
化学	55.0	52.2	▼ 2.8	52.2	△ 0.0
金属	51.9	56.3	△ 4.4	52.1	▼ 4.2
機械	59.6	56.0	▼ 3.6	58.0	△ 2.0
其他の製造	60.0	54.9	▼ 5.1	56.2	△ 1.3
非製造業	55.1	54.4	▼ 0.7	52.5	▼ 1.9
卸売	59.4	57.9	▼ 1.5	55.7	▼ 2.2
小売	59.1	56.9	▼ 2.2	52.6	▼ 4.3
情報通信	48.1	50.0	△ 1.9	50.0	△ 0.0
飲食・宿泊	53.8	51.7	▼ 2.1	51.7	△ 0.0
サービス	47.0	51.5	△ 4.5	48.5	▼ 3.0
建設	54.5	50.0	▼ 4.5	51.8	△ 1.8
観光関連	58.3	55.2	▼ 3.1	56.9	△ 1.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図 13. 雇用人員DIの推移 (全体)

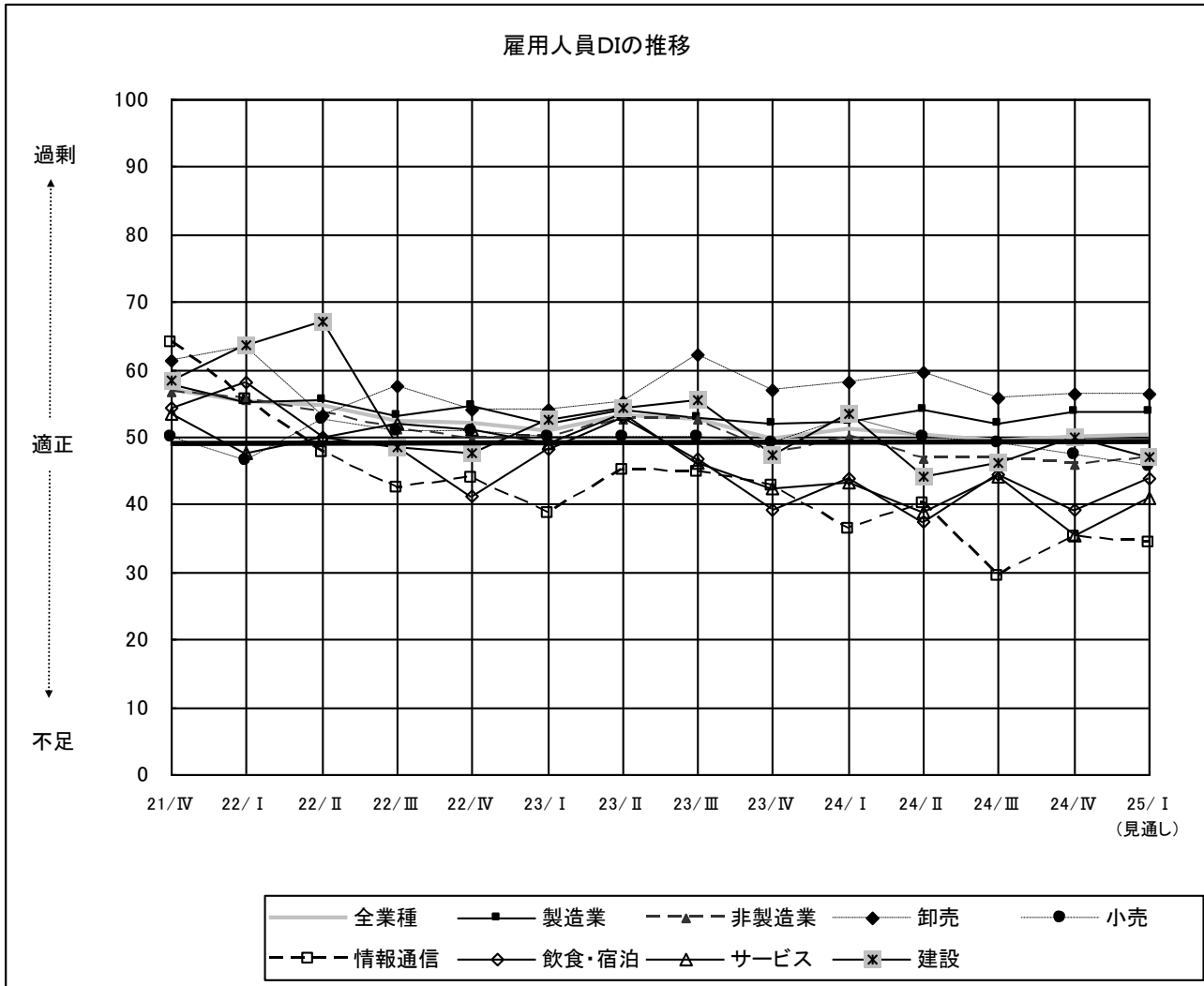


図 14. 雇用人員DIの推移 (製造業)

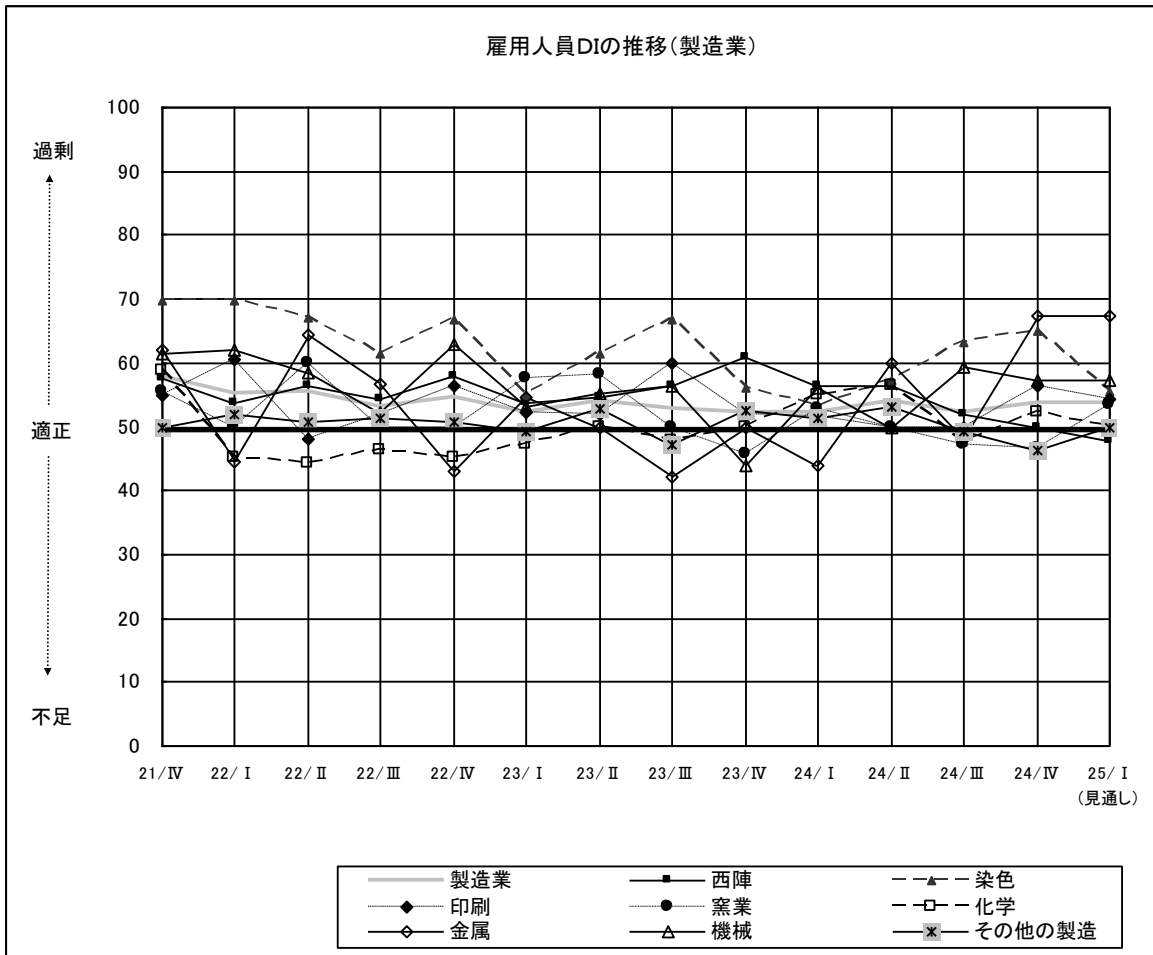


表 7. 雇用人員DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し		
			前期比	今期比	
全業種	49.4	49.9	△ 0.5	50.2	△ 0.3
製造業	52.1	53.8	△ 1.7	53.7	▼ 0.1
西陣	51.9	50.0	▼ 1.9	47.8	▼ 2.2
染色	63.2	65.0	△ 1.8	55.4	▼ 9.6
印刷	50.0	56.5	△ 6.5	54.3	▼ 2.2
窯業	47.1	46.7	▼ 0.4	53.3	△ 6.6
化学	47.5	52.3	△ 4.8	50.0	▼ 2.3
金属	48.1	67.3	△ 19.2	67.3	△ 0.0
機械	59.3	57.4	▼ 1.9	57.4	△ 0.0
その他の製造	49.4	46.3	▼ 3.1	50.0	△ 3.7
非製造業	46.9	46.0	▼ 0.9	46.7	△ 0.7
卸売	55.8	56.3	△ 0.5	56.5	△ 0.2
小売	49.1	47.3	▼ 1.8	45.6	▼ 1.7
情報通信	29.3	35.3	△ 6.0	34.4	▼ 0.9
飲食・宿泊	44.6	39.1	▼ 5.5	43.8	△ 4.7
サービス	44.1	35.6	▼ 8.5	40.9	△ 5.3
建設	46.3	50.0	△ 3.7	47.1	▼ 2.9
観光関連	47.4	51.7	△ 4.3	50.0	▼ 1.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図 15. 資金繰り DI の推移 (全体)

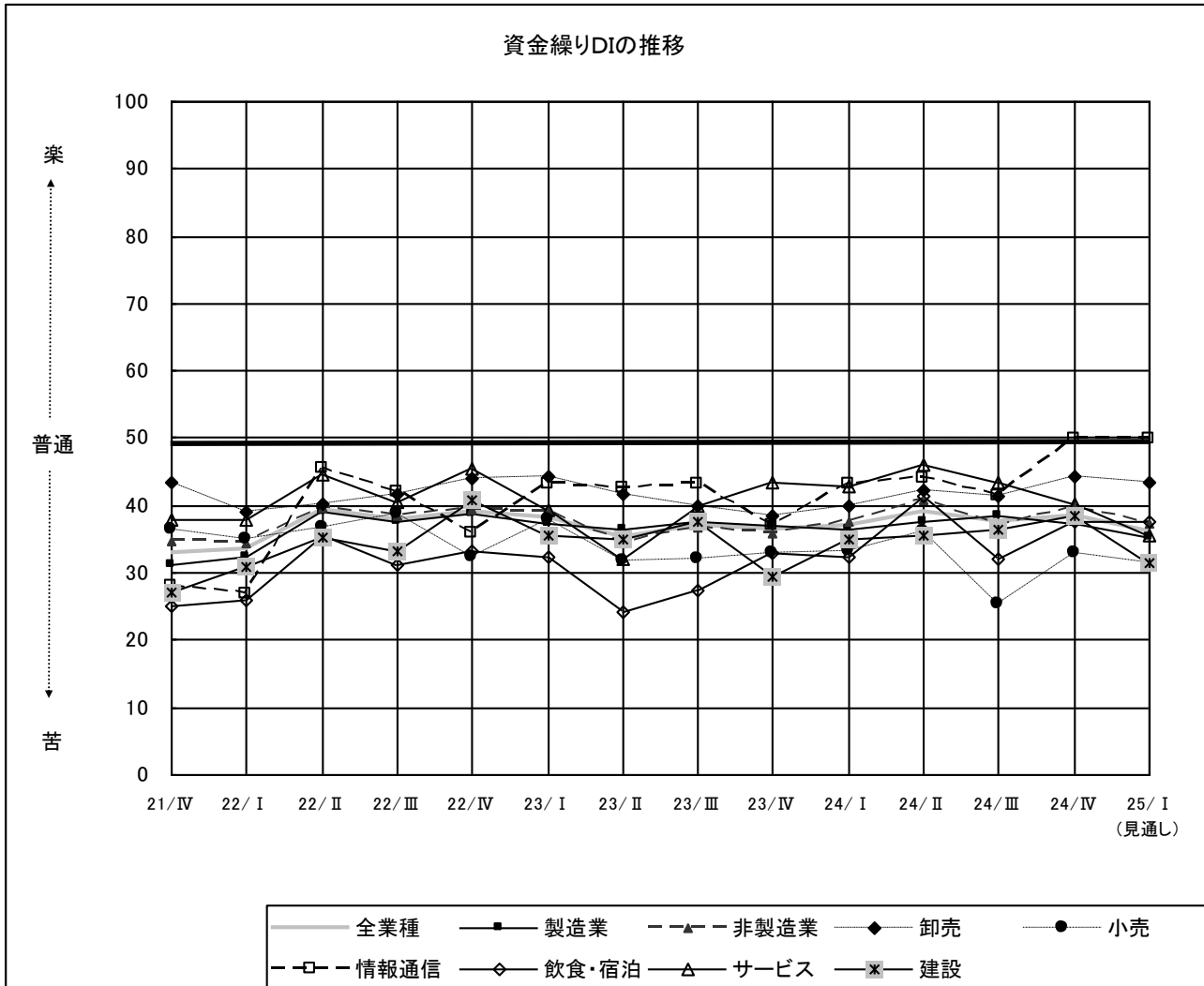


図 16. 資金繰りDIの推移（製造業）

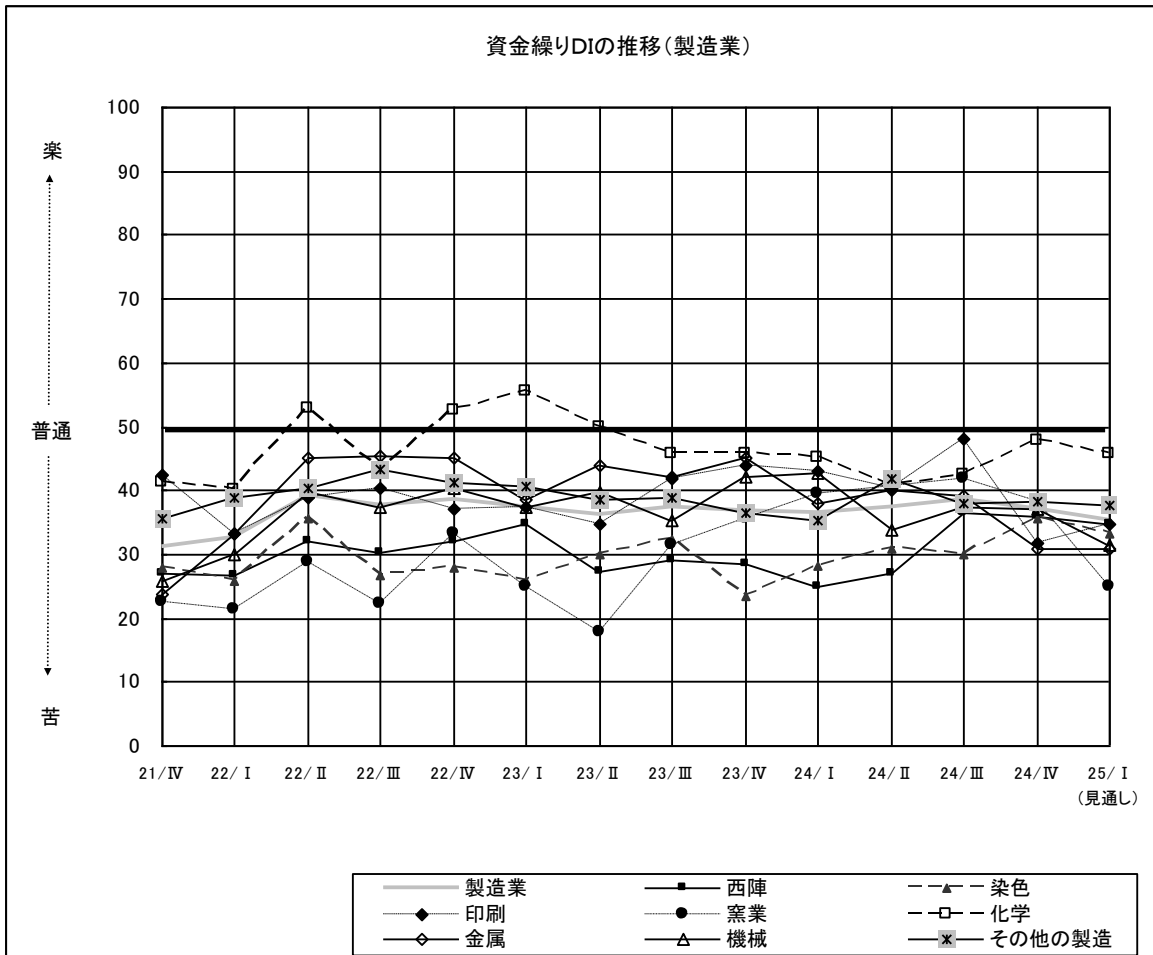


表 8. 資金繰りDI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	37.7	38.4	△ 0.7	36.2	▼ 2.2
製造業	38.5	37.2	▼ 1.3	35.2	▼ 2.0
西陣	36.5	36.0	▼ 0.5	34.8	▼ 1.2
染色	30.0	35.5	△ 5.5	33.3	▼ 2.2
印刷	48.1	31.8	▼ 16.3	34.8	△ 3.0
窯業	41.7	38.2	▼ 3.5	25.0	▼ 13.2
化学	42.5	47.8	△ 5.3	45.7	▼ 2.1
金属	39.3	30.8	▼ 8.5	30.8	△ 0.0
機械	37.5	37.0	▼ 0.5	31.5	▼ 5.5
その他の製造	38.1	38.4	△ 0.3	37.8	▼ 0.6
非製造業	36.9	39.6	△ 2.7	37.2	▼ 2.4
卸売	41.3	44.4	△ 3.1	43.5	▼ 0.9
小売	25.5	32.8	△ 7.3	31.6	▼ 1.2
情報通信	41.4	50.0	△ 8.6	50.0	△ 0.0
飲食・宿泊	32.1	37.5	△ 5.4	37.5	△ 0.0
サービス	43.4	40.2	▼ 3.2	35.6	▼ 4.6
建設	36.3	38.6	△ 2.3	31.4	▼ 7.2
観光関連	34.2	38.7	△ 4.5	35.5	▼ 3.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移 (全体)

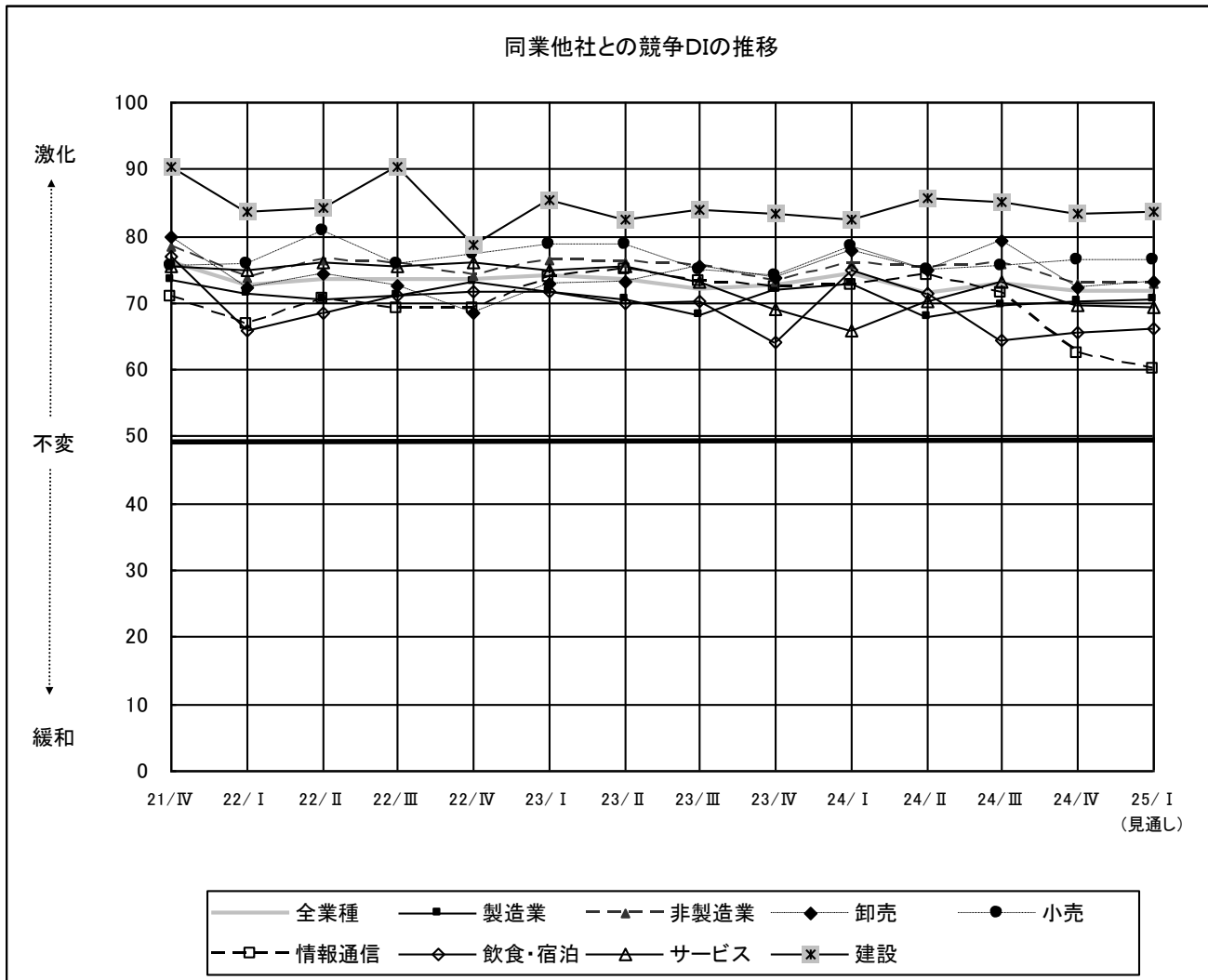


図 18. 同業他社との競争DIの推移 (製造業)

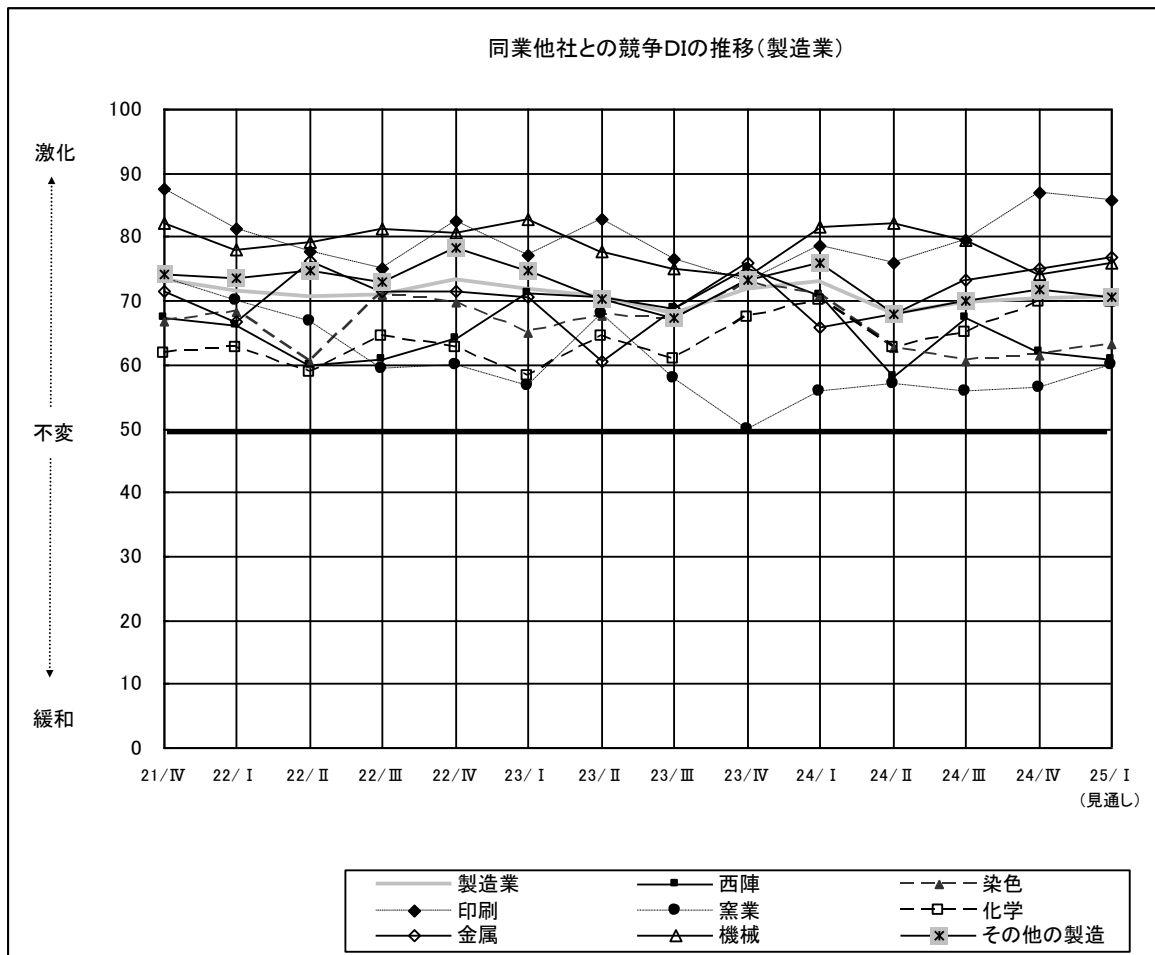


表 9. 同業他社との競争DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	72.8	71.6	▼ 1.2	71.8	△ 0.2
製造業	69.6	70.3	△ 0.7	70.6	△ 0.3
西陣	67.3	62.0	▼ 5.3	60.9	▼ 1.1
染色	60.6	61.3	△ 0.7	63.3	△ 2.0
印刷	79.6	87.0	△ 7.4	85.7	▼ 1.3
窯業	55.9	56.3	△ 0.4	60.0	△ 3.7
化学	65.0	69.6	△ 4.6	69.6	△ 0.0
金属	73.2	75.0	△ 1.8	76.9	△ 1.9
機械	79.6	74.1	▼ 5.5	75.9	△ 1.8
その他の製造	70.1	71.9	△ 1.8	70.7	▼ 1.2
非製造業	75.8	72.8	▼ 3.0	73.0	△ 0.2
卸売	79.4	72.2	▼ 7.2	73.3	△ 1.1
小売	75.5	76.3	△ 0.8	76.4	△ 0.1
情報通信	71.4	62.5	▼ 8.9	60.0	▼ 2.5
飲食・宿泊	64.3	65.6	△ 1.3	66.1	△ 0.5
サービス	73.1	69.6	▼ 3.5	69.3	▼ 0.3
建設	85.0	83.3	▼ 1.7	83.8	△ 0.5
観光関連	73.7	69.4	▼ 4.3	70.0	△ 0.6

11. 生産設備

図 20. 生産設備DIの推移

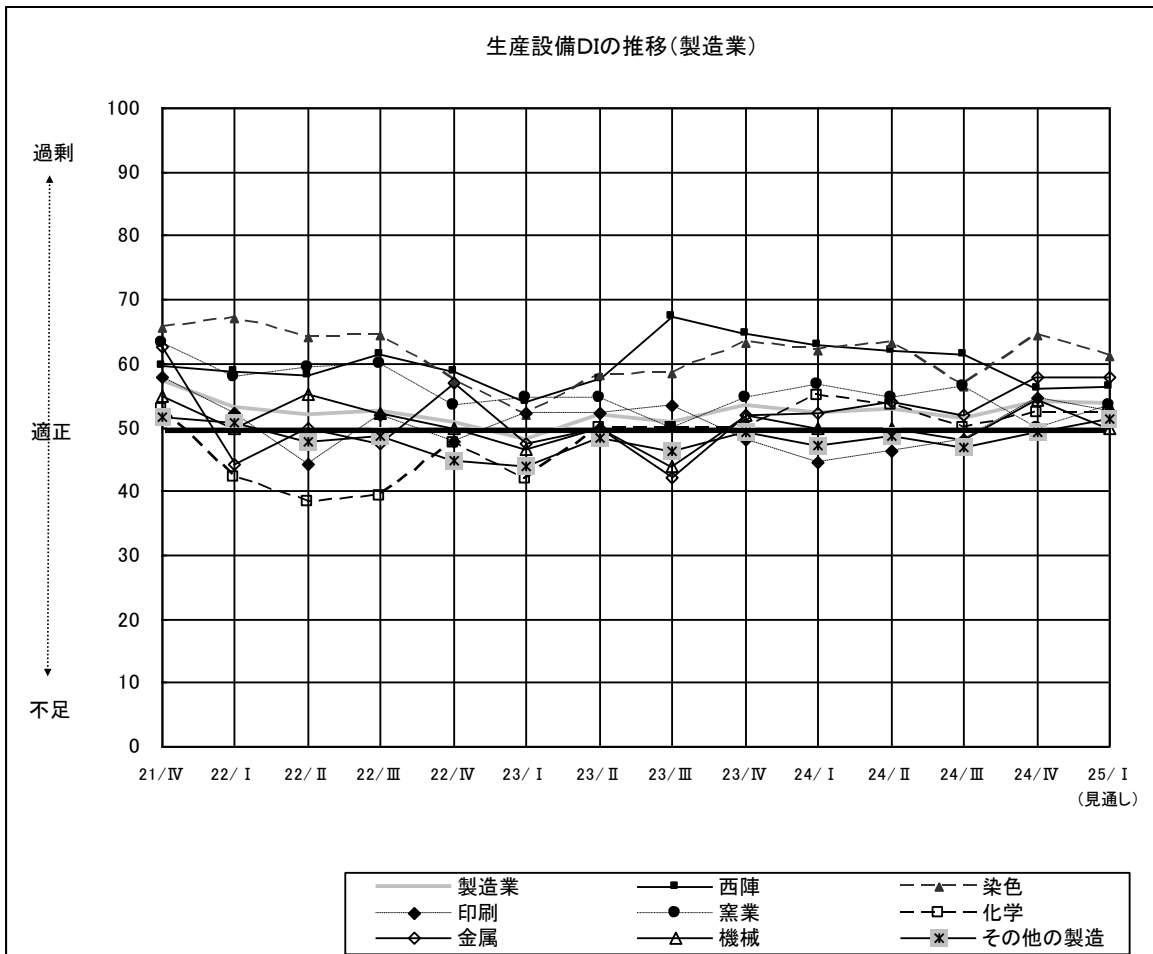


表 11. 生産設備DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	51.2	54.0	△ 2.8	▼ 0.2
西陣	61.5	56.0	▼ 5.5	△ 0.5
染色	56.3	64.3	△ 8.0	▼ 3.2
印刷	48.1	54.5	△ 6.4	▼ 2.1
窯業	56.3	50.0	▼ 6.3	△ 3.3
化学	50.0	52.3	△ 2.3	△ 0.0
金属	52.0	58.0	△ 6.0	△ 0.0
機械	48.1	54.2	△ 6.1	▼ 4.2
其他の製造	47.0	49.3	△ 2.3	△ 2.0
観光関連	54.5	50.0	▼ 4.5	△ 0.0

12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

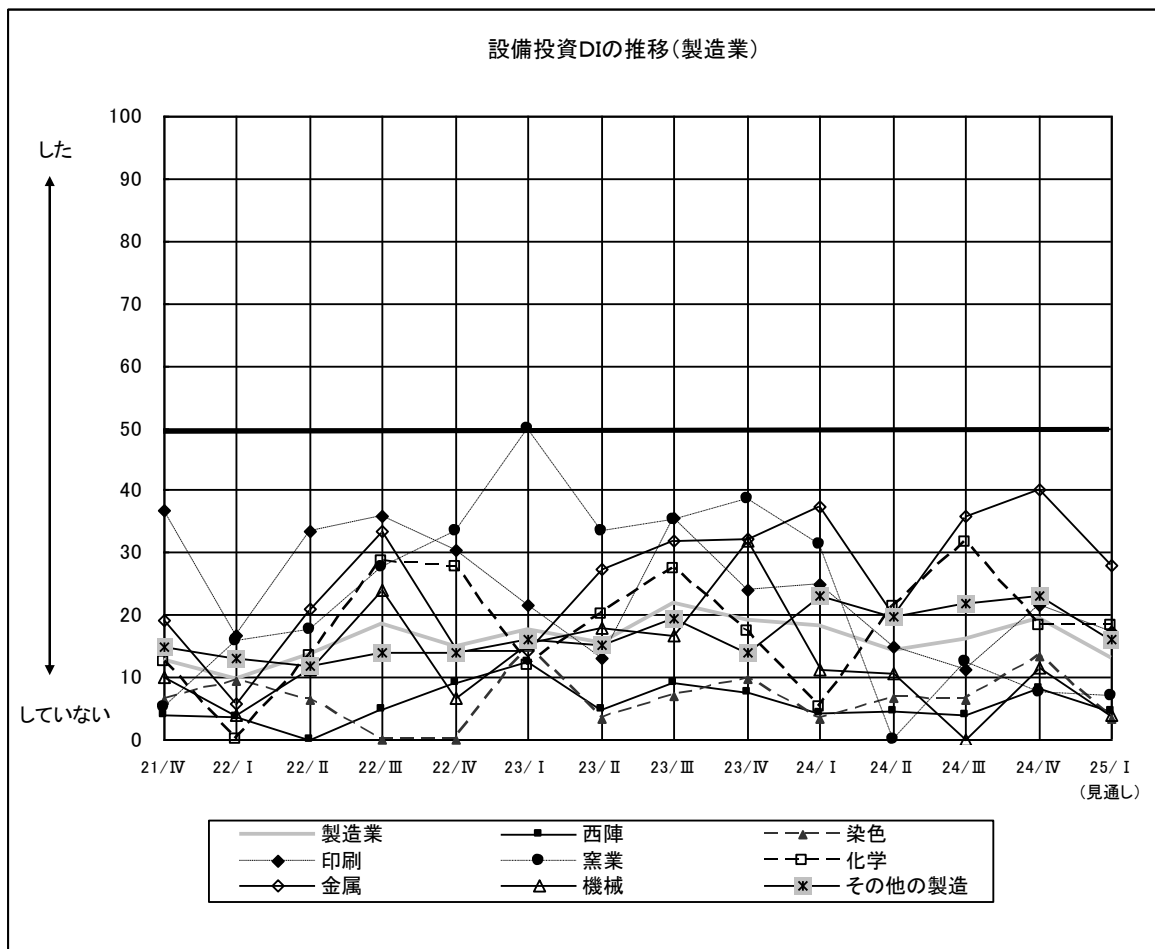


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	16.1	19.4	△ 3.3	13.2 ▼ 6.2
西陣	3.8	8.3	△ 4.5	4.5 ▼ 3.8
染色	6.3	13.3	△ 7.0	3.4 ▼ 9.9
印刷	11.1	21.7	△ 10.6	17.4 ▼ 4.3
窯業	12.5	7.7	▼ 4.8	7.1 ▼ 0.6
化学	31.6	18.2	▼ 13.4	18.2 △ 0.0
金属	36.0	40.0	△ 4.0	28.0 ▼ 12.0
機械	0.0	11.5	△ 11.5	4.0 ▼ 7.5
その他の製造	22.0	23.0	△ 1.0	16.0 ▼ 7.0
観光関連	9.1	100.0	△ 90.9	0.0 ▼ 100.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

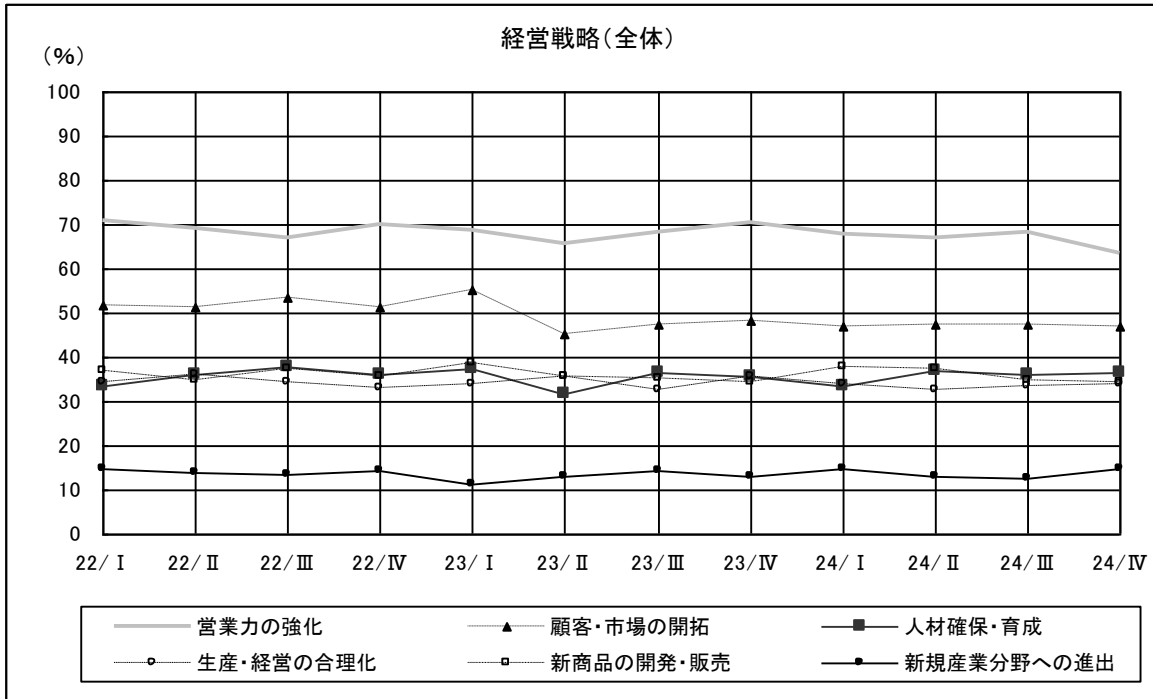


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

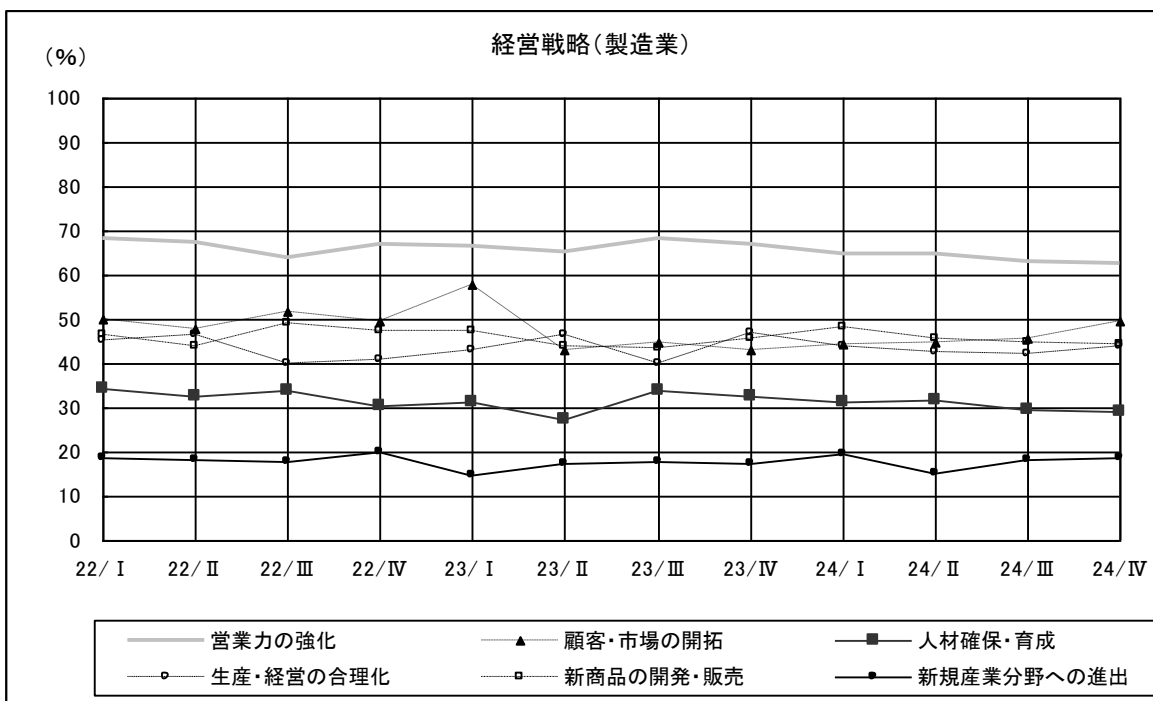


図 24. 当面の経営戦略・西陣

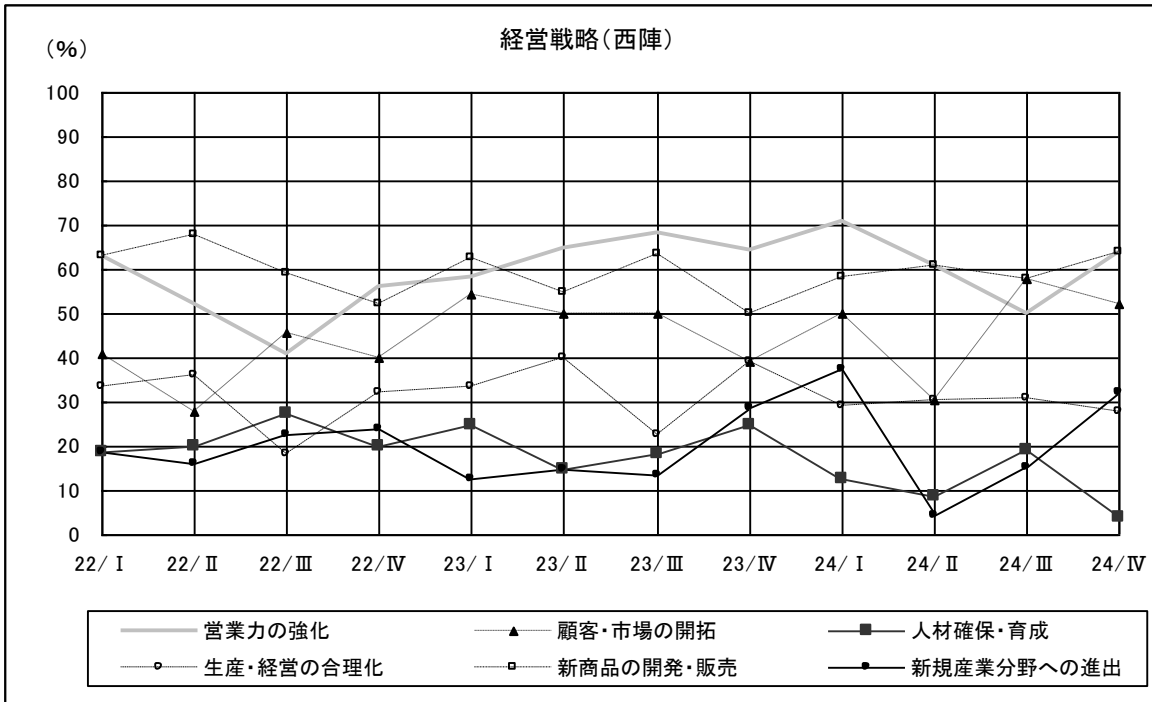


図 25. 当面の経営戦略・染色

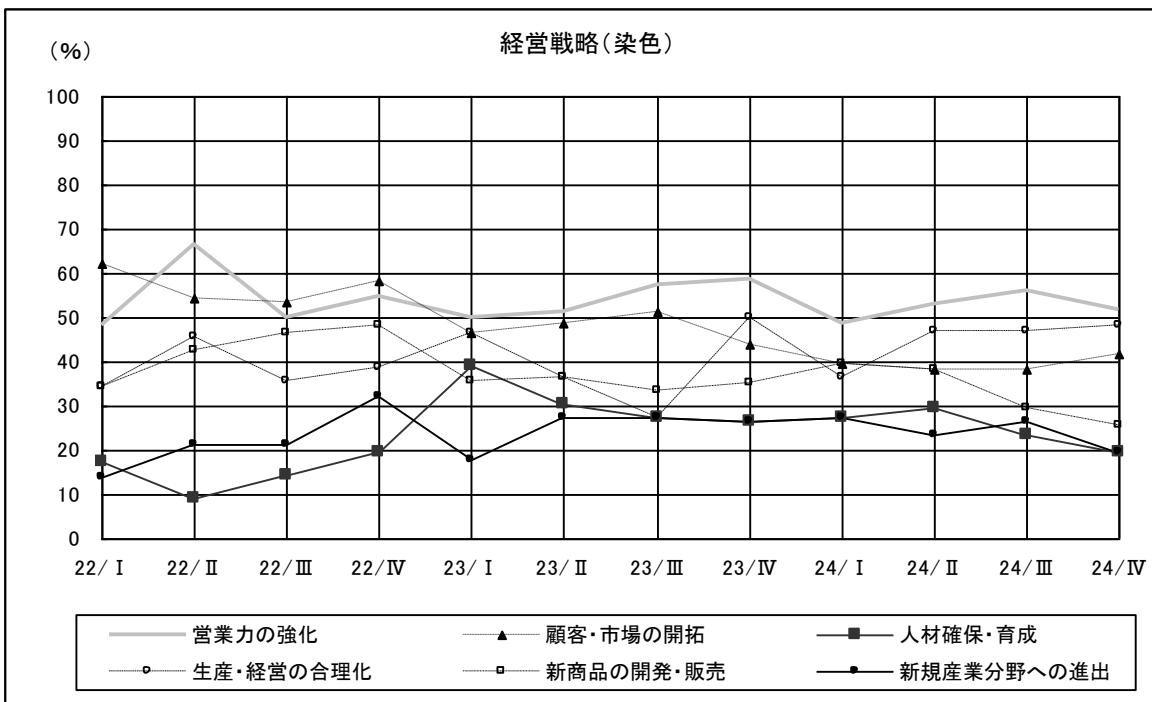


図 26. 当面の経営戦略・印刷

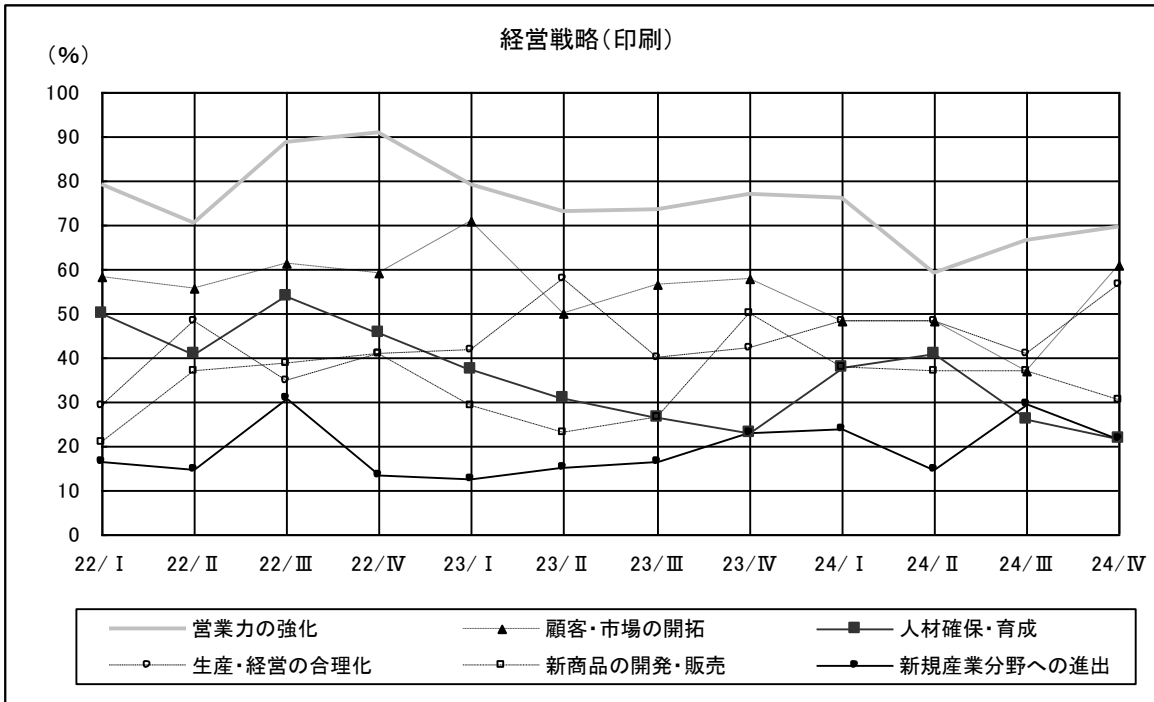


図 27. 当面の経営戦略・窯業

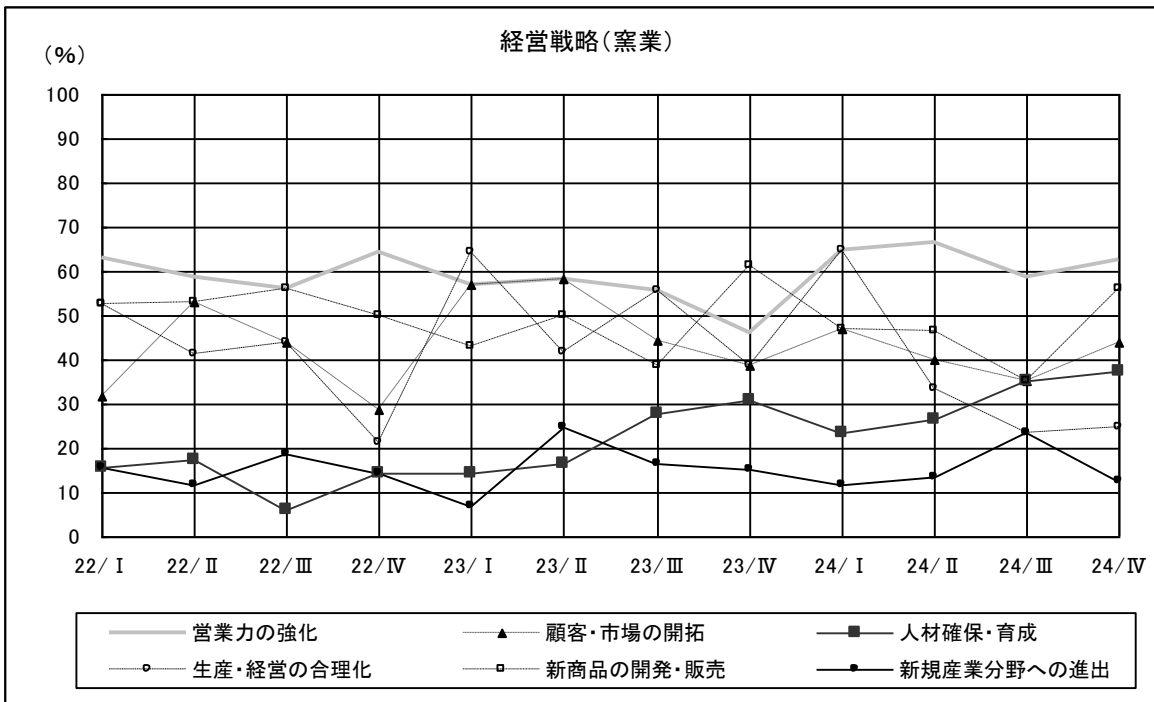


図 28. 当面の経営戦略・化学

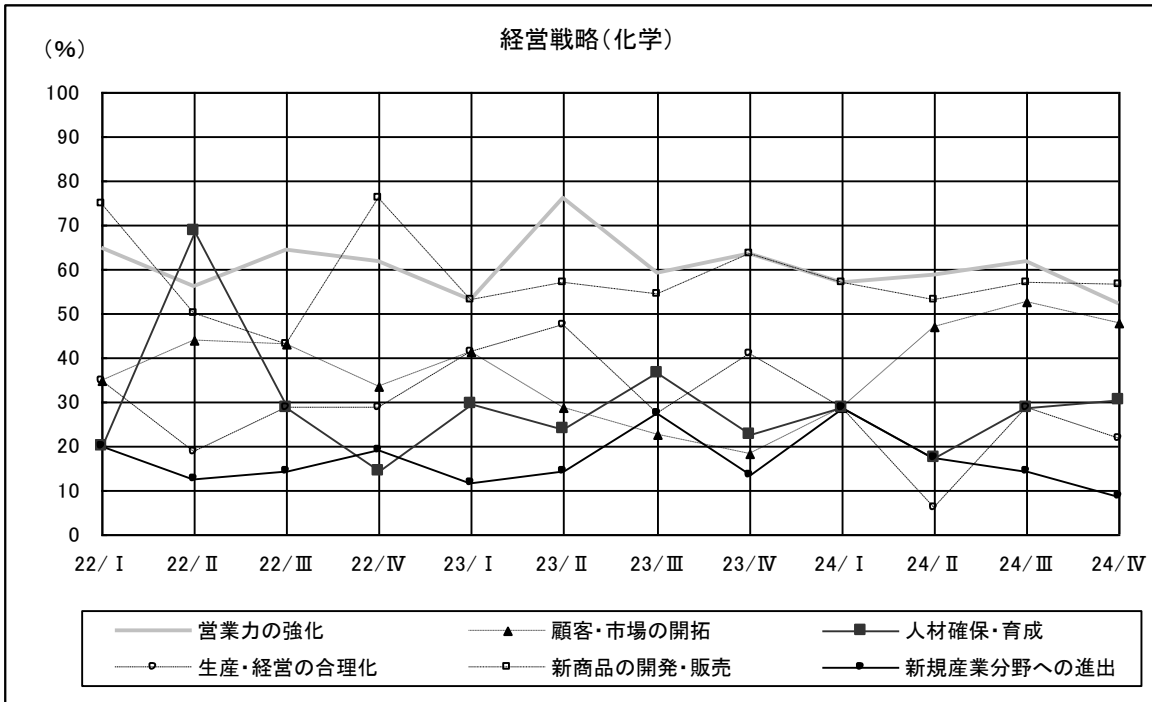


図 29. 当面の経営戦略・金属

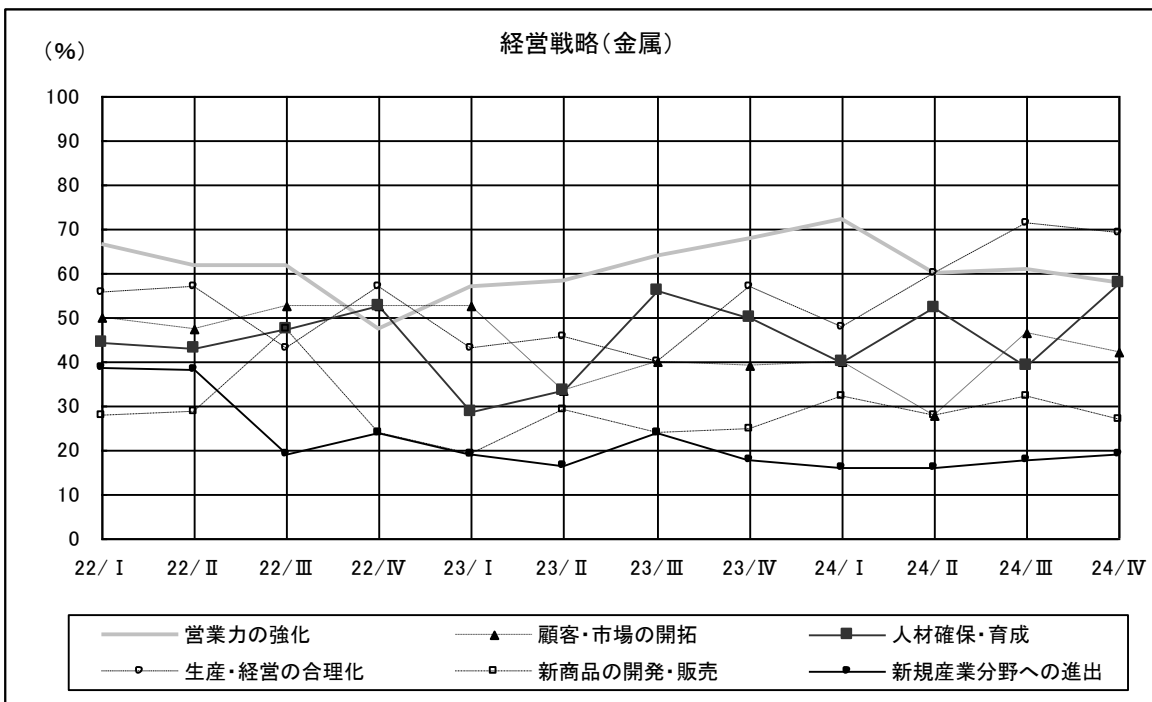


図 30. 当面の経営戦略・機械

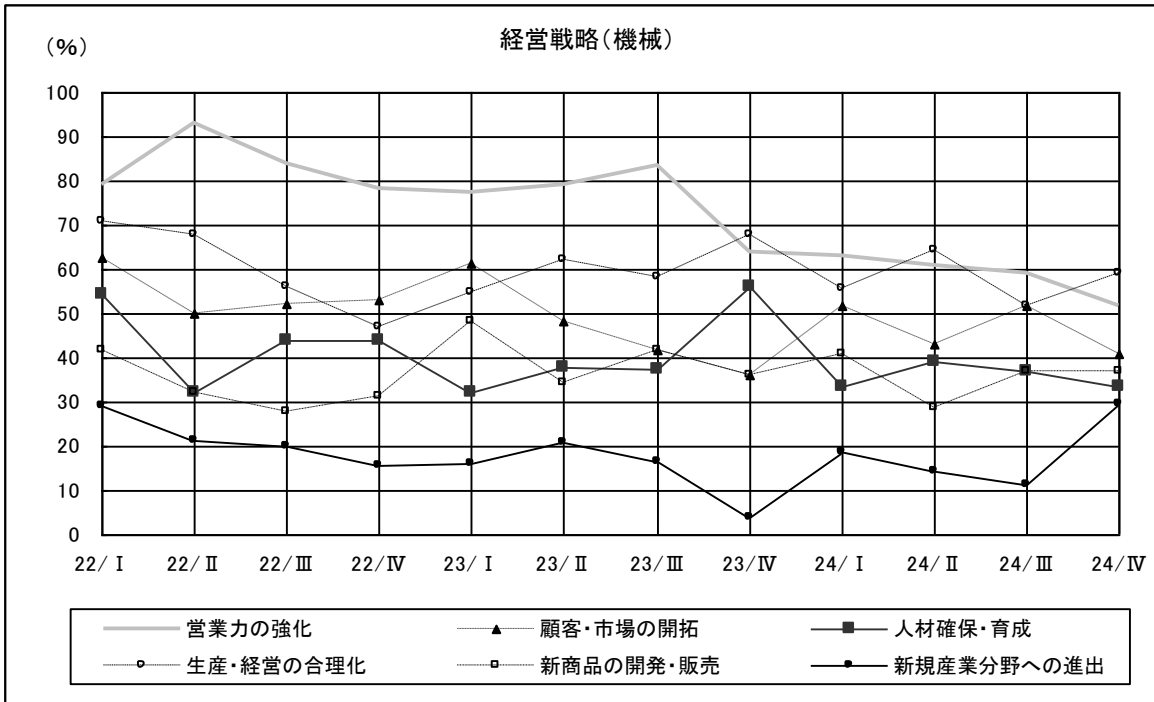


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

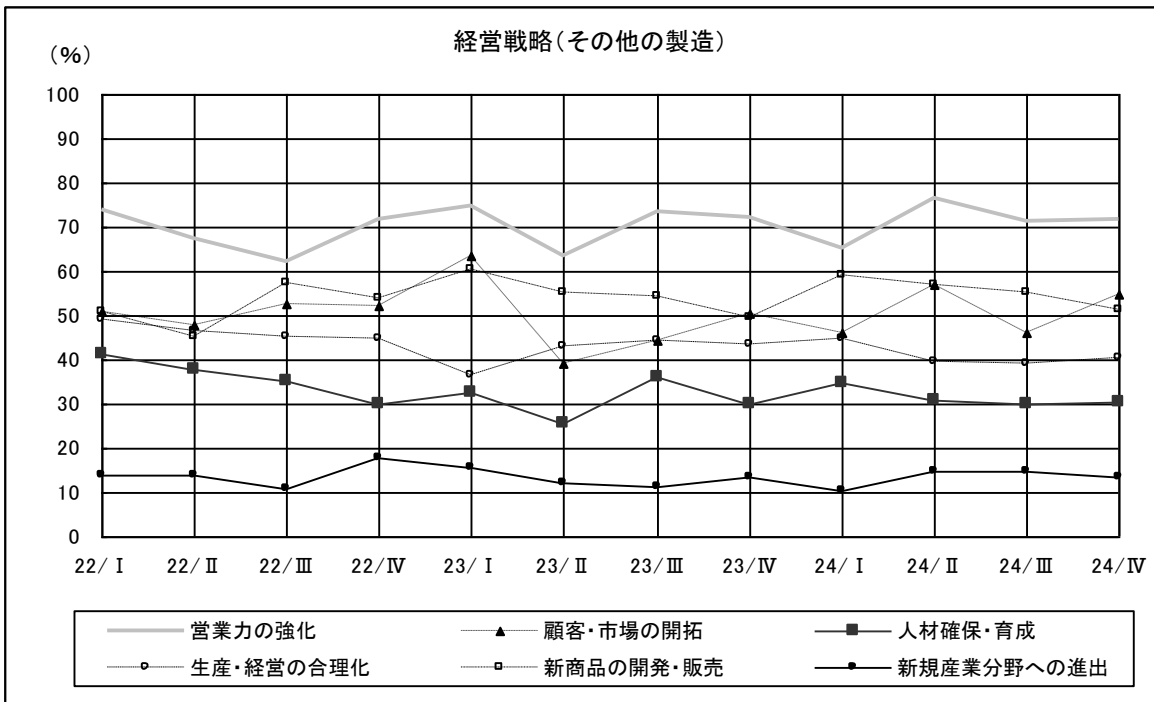


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

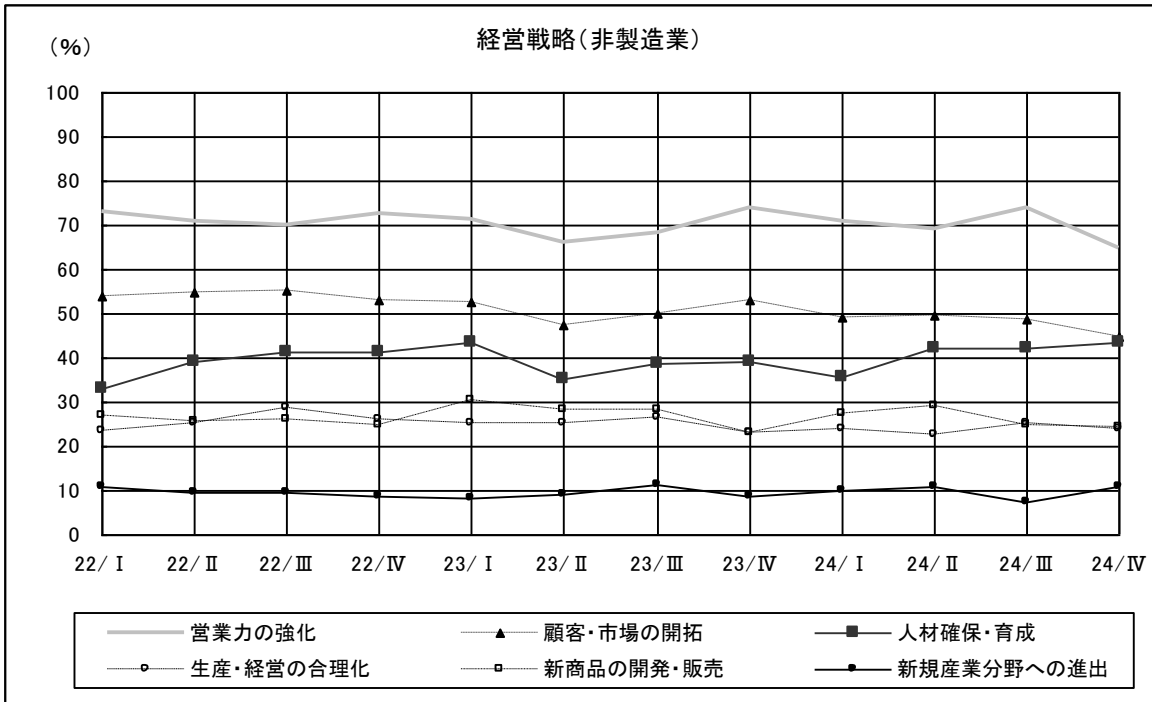


図 33. 当面の経営戦略・卸売

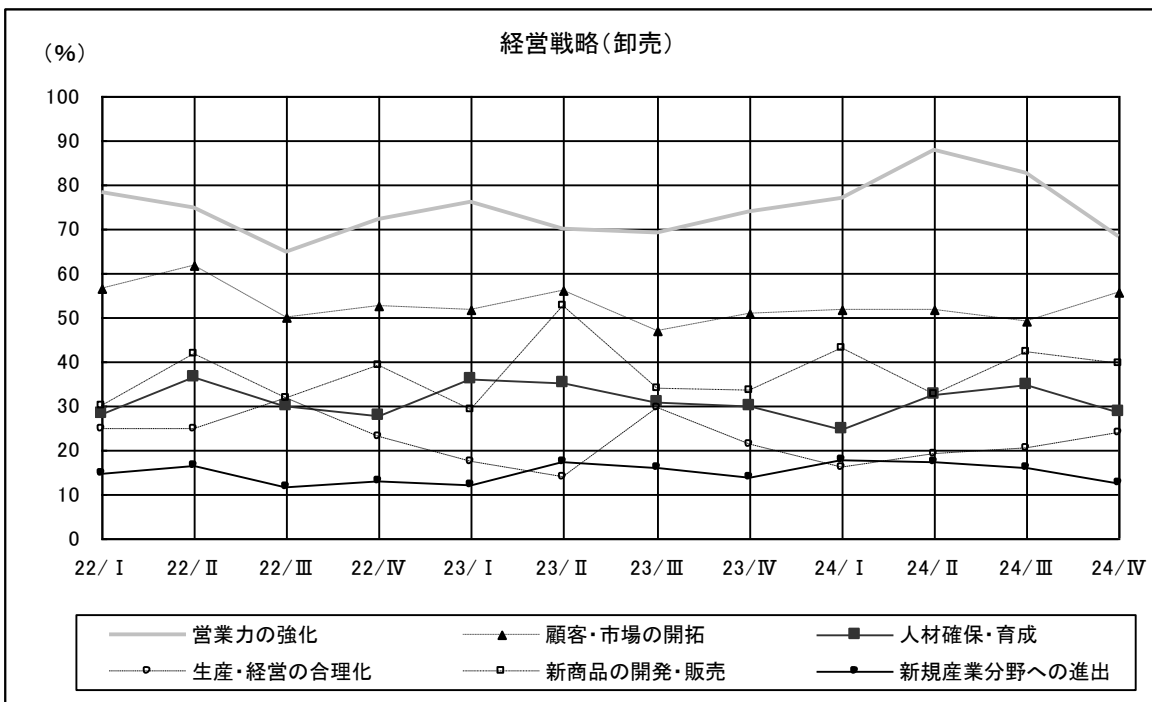


図 34. 当面の経営戦略・小売

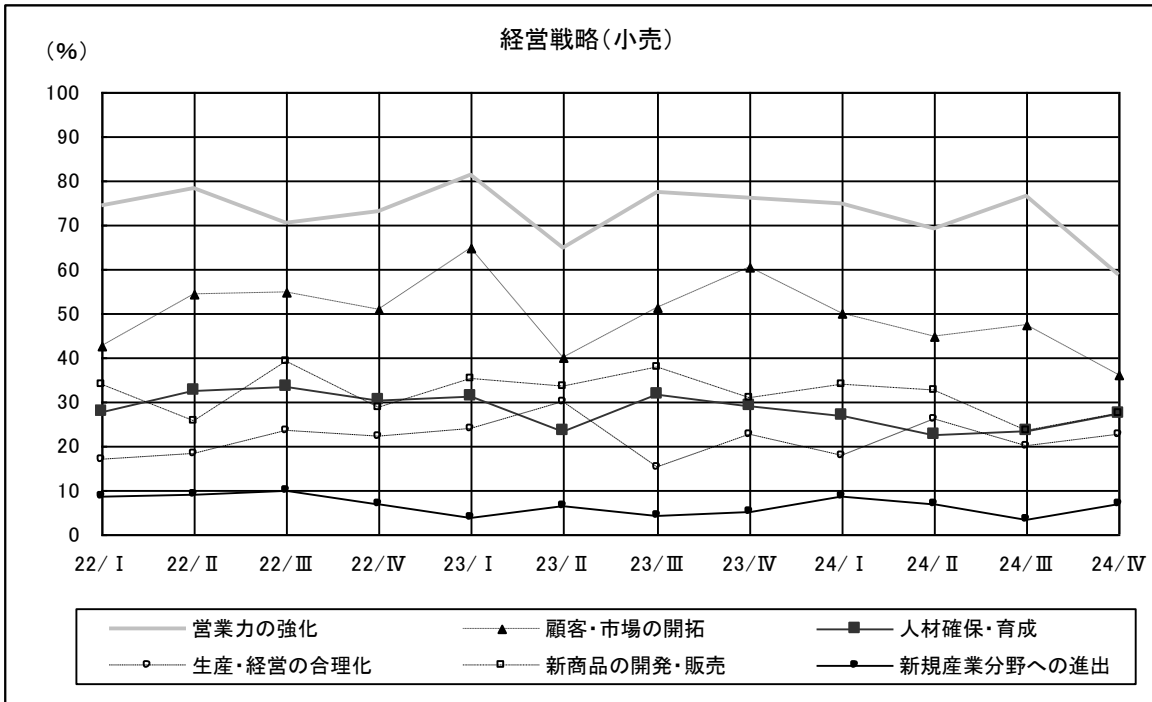


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

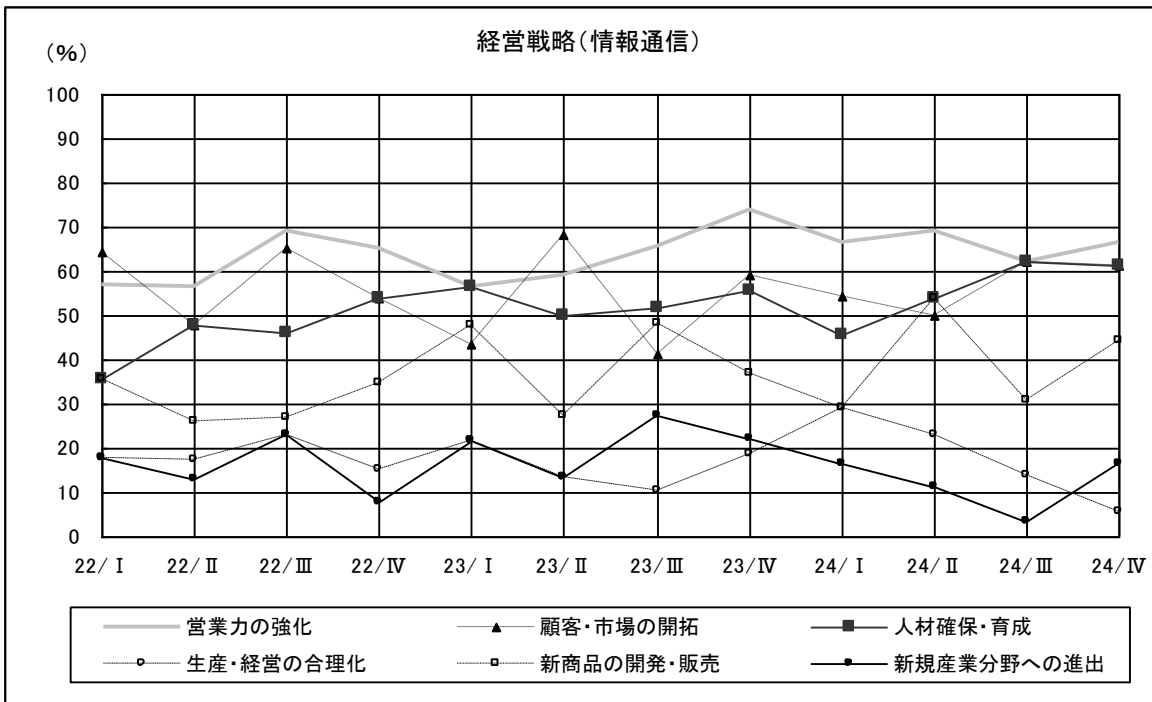


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

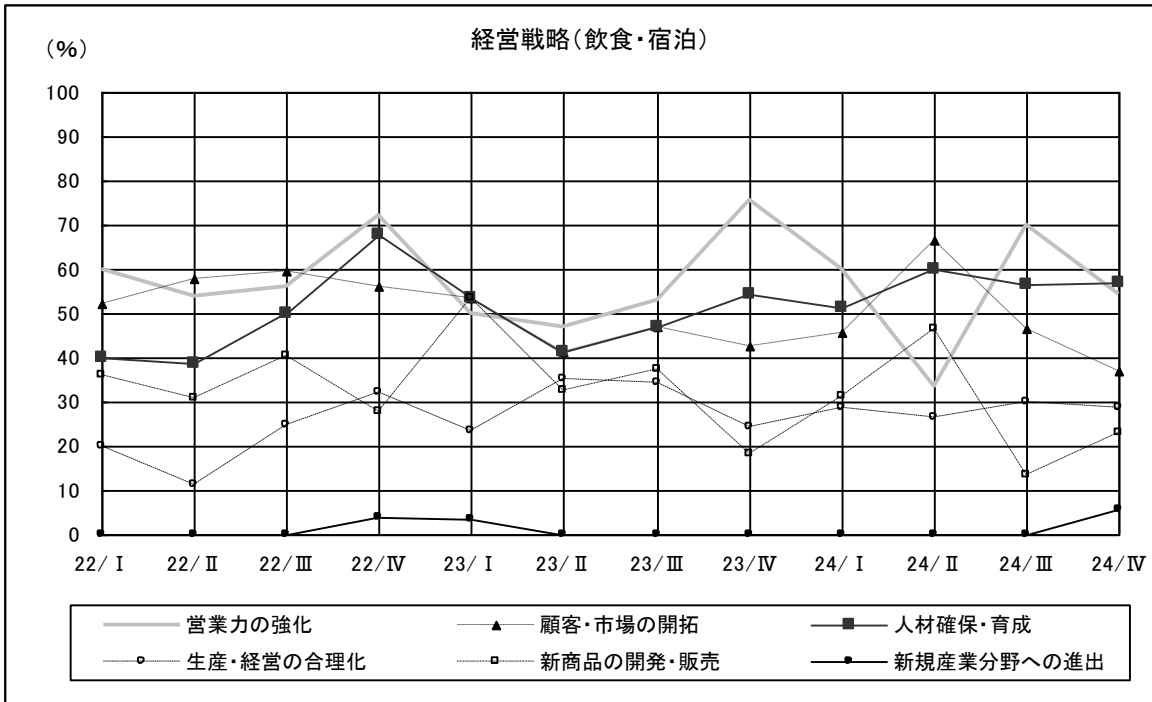


図 37. 当面の経営戦略・サービス

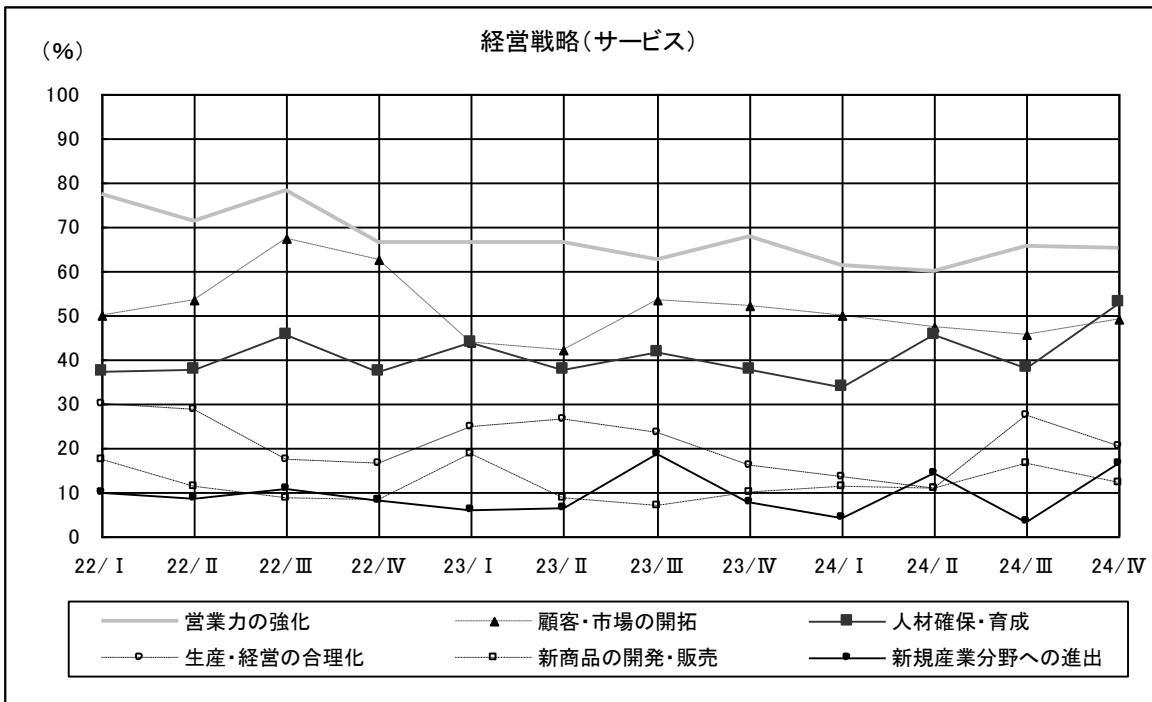


図 38. 当面の経営戦略・建設

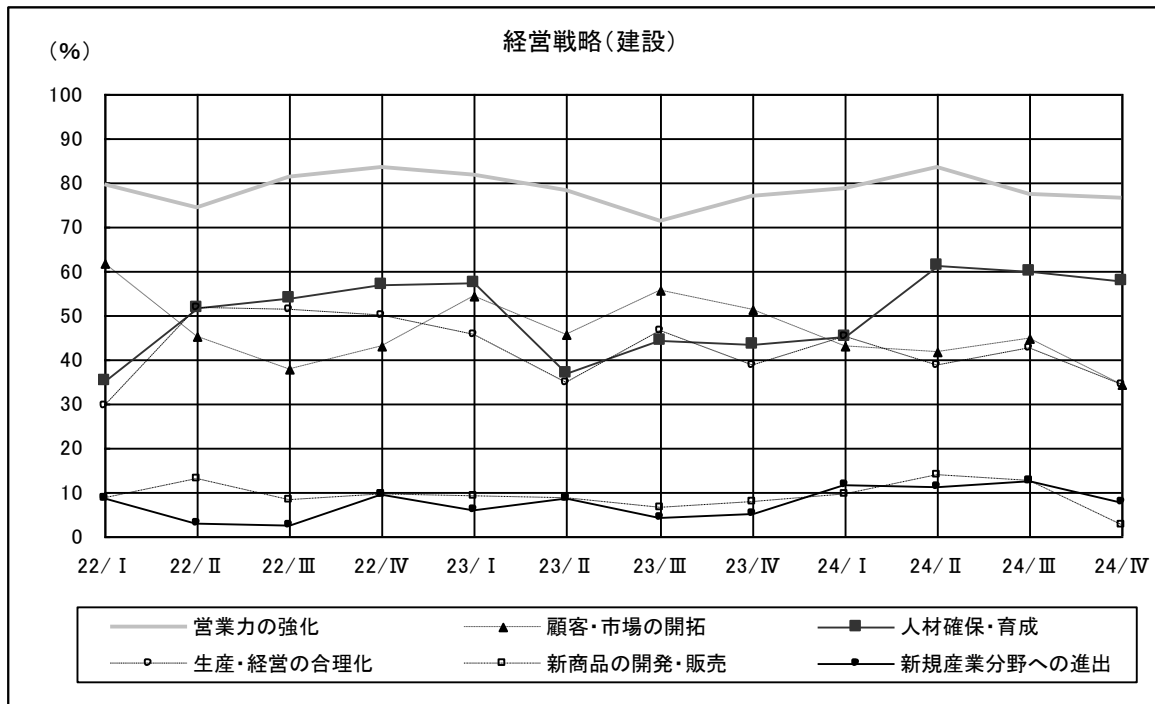


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	327 63.6%	173 33.7%	187 36.4%	75 14.6%	242 47.1%	176 34.2%	38 7.4%	62 12.1%	15 2.9%	514 100.0%	1
製造業	158 62.5%	111 43.9%	74 29.2%	47 18.6%	125 49.4%	112 44.3%	33 13.0%	29 11.5%	4 1.6%	253 100.0%	1
西陣	16 64.0%	7 28.0%	1 4.0%	8 32.0%	13 52.0%	16 64.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	25 100.0%	0
染色	16 51.6%	15 48.4%	6 19.4%	6 19.4%	13 41.9%	8 25.8%	2 6.5%	4 12.9%	1 3.2%	31 100.0%	0
印刷	16 69.6%	13 56.5%	5 21.7%	5 21.7%	14 60.9%	7 30.4%	1 4.3%	6 26.1%	0 0.0%	23 100.0%	0
窯業	10 62.5%	4 25.0%	6 37.5%	2 12.5%	7 43.8%	9 56.3%	3 18.8%	2 12.5%	3 18.8%	16 100.0%	1
化学	12 52.2%	5 21.7%	7 30.4%	2 8.7%	11 47.8%	13 56.5%	6 26.1%	3 13.0%	0 0.0%	23 100.0%	0
金属	15 57.7%	18 69.2%	15 57.7%	5 19.2%	11 42.3%	7 26.9%	3 11.5%	4 15.4%	0 0.0%	26 100.0%	0
機械	14 51.9%	16 59.3%	9 33.3%	8 29.6%	11 40.7%	10 37.0%	5 18.5%	1 3.7%	0 0.0%	27 100.0%	0
その他の製造	59 72.0%	33 40.2%	25 30.5%	11 13.4%	45 54.9%	42 51.2%	12 14.6%	7 8.5%	0 0.0%	82 100.0%	0
非製造業	169 64.8%	62 23.8%	113 43.3%	28 10.7%	117 44.8%	64 24.5%	5 1.9%	33 12.6%	11 4.2%	261 100.0%	0
卸売	43 68.3%	15 23.8%	18 28.6%	8 12.7%	35 55.6%	25 39.7%	1 1.6%	3 4.8%	2 3.2%	63 100.0%	0
小売	34 58.6%	13 22.4%	16 27.6%	4 6.9%	21 36.2%	16 27.6%	0 0.0%	11 19.0%	4 6.9%	58 100.0%	0
情報通信	12 66.7%	1 5.6%	11 61.1%	3 16.7%	11 61.1%	8 44.4%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%	0
飲食・宿泊	19 54.3%	10 28.6%	20 57.1%	2 5.7%	13 37.1%	8 22.9%	1 2.9%	5 14.3%	2 5.7%	35 100.0%	0
サービス	32 65.3%	10 20.4%	26 53.1%	8 16.3%	24 49.0%	6 12.2%	2 4.1%	8 16.3%	2 4.1%	49 100.0%	0
建設	29 76.3%	13 34.2%	22 57.9%	3 7.9%	13 34.2%	1 2.6%	0 0.0%	5 13.2%	1 2.6%	38 100.0%	0
観光関連	20 62.5%	8 25.0%	15 46.9%	2 6.3%	13 40.6%	16 50.0%	0 0.0%	3 9.4%	2 6.3%	32 100.0%	0

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位7項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

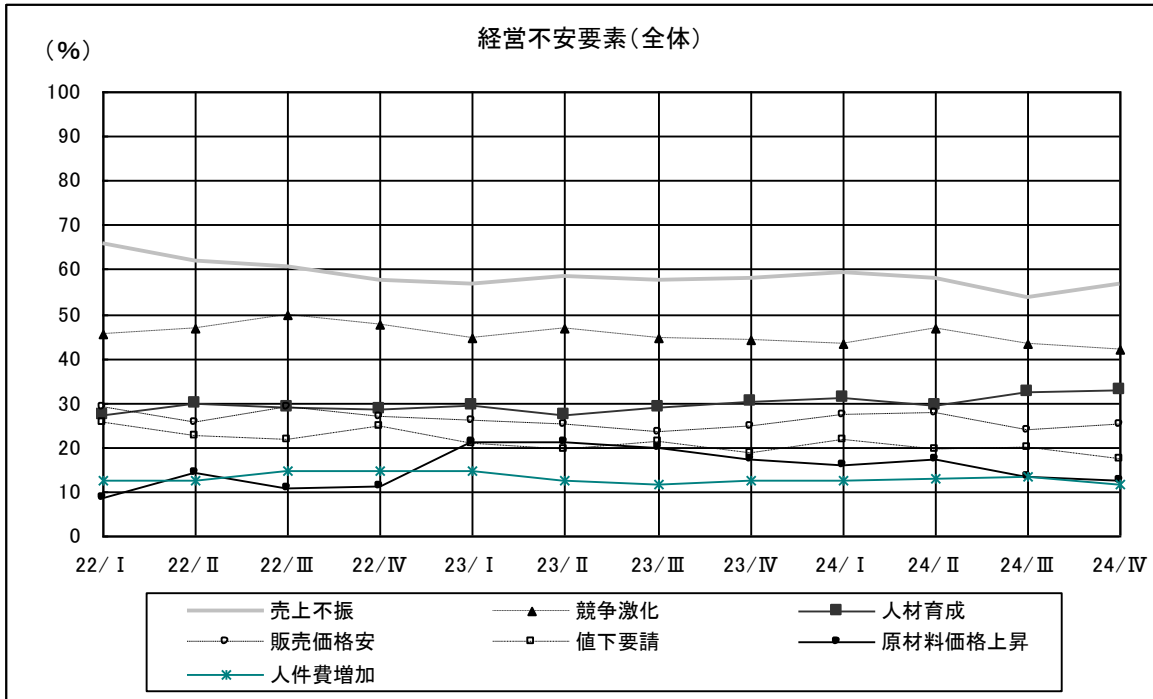


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

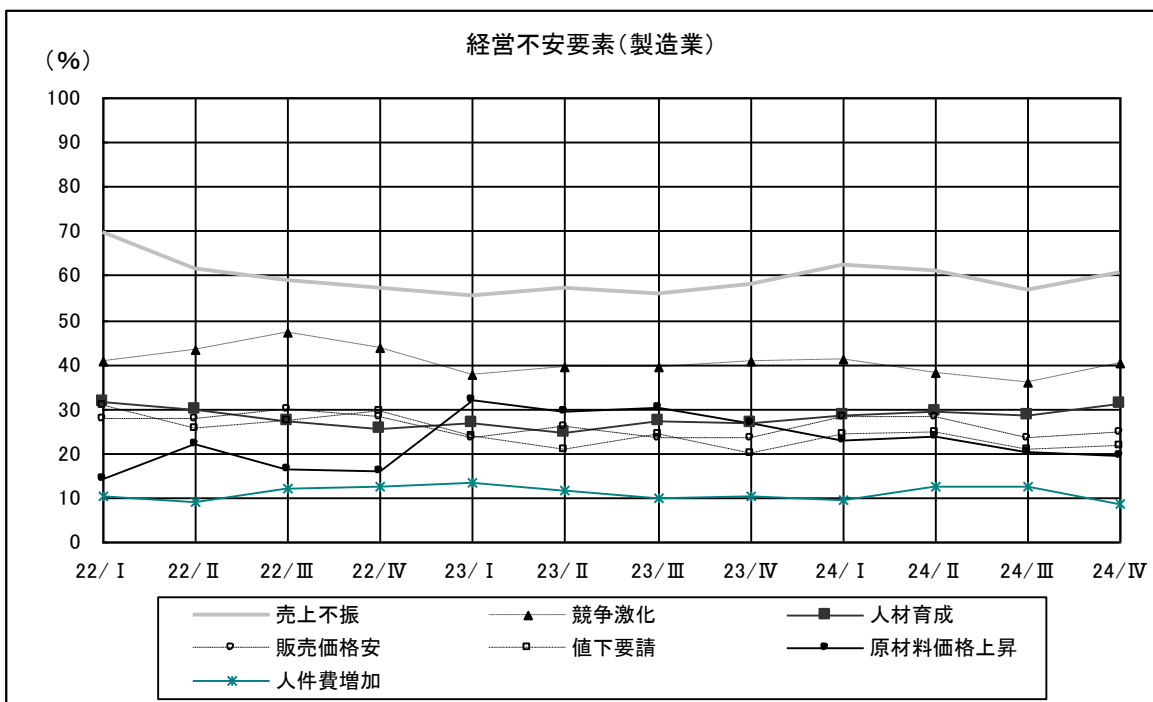


図 41. 経営上の不安要素・西陣

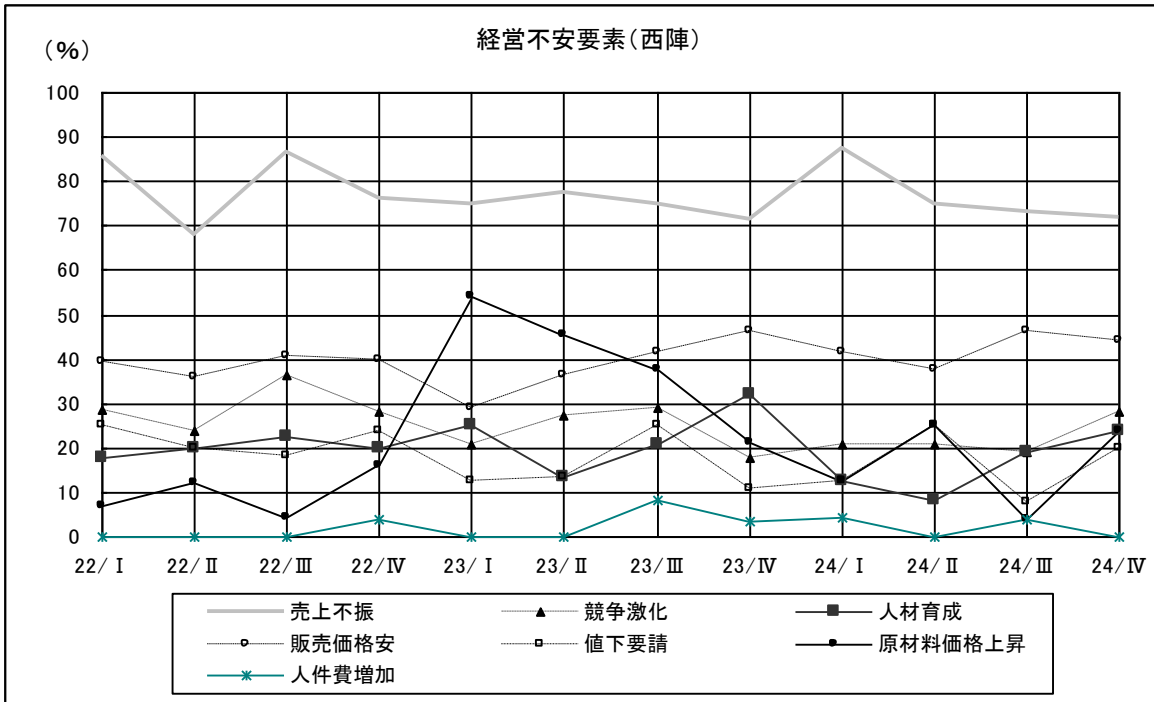


図 42. 経営上の不安要素・染色

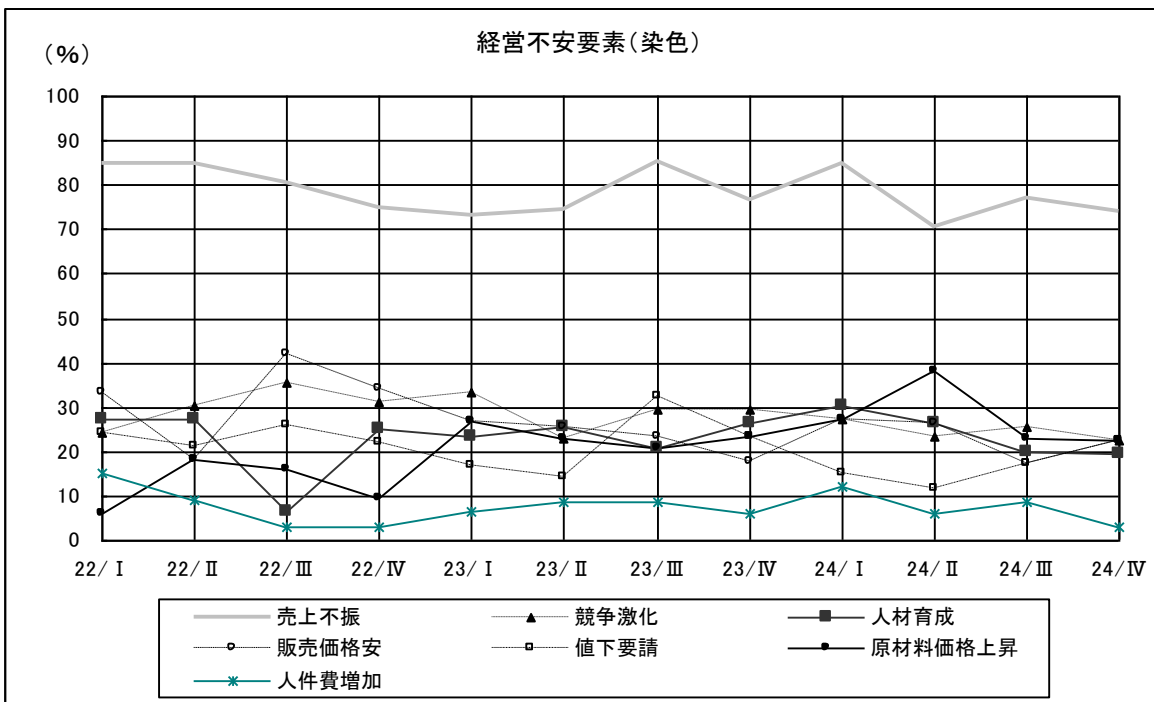


図 43. 経営上の不安要素・印刷

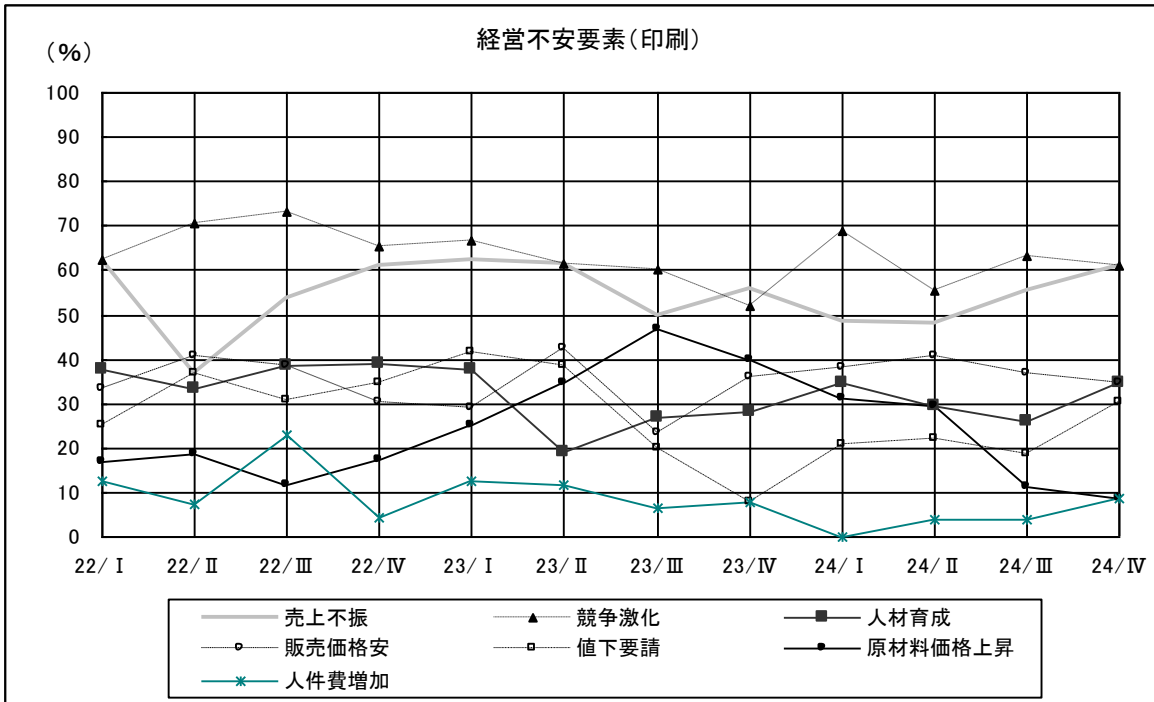


図 44. 経営上の不安要素・窯業

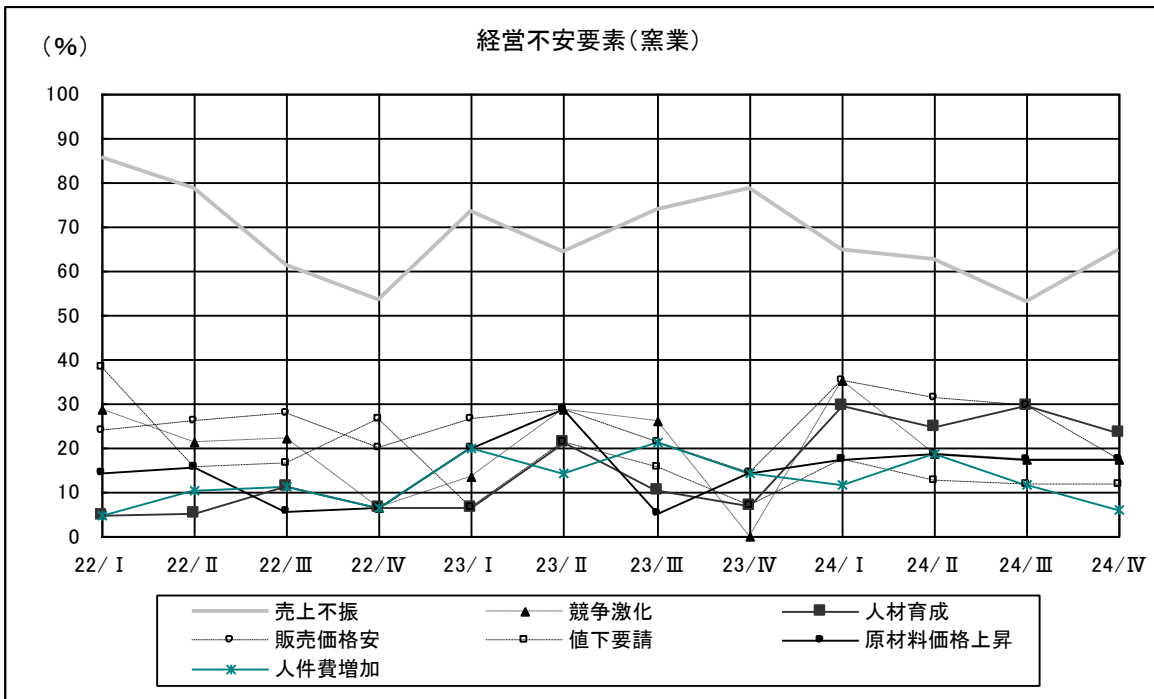


図 45. 経営上の不安要素・化学

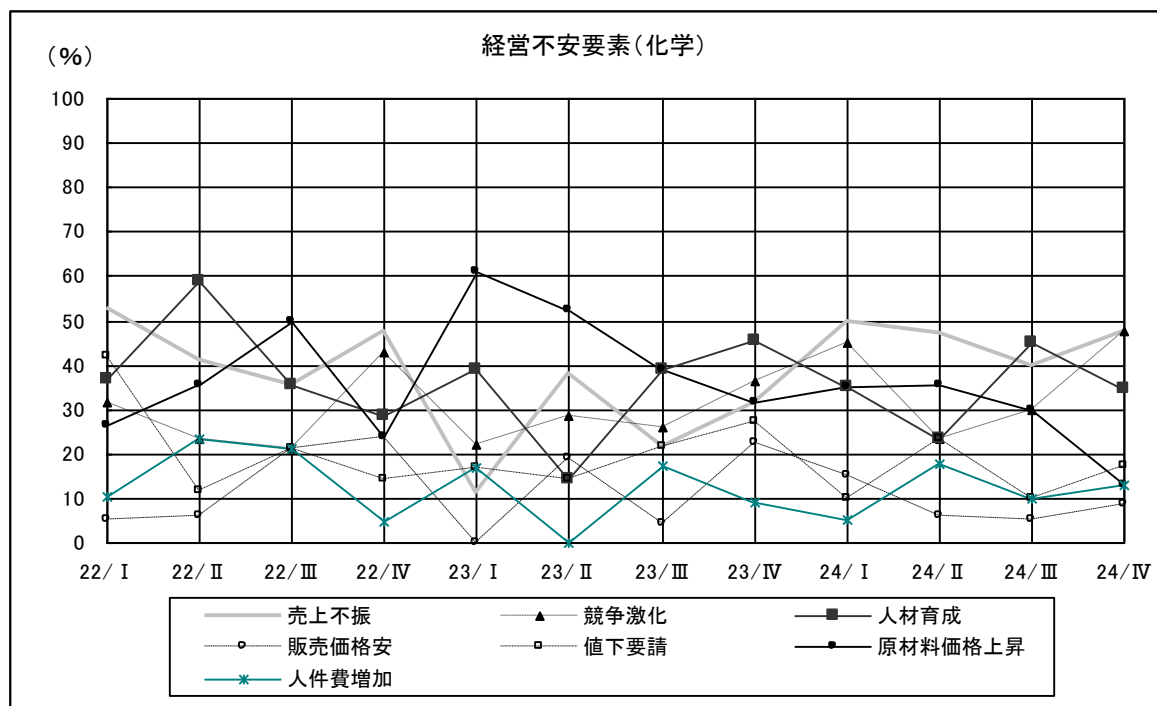


図 46. 経営上の不安要素・金属

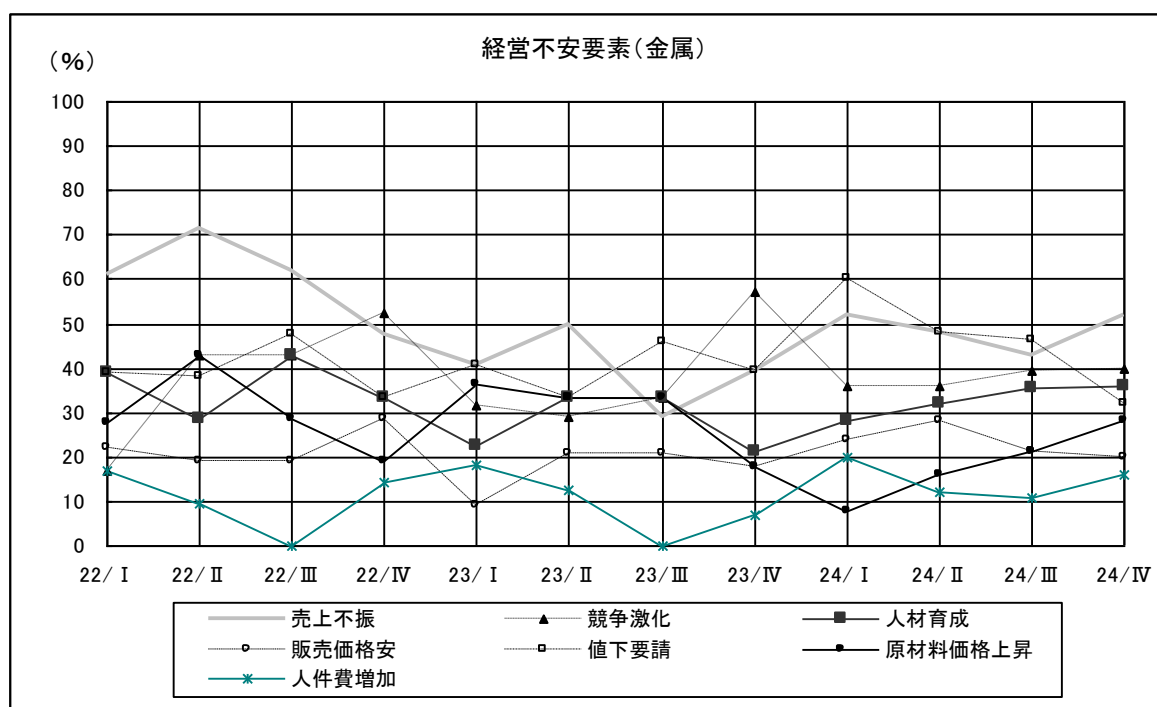


図 47. 経営上の不安要素・機械

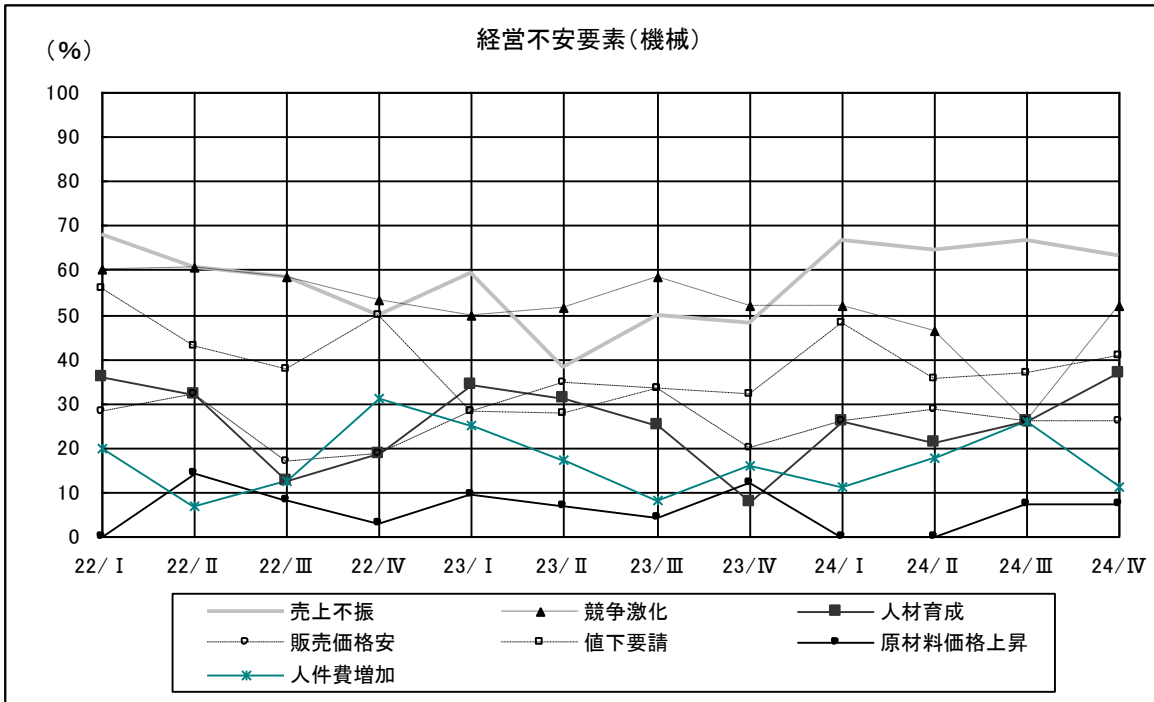


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

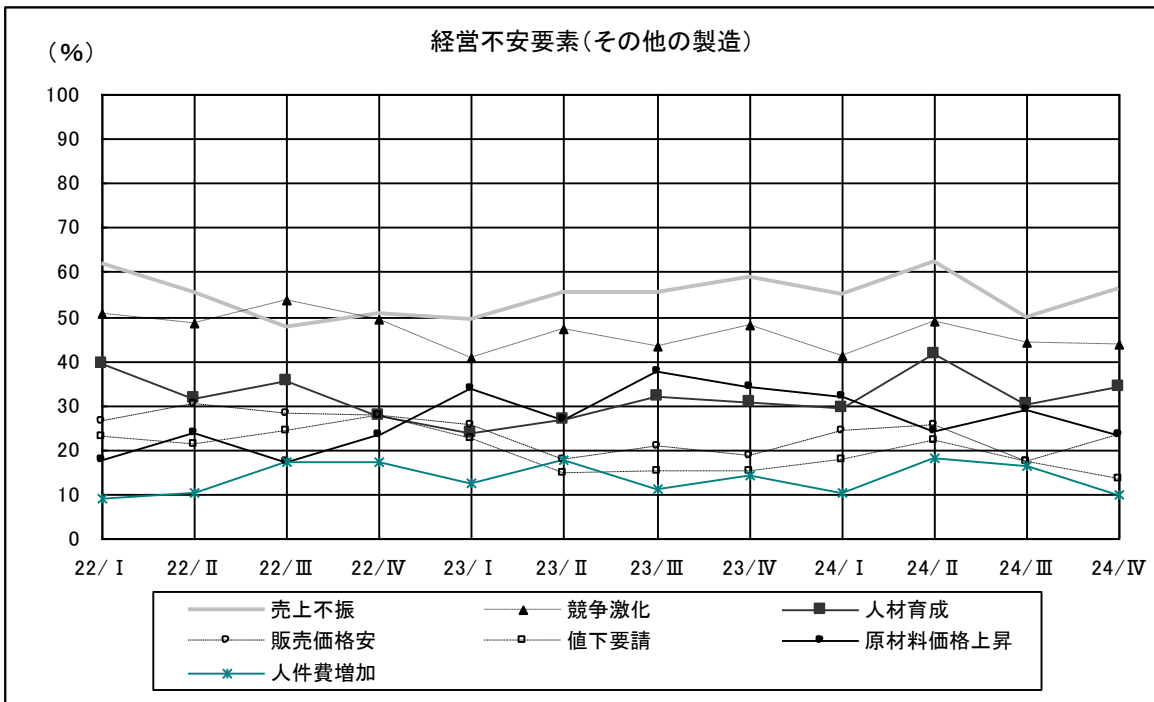


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

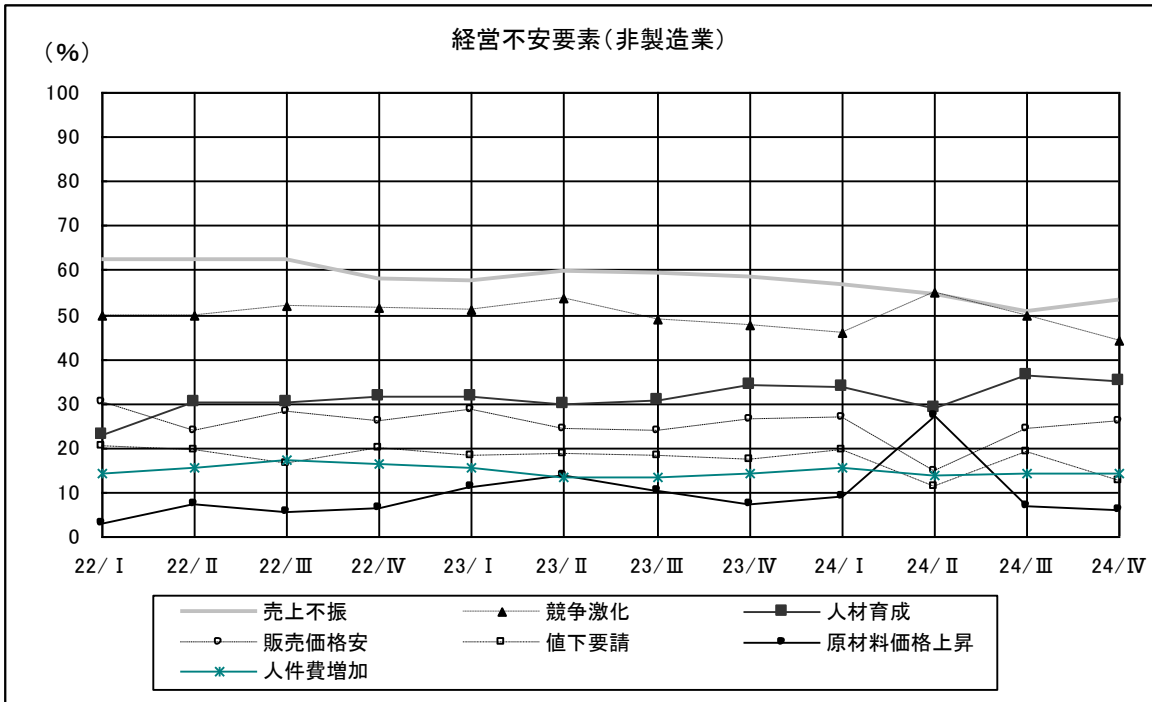


図 50. 経営上の不安要素・卸売

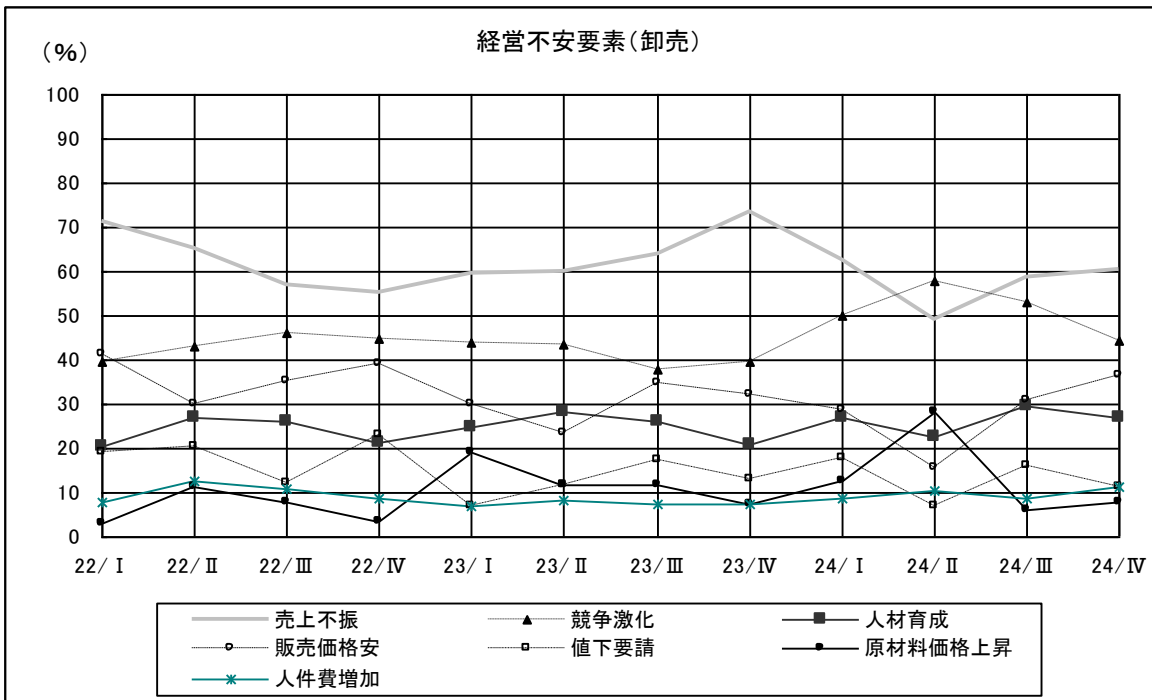


図 51. 経営上の不安要素・小売

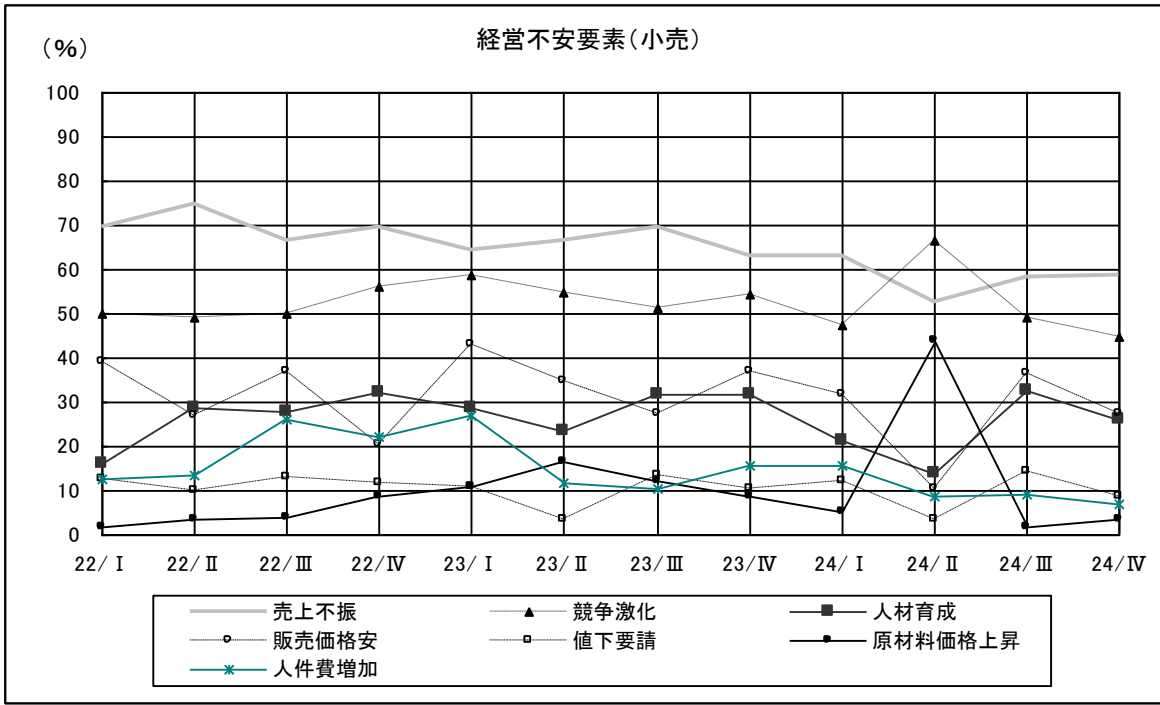


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

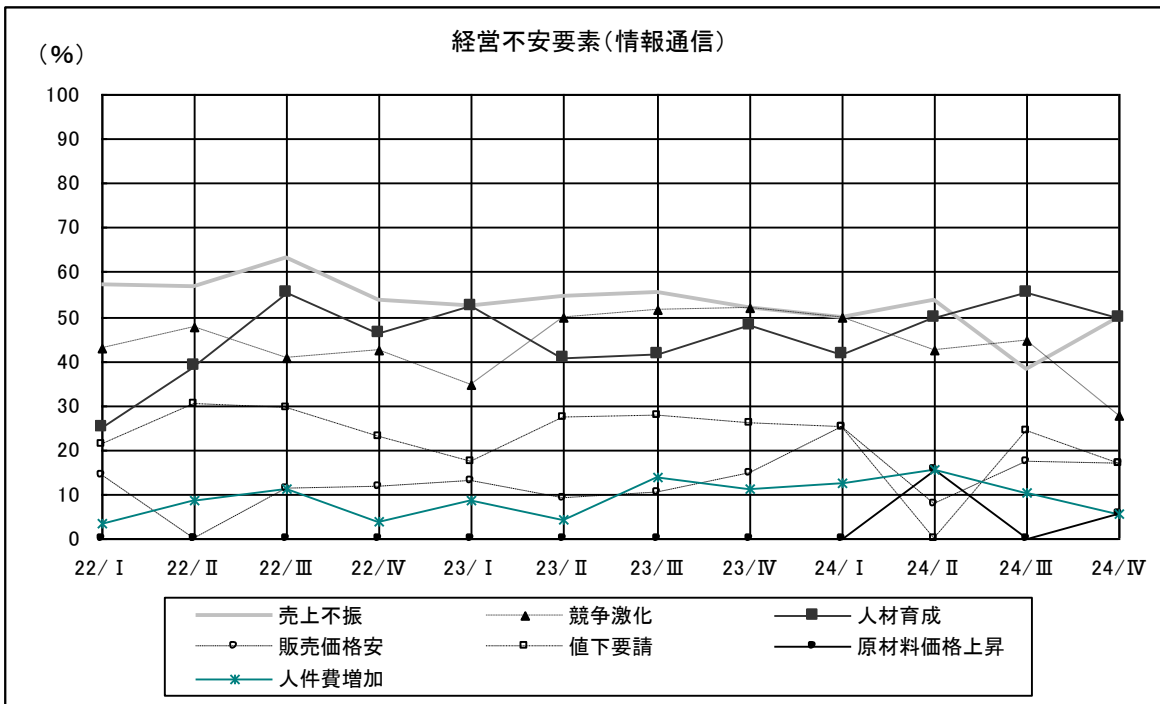


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

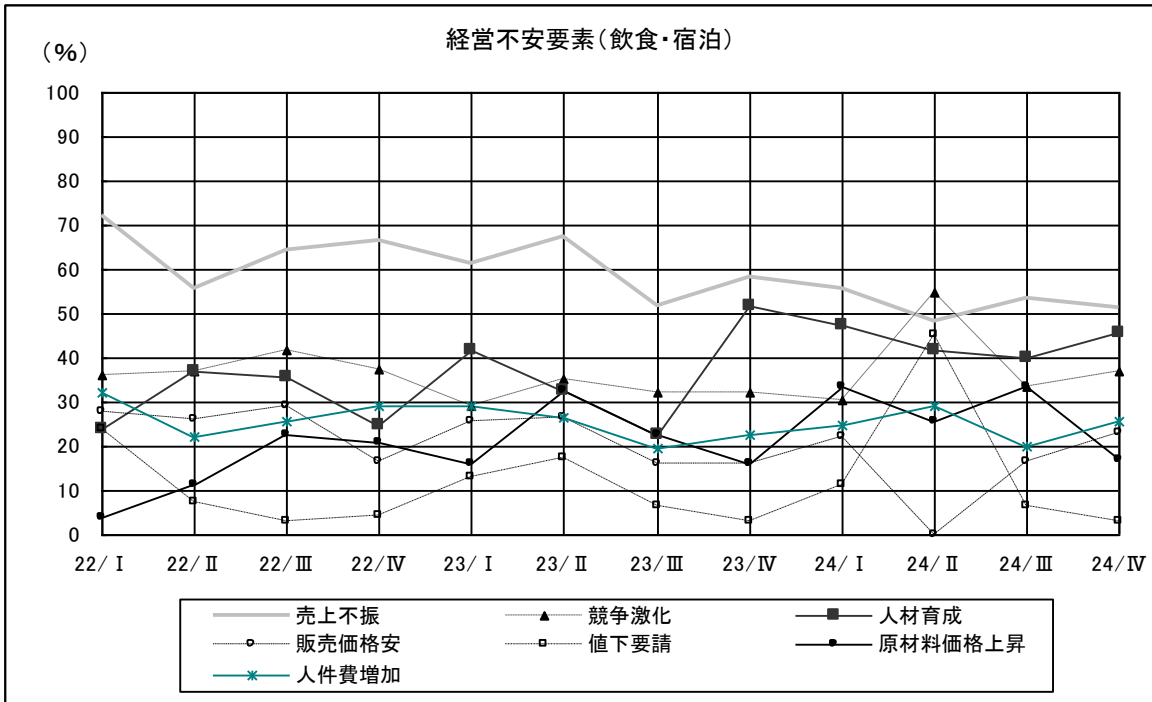


図 54. 経営上の不安要素・サービス

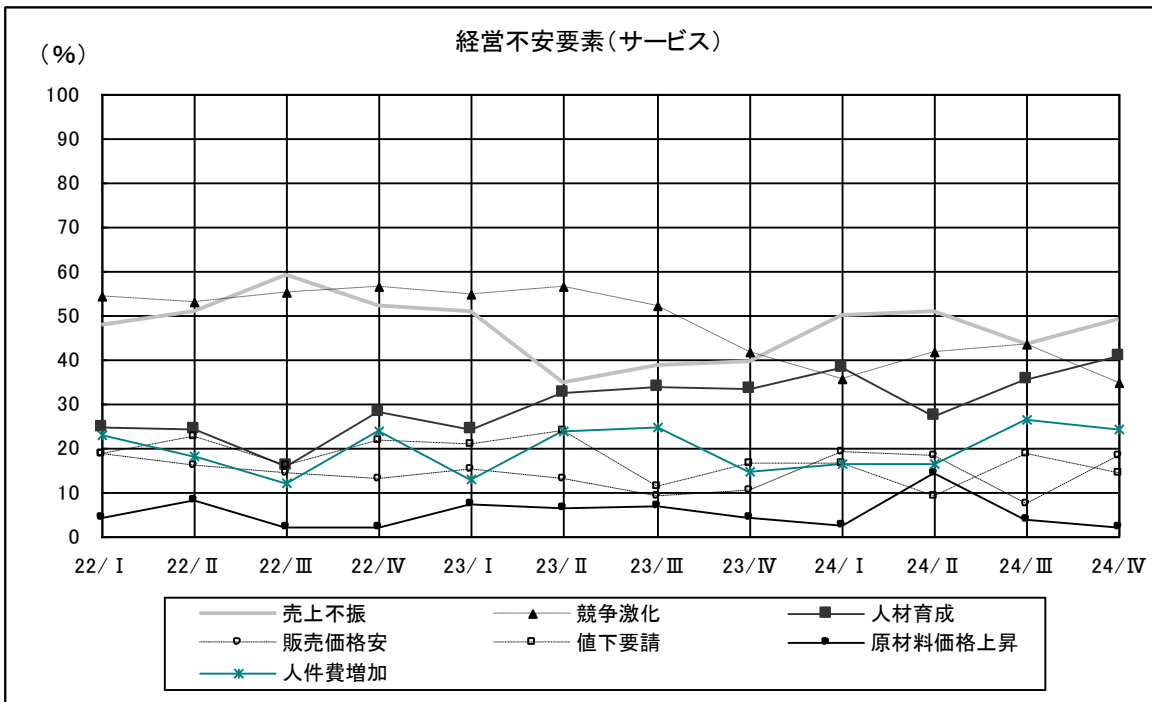


図 55. 経営上の不安要素・建設

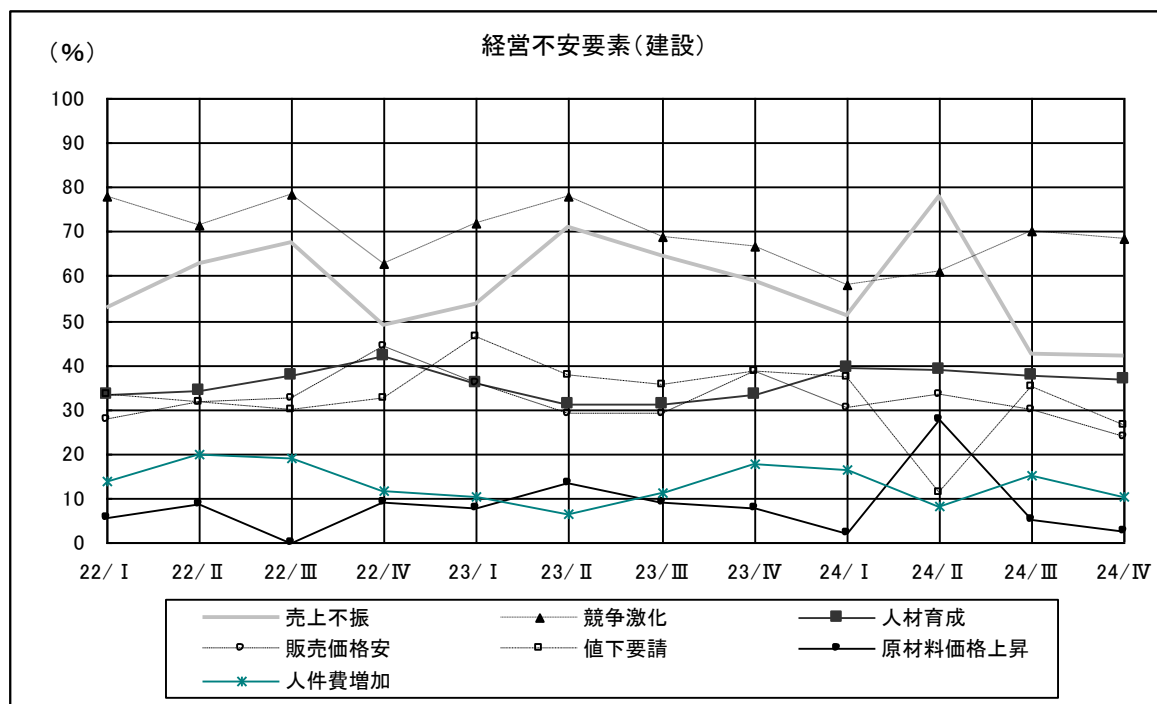


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	217 42.2%	292 56.8%	170 33.1%	88 17.1%	46 8.9%	65 12.6%	16 3.1%	130 25.3%
製造業	102 40.3%	153 60.5%	79 31.2%	55 21.7%	31 12.3%	49 19.4%	7 2.8%	62 24.5%
西陣	7 28.0%	18 72.0%	6 24.0%	5 20.0%	3 12.0%	6 24.0%	1 4.0%	11 44.0%
染色	7 22.6%	23 74.2%	6 19.4%	7 22.6%	3 9.7%	7 22.6%	2 6.5%	7 22.6%
印刷	14 60.9%	14 60.9%	8 34.8%	7 30.4%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	8 34.8%
窯業	3 17.6%	11 64.7%	4 23.5%	2 11.8%	2 11.8%	3 17.6%	2 11.8%	3 17.6%
化学	11 47.8%	11 47.8%	8 34.8%	4 17.4%	2 8.7%	3 13.0%	1 4.3%	2 8.7%
金属	10 40.0%	13 52.0%	9 36.0%	8 32.0%	3 12.0%	7 28.0%	0 0.0%	5 20.0%
機械	14 51.9%	17 63.0%	10 37.0%	11 40.7%	2 7.4%	2 7.4%	1 3.7%	7 25.9%
その他の製造	36 43.9%	46 56.1%	28 34.1%	11 13.4%	12 14.6%	19 23.2%	0 0.0%	19 23.2%
非製造業	115 44.1%	139 53.3%	91 34.9%	33 12.6%	15 5.7%	16 6.1%	9 3.4%	68 26.1%
卸売	28 44.4%	38 60.3%	17 27.0%	7 11.1%	3 4.8%	5 7.9%	1 1.6%	23 36.5%
小売	26 44.8%	34 58.6%	15 25.9%	5 8.6%	3 5.2%	2 3.4%	0 0.0%	16 27.6%
情報通信	5 27.8%	9 50.0%	9 50.0%	3 16.7%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%	3 16.7%
飲食・宿泊	13 37.1%	18 51.4%	16 45.7%	1 2.9%	5 14.3%	6 17.1%	3 8.6%	8 22.9%
サービス	17 34.7%	24 49.0%	20 40.8%	7 14.3%	3 6.1%	1 2.0%	3 6.1%	9 18.4%
建設	26 68.4%	16 42.1%	14 36.8%	10 26.3%	1 2.6%	1 2.6%	1 2.6%	9 23.7%
観光関連	17 53.1%	15 46.9%	14 43.8%	1 3.1%	7 21.9%	6 18.8%	2 6.3%	7 21.9%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	その他	有効回答	無回答
全業種	47 9.1%	53 10.3%	58 11.3%	59 11.5%	21 4.1%	514 100.0%	1
製造業	26 10.3%	26 10.3%	17 6.7%	22 8.7%	13 5.1%	253 100.0%	1
西陣	2 8.0%	4 16.0%	2 8.0%	0 0.0%	1 4.0%	25 100.0%	0
染色	2 6.5%	4 12.9%	1 3.2%	1 3.2%	1 3.2%	31 100.0%	0
印刷	1 4.3%	2 8.7%	0 0.0%	2 8.7%	1 4.3%	23 100.0%	0
窯業	0 0.0%	4 23.5%	4 23.5%	1 5.9%	2 11.8%	17 100.0%	0
化学	2 8.7%	3 13.0%	0 0.0%	3 13.0%	0 0.0%	23 100.0%	0
金属	6 24.0%	2 8.0%	1 4.0%	4 16.0%	3 12.0%	25 100.0%	1
機械	5 18.5%	3 11.1%	2 7.4%	3 11.1%	0 0.0%	27 100.0%	0
その他の製造	8 9.8%	4 4.9%	7 8.5%	8 9.8%	5 6.1%	82 100.0%	0
非製造業	21 8.0%	27 10.3%	41 15.7%	37 14.2%	8 3.1%	261 100.0%	0
卸売	4 6.3%	5 7.9%	3 4.8%	7 11.1%	2 3.2%	63 100.0%	0
小売	3 5.2%	7 12.1%	10 17.2%	4 6.9%	5 8.6%	58 100.0%	0
情報通信	2 11.1%	3 16.7%	3 16.7%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%	0
飲食・宿泊	2 5.7%	6 17.1%	9 25.7%	9 25.7%	1 2.9%	35 100.0%	0
サービス	4 8.2%	4 8.2%	9 18.4%	12 24.5%	0 0.0%	49 100.0%	0
建設	6 15.8%	2 5.3%	7 18.4%	4 10.5%	0 0.0%	38 100.0%	0
観光関連	0 0.0%	3 9.4%	6 18.8%	5 15.6%	2 6.3%	32 100.0%	0

(4) 中国における反日デモ等の影響について

表 15. 中国における反日デモ等の影響について・回答状況一覧

	過去に影響はあったが、現在は無い	現在も影響が続いている	現在は影響がないが、今後影響が予想される	現在影響はなく、今後も影響はないと予想している	回答企業数	無回答
全業種	8 1.6%	57 11.2%	54 10.6%	391 76.7%	510	5
製造業	5 2.0%	30 11.9%	25 9.9%	193 76.3%	253	1
西陣	0 0.0%	5 20.8%	1 4.2%	18 75.0%	24	1
染色	0 0.0%	3 9.7%	3 9.7%	25 80.6%	31	0
印刷	1 4.3%	2 8.7%	5 21.7%	15 65.2%	23	0
窯業	1 5.9%	0 0.0%	2 11.8%	14 82.4%	17	0
化学	1 4.3%	5 21.7%	1 4.3%	16 69.6%	23	0
金属	0 0.0%	6 23.1%	4 15.4%	16 61.5%	26	0
機械	1 3.7%	3 11.1%	5 18.5%	18 66.7%	27	0
その他製造	1 1.2%	6 7.3%	4 4.9%	71 86.6%	82	0
非製造	3 1.2%	27 10.5%	29 11.3%	198 77.0%	257	4
卸売	0 0.0%	6 9.7%	9 14.5%	47 75.8%	62	1
小売	2 3.5%	8 14.0%	4 7.0%	43 75.4%	57	1
情報通信	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	16 88.9%	18	0
飲食・宿泊	0 0.0%	10 29.4%	4 11.8%	20 58.8%	34	1
サービス	1 2.1%	3 6.3%	5 10.4%	39 81.3%	48	1
建設	0 0.0%	0 0.0%	5 13.2%	33 86.8%	38	0
観光関連	0 0.0%	11 34.4%	1 3.1%	20 62.5%	32	0

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	10	(1.9)
明治	16	(3.1)
大正	9	(1.7)
昭和19年以前	32	(6.2)
20～39年	201	(39.0)
40～49年	92	(17.9)
昭和50年以降	87	(16.9)
平成	68	(13.2)
無回答	0	(0.0)
不明	0	(0.0)
合計	515	(100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	511	(99.2)
個人	4	(0.8)
無回答	0	(0.0)
合計	515	(100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	254	(49.3)	非製造業	261	(50.7)
西陣	25	(4.9)	卸売	63	(12.2)
染色	31	(6.0)	小売	58	(11.3)
印刷	23	(4.5)	情報通信	18	(3.5)
窯業	17	(3.3)	飲食・宿泊	35	(6.8)
化学	23	(4.5)	サービス	49	(9.5)
金属	26	(5.0)	建設	38	(7.4)
機械	27	(5.2)	不明	0	(0.0)
その他の製造	82	(15.9)	合計	515	(100.0)

※観光関連（観光関連の売上が25%以上）	32	(6.2)
----------------------	----	---------

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～100万円	2	(0.4)	3001～5000	81	(15.9)
101～200	0	(0.0)	5001～1億円	43	(8.4)
201～500	36	(7.0)	1億円超	11	(2.2)
501～1000	197	(38.6)	無回答	0	(0.0)
1001～3000	141	(27.6)	合計	511	(100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0～4人	72	(14.0)	50～99人	68	(13.2)
5～9人	82	(15.9)	100人以上	52	(10.1)
10人～19人	99	(19.2)	無回答	0	(0.0)
20人～29人	66	(12.8)	合計	515	(100.0)
30～49人	76	(14.8)			

第105回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成24年12月3日（月）】

貴社の概要を御記入ください。

（該当する箇所には、○印をお付けください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。）

会社名							
経営形態	法人・個人	資本金			万円	電話	—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年				従業者数		人
※業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造						
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設						
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。						
主な製品、商品、サービス							
御記入者	部課：		役職：		氏名：		

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期間	平成24年10月～12月の実績 (前年の同期と比較して)			平成25年1月～3月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		増加	不変	減少	増加	不変	減少
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益（税引前）		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印を付けられた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。（複数回答可）

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化 | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。（複数回答可）

- | | | |
|-----------|----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 その他() | | |

（裏面も御記入ください。）

(5) 中国における反日デモ等の影響についてお尋ねします。

A. 貴社の業績において、反日デモ等の影響（例：現地工場・店舗等の被害や、不買運動による売上減少、従業員の自宅待機や出張抑制等）がありましたか。下記から一つを選び、○印をお付け下さい。

1 過去に影響はあったが、現在は影響はない	(月頃から	月頃まで)
2 現在も影響が続いている	(月頃から)	
3 現在は影響がないが、今後影響が予想される	(年	月頃から)
4 現在影響はなく、今後も影響はないと予想している			

B. Aで1～3とご回答された方は、影響の具体的な内容をお書きください。

C. Aで4とご回答された方は、影響がない理由をお書きください。なお、中国と関連するビジネスがないという理由の方は回答欄のチェック欄にチェックを入れてください。

中国との関連ビジネスを行っていないため

(6) 平成24年の企業経営実績と来年(平成25年)の見通しについてお尋ねします。

A. 平成24年の貴社の業績は前年(平成23年)と比較していかがでしたか。下記から一つを選び、○印をお付けください。

1 非常に良かった 2 良かった 3 前年並み 4 悪かった 5 非常に悪かった

B. 平成25年の貴社の業績見通しは今年(平成24年)と比較していかがですか。下記から一つを選び、○印をお付けください。

1 非常に良くなる 2 良くなる 3 今年並み 4 悪くなる 5 非常に悪くなる

C. 平成24年の貴社の業績に影響を与えた要因及び来年(平成25年)の業績に影響を与えると予想される要因について、該当するものの番号を御記入ください。(それぞれ3つ以内)

平成24年 実績	プラス要因			マイナス要因			平成25年 予測	プラス要因			マイナス要因		

1 営業努力	2 新商品・新技術の開発	3 新事業の展開	4 設備投資
5 雇用情勢	6 国際情勢	7 国内景気	8 地元景気
10 為替相場	11 金融情勢	12 消費動向	13 物価動向
15 地価動向	16 税制改革	17 公共投資	18 輸出入動向
20 規制緩和	21 親企業のリストラ・海外進出	22 環境問題	19 株価動向
24 その他()			23 東日本大震災

D. **Cで「10 為替相場」を選んだ方**は、その具体的な内容を御記入ください。

E. 貴社では、今後どのような分野・部門の拡充や縮小をお考えですか。下記から該当するものの番号を御記入ください。(それぞれ2つ以内)

拡充・強化する部門			縮小・削減する部門		
-----------	--	--	-----------	--	--

1 事務部門(庶務・人事など)	2 財務部門(経理・会計など)	3 営業部門
4 企画・開発部門(新規事業企画・新市場開拓など)	5 宣伝・広報部門	
6 情報・通信部門	7 技術部門	8 製造部門
10 その他()	9 特になし	

F. 平成25年に向けて貴社の経営全般における独自の取組や工夫を御自由に御記入ください。

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ致します。)

京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)